

東京科学大学病院

ご紹介お役立ちBOOK 2025-2026



東京科学大学病院

Index

医系診療部門 外来初診事前予約のご案内	6
医系診療部門 入院転院依頼のご案内	7
医系診療部門 外来予約申込書	8
歯系診療部門 外来初診事前予約のご案内	10
救命救急センター	12
難病診療部のご案内	13
膠原病・リウマチ先端医療センター	14
潰瘍性大腸炎・クローン病先端医療センター	15
神経難病先端医療センター	16
稀少疾患先端医療センター	18
がん先端治療部のご案内	21
腎・膀胱・前立腺がんセンター	22
みみ・はな・くち・のどがんセンター	24
プレストセンター	25
長寿・健康人生推進センターのご案内	27
長寿・健康人生推進センター	28



Index

医系診療部門 各診療科のご案内 29

血液内科	30	頭頸部外科	57
膠原病・リウマチ内科	31	泌尿器科	58
腎臓内科	32	病理診断科	60
血管内治療科	33	眼科	61
消化器内科	34	耳鼻咽喉科	62
光学医療診療部	36	高気圧治療部	63
糖尿病・内分泌・代謝内科	37	皮膚科	64
循環器内科	38	形成・美容外科	66
不整脈センター	40	再建形成外科	67
総合診療科	41	整形外科・脊椎班	68
呼吸器内科	42	整形外科・膝足スポーツ班	69
快眠センター	43	整形外科・股関節班	70
がんゲノム診療科	44	整形外科・上肢班	71
遺伝子診療科	45	整形外科・腫瘍班	72
臨床腫瘍科	46	整形外科・小児班	73
感染症内科	47	スポーツ医歯学診療センター	74
食道外科	48	周産・女性診療科	76
胃外科	49	小児科	78
大腸・肛門外科	50	脳神経外科	80
乳腺外科	51	脳神経内科	82
小児外科	52	精神科	84
血管外科（末梢血管外科）	53	心身医療科	86
肝胆膵外科	54	放射線治療科	87
心臓血管外科	55	アレルギー疾患先端治療センター	88
呼吸器外科	56		

歯系診療部門 各診療科のご案内 91

先端歯科診療センター	92	摂食嚥下リハビリテーション科	107
矯正歯科	93	口腔外科	108
小児歯科	94	(専門外来) 顎口腔変形疾患外来	109
障害者歯科外来	95	歯科麻酔科	110
むし歯科	96	歯科ペインクリニック	111
歯周病科	97	歯科心身医療科	112
義歯科	98	歯科放射線科	113
スポーツ歯科外来	99	歯科総合診療科	114
快眠歯科（いびき・無呼吸）外来	100	息さわやか外来	115
顎顔面補綴外来	101	クリーンルーム歯科外来	116
言語治療外来	102	第1総合診療室・	117
高齢者歯科外来	103	第2総合診療室	118
歯科アレルギー外来	104	口腔健康管理科	119
顎関節症外来	105	オーラルヘルスセンター	120
口腔インプラント科	106		

地域連携室では、ご紹介いただいた患者さんの待ち時間短縮のため、初診事前予約をFAX・電話にて承っております。予約患者さんの手続きを優先的に行うため、予約をせずに来院された場合は混雑状況により診察までお時間をいただく場合がございます。ぜひ初診事前予約をご利用ください。



03-5803-4655



外来予約申込書に必要事項をご記入いただき下記の番号にFAXください。原則20分以内に外来診療予約票をFAXにてお送りします。

予約詳細はこちら



03-5803-0285

受付時間: 平日 8:30~17:00 (FAX受信は24時間可能)

外来予約申込書は8、9ページにあります。
FAXの際にはコピーしてご利用ください。



お願い

- ・予約の前診療日の正午までに診療情報提供書をFAXにてご送付ください。
- ・土日祝日・年末年始(12月29日~1月3日)及び受診日当日の予約は受付けておりません。また翌診療日分の予約は14時までとなっております。
- ・入院中の患者さんを外来へご紹介いただく際は、申込時に診療情報提供書をご送付ください。診療情報提供書の内容を確認した上で予約日を決定いたします。
- ・一部、地域連携室では予約を受付けていない診療科がございます。各ページの下部をご確認ください。



FAX予約が便利です

- ・予約受付時間外でも地域連携室に申込書をFAXしていただければ、翌日以降当院から紹介元医療機関または患者さんにご連絡いたします。



患者さんからの初診事前予約について

- ・患者さんからもお電話にてご予約を承っております。診療情報提供書(紹介状)は予め患者さんにお渡しください。直接患者さんと相談の上、予約日を決定いたします。
- ・また、一部診療科を除きWEBからの予約が可能になりました。右記二次元コードよりご確認ください。



患者さん用
TEL



03-5803-4655

受付時間: 平日 11:00~16:00

入院支援室では、医療機関から転院のご依頼を承っております。入院中の患者さんの転院依頼につきましては、医療機関ご担当者様より下記の番号へお電話くださいますようお願いいたします。



03-5803-4506



03-5803-0254

受付時間: 平日 8:30~17:00



お願い

1. お電話にてご連絡ください。その際、患者さんの情報、受け入れ対象診療科等を確認させていただきます。併せて診療情報提供書を上記FAX番号までご送付ください。
2. 頂戴した診療情報提供書をもとに担当診療科医師が受け入れの判断を行い、電話にて可否の連絡をいたします。回答までにお時間をいただく場合がございますのでご了承ください。
3. 受け入れ可能な場合には、日時調整後に病室の希望、持参物、入院時の手続きについてご案内いたします。なお、病室希望につきましては、ご希望に添えない場合がございます。

(注) 患者さん及びご家族の方からの直接のご相談はお受けしておりません。医療機関の方よりご連絡くださいますようお願いいたします。

年 月 日

東京科学大学病院 医系診療部門外来予約申込書

FAX 番号 03-5803-0285

【紹介元医療機関】		【予約取得後の連絡】	
		<input type="checkbox"/> 紹介元医療機関へ連絡	
【診療科・医師名】 ※フルネームでご記入ください		<input type="checkbox"/> 患者さんへ連絡	
		(TEL - -)	
【申込担当者】		【医療機関へ連絡の場合】	
(内線)		当院から送付する予約票を患者さんへお渡しください。	
【TEL】		【当院から患者さんに連絡の場合】	
- - / - -		貴院にも予約日をお知らせします。	
【FAX】			
- -			
◆ 該当する箇所を○で囲んでください。			
【貴院受診状況】 通院中 ・ 入院中 (申込書と併せて診療情報提供書を送付ください)			
ふりがな		性 別	
患者氏名		男 ・ 女	
生年月日	明 ・ 大 ・ 昭 ・ 平 ・ 令	年 月 日 生 (歳)	
◆ 受診希望日時 ※ご予約時間の45分前にお越しくださいますようお願いいたします。			
① (月 日 AM・PM・指定なし)			
② (月 日 AM・PM・指定なし)			
③ (月 日 AM・PM・指定なし)			

お問い合わせ

医療連携支援センター地域連携室

TEL:03-5803-4655(平日8:30~17:00)



緊急性があり当日受診が必要な場合は
プライオリティコール03-5803-4900にお電話下さい。(24時間対応)

※詳細はP.12をご参照ください。

◆ 受診希望科を○で囲んでください。なお、★印がついた診療科は□に✓をお願いします。	
内科系	
★ 血液内科	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> CAEBV 外来
膠原病・リウマチ内科	
糖尿病・内分泌・代謝内科	
★ 腎臓内科	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 透析合併症
総合診療科	
★ 消化器内科	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> IBD センター <input type="checkbox"/> 肝炎肝がん
循環器内科	
不整脈センター	
呼吸器内科	
★ 快眠センター	<input type="checkbox"/> 睡眠時無呼吸症候群 <input type="checkbox"/> 不眠・睡眠障害
感染症内科	
臨床腫瘍科	
外科系	
★ 食道外科	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 鼠径ヘルニア
胃外科	
大腸・肛門外科	
★ 乳腺外科	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> HBOC 外来 <input type="checkbox"/> プレストセンター
★ 肝胆膵外科	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 神経内分泌腫瘍 <input type="checkbox"/> 膵がん外来
呼吸器外科	
★ 泌尿器科	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 腎・膀胱・前立腺がんセンター <input type="checkbox"/> 尿失禁・膀胱子宮脱 <input type="checkbox"/> 臓器温存 <input type="checkbox"/> 尿路結石
★ 頭頸部外科	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> みみ・はな・くち・のどがんセンター
心臓血管外科	
小児外科	
血管外科 (末梢血管外科)	
脳・神経・精神	
脳神経外科	
★ てんかんセンター	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 小児てんかん外来
★ 脳神経内科	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 認知症予防 <input type="checkbox"/> 神経難病先端医療センター
血管内治療科	
感覚・皮膚・運動機能	
眼科	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 先端近視センター
耳鼻咽喉科	
★ 皮膚科	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 発汗 <input type="checkbox"/> 腫瘍
★ アレルギー疾患先端治療センター	<input type="checkbox"/> 皮膚科 <input type="checkbox"/> 呼吸器内科 <input type="checkbox"/> 小児科 <input type="checkbox"/> 耳鼻咽喉科
★ 形成・美容外科	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> プレストセンター
再建形成外科	
★ 整形外科	<input type="checkbox"/> 脊椎 <input type="checkbox"/> 膝 <input type="checkbox"/> 股関節 <input type="checkbox"/> 上肢・肩 <input type="checkbox"/> 腫瘍 <input type="checkbox"/> 小児 <input type="checkbox"/> スポーツ医診 <input type="checkbox"/> 神経難病先端医療センター <input type="checkbox"/> 乳児股関節 <input type="checkbox"/> アスリート難治性疼痛 <input type="checkbox"/> 足部・足関節
小児・周産・女性	
★ 小児科	<input type="checkbox"/> 内分泌 <input type="checkbox"/> 膠原病 <input type="checkbox"/> 循環器 <input type="checkbox"/> 神経 <input type="checkbox"/> 新生児 <input type="checkbox"/> 血液・免疫 <input type="checkbox"/> 腎臓
★ 周産・女性診療科	<input type="checkbox"/> 産科 <input type="checkbox"/> 婦人科 <input type="checkbox"/> HBOC 外来 <input type="checkbox"/> リプロダクションセンター <input type="checkbox"/> プレコンケア
放射線	
放射線治療科	
高気圧治療部	
★ 高気圧治療部	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 減圧症
医師の指定 (あり ・ なし) 医師名 ()	

ご紹介いただいた患者さんの待ち時間短縮のため、初診事前予約をお電話にて承っております。予約のない患者さんのご受診は原則承っておりません。ぜひ初診事前予約をご利用ください。各診療科により初診予約方法が異なりますので、以下をご参照ください。

初診事前予約 連絡先

- ①紹介先が以下の診療科、または診療科を指定しない場合は、下記の番号にお電話ください。臨床教育にご協力いただける患者さんへの優先予約制度もございます。詳しくは予約時にお尋ねください。

診療科名	番号	電話受付時間
先端歯科診療センター	03-5803-4300	平日 12:00～16:00
歯科総合診療科		
むし歯科		
歯周病科		
義歯科		
口腔外科		
診療科の指定なし		
歯科アレルギー外来	03-5803-5746	月 9:00～12:00 / 13:00～16:30 火 13:00～16:30
息さわやか外来	※WEB予約のみ	—
快眠歯科（いびき・無呼吸）外来	03-5803-4955	平日 9:00～16:00
スポーツ歯科外来	03-5803-4891	火 9:00～17:00 水 9:00～13:00 木 9:00～16:00
摂食嚥下リハビリテーション科	03-5803-5750	平日 9:00～16:00
歯科ペインクリニック	03-5803-5762	平日 9:00～16:30
歯科心身医療科	03-5803-5898	平日 8:30～12:00 / 13:00～15:30
顎口腔変形疾患外来	03-5803-4362	平日 9:00～12:00
顎関節症外来	03-5803-5961	平日 9:00～12:00
口腔インプラント科	03-5803-5773	平日 9:00～16:00
顎顔面補綴外来	03-5803-5720	平日 9:00～17:00
言語治療外来	03-5803-4752	平日 9:00～17:00
小児歯科外来	03-5803-5756	平日 9:00～16:00
障害者歯科外来	03-5803-5727	平日 9:00～16:30

- ②紹介先が以下の診療科である場合は、初診事前予約の必要はありません。紹介状をご持参いただき、初診受付後、直接各外来にお越しください。

初診受付時間：平日 8:30～10:30

- 矯正歯科外来
- 高齢者歯科外来

※9:30以降の時間帯は大変混雑いたします。8:30～9:30の時間帯は、比較的待ち時間が少なくなってきます。早めの時間帯でのご来院をおすすめいたします。

- ③紹介先が以下の診療科である場合には、院内他科からの紹介制であるため、紹介を受付けておりません。各ページの下部をご確認ください。

- 口腔健康管理科
- クリーンルーム歯科外来
- 歯科麻酔科
- オーラルヘルスセンター



予約詳細について



※予約詳細については二次元コードよりご確認ください。
 ※歯系診療部門はFAXでのご予約を承っておりません。



お願い

- ・当院あての診療情報提供書（紹介状）を予め患者さんにお渡しください。
- ・担当する診療科が決まっている場合には、ご指定ください。診療科不明の場合には、病院名のみご記載ください。歯科総合診療科で診療科の決定を行います。
- ・担当歯科医師の指定は原則承っておりません。担当歯科医師名を宛先に記載される場合は、当該歯科医師に直接ご連絡いただき、ご相談ください。
- ・土日・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）及び受診日当日の予約は受け付けておりません。
- ・予約を変更またはキャンセルされる場合には、ご予約をお取りいただいた連絡先までご連絡をお願いいたします。
- ・ご紹介状にエックス線画像を添付いただける場合には、画像をDICOM変換の上、CD-RあるいはDVD-Rに焼いたものをご提供ください（USBは受け付けておりません）。また、患者取り違え防止のため、記憶媒体の表に、患者氏名、検査の内容を記載してください。
- ・外国人の患者さんは漢字が読めない場合がありますので、診療科名をローマ字で記載してください。



初診受け付け後の治療の流れについて

初診の患者さんは、歯科総合診療科での検査等を終了後、各専門外来の予診担当医と連携し、スムーズに担当科を決定します。なお、義歯科、歯周病科、むし歯科などでの専門的な治療が必要な場合は、これらの診療科で治療を希望される患者さんが多いため、初診受診から専門外来での治療開始までに待機時間が生じる可能性があります。ご紹介時にこの旨を患者さんにご説明いただき、待機期間中の検査や予防処置、応急処置については紹介元医療機関にてご対応いただけますようお願いいたします。何卒、ご理解くださいますようお願いいたします。



CT、MRI検査について

他医療機関からのCT、MRI検査依頼を受付けております。詳しくは、歯科放射線科P.105をご覧ください。



口腔外科外来への紹介について

- ・初診時においては、外傷、炎症、出血などの緊急処置を除き、抜歯などの観血的処置は原則として行っておりません。ご紹介いただく際に、その旨を患者さんにご説明いただきますようお願いいたします。



総合案内窓口

医事二課 **03-5803-5427**（平日 8:30～17:00）

※メールでのお問い合わせおよび個人的な疾患のご相談は受け付けておりません。

救命救急センター

高度な知識・技術・経験に基づき、迅速かつ最善の救命救急を提供します。



診療科
ホームページ
二次元コード



得意とする疾患

下記の疾患に対する病院前診療、初期対応およびその後の集中治療管理を行います

- 外傷（頭部・体幹）、緊急手術を要する急性腹症、血管内塞栓術
- 消化管出血に対する緊急内視鏡
- 敗血症などの全身管理
- 臓器不全（呼吸不全・腎不全・肝不全・心不全・DICなど）
- 脳卒中
- 急性冠症候群
- 中毒
- その他救急疾患



特色・診療内容

当救命救急センターではwalk-inの患者さんから3次救急の患者さん、重症COVID-19患者さんまで幅広く救急専従医が対応しております。精査が必要な患者さんや緊急処置・手術が必要な可能性のある患者さんがいましたらお気軽にお問い合わせください。マイナー科を含め各専門科医師へ紹介することも可能です。緊急手術、IVR、内視鏡治療、心臓カテーテル、脳卒中治療などが可能であり、その後の集中治療も含め救命救急センターで管理しています。2023年度より検査・加療が同時に行えるHybrid ERも造設され、緊急疾患に対しより迅速な対応が行えるように努めています。

救急プライオリティコールのご案内

緊急での転院について相談がありましたら、お気軽に救急プライオリティコールへご連絡ください。経験豊かなスタッフを中心としたチーム医療で24時間365日可能な限り、救命救急センター医師が窓口となり直接電話対応いたします。多発外傷や急性腹症に対する緊急手術や、様々な疾患を原因とするショックに対する救急・集中治療も対応可能です

近隣医療機関／関連医療機関から

救急プライオリティコール TEL 03-5803-4900 (24時間365日対応)

にて、直接のご相談や転送依頼を受け付けております。
お気軽にご相談ください。

※患者さん及びご家族の方からの直接のご相談はお受けしておりません。

難病診療部のご案内

小児から大人まで膠原病やリウマチの患者さんに先端的な治療、個々のニーズに合った治療を提供します。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	○	○

得意とする疾患と担当医師

全身性エリテマトーデス

SLEの臨床経験が豊富でガイドライン作成にも関わった保田晋助(教授)を中心に、治験や臨床研究も積極的に実施していきます。妊娠例も周産・女性診療科と連携し、トータルケアが可能です。

抗リン脂質抗体症候群

東京を含む関東における抗リン脂質抗体症候群患者のデータベース(レジストリー)構築の中核施設であり、難治例、妊娠例など、周産・女性診療科と連携してトータルケアが可能です。

関節リウマチ

早期・未発症例、難治例、合併症を有する例も他診療科と連携しながらトータルケアが可能です。

皮膚筋炎・多発性筋炎

診療ガイドライン策定に関わり、標準治療に対して抵抗性例や再発例の治療実績も豊富にあり、倫理審査委員会で承認された適応外薬の使用や治験参加での治療が可能です。

自己炎症性疾患

周期性発熱例に対する診断・治療を行います。必要と判断した場合は遺伝子診断を行うことがあります。担当医師/上記共通:当科は特定の疾患、治療に関して専門の担当医を設けておりません。全ての医師が全ての疾患を担当します。

特色・診療内容

膠原病・リウマチ内科、小児科、整形外科、リハビリテーション部が一体となって、子供から大人まで膠原病や関節リウマチの患者さんに各科の専門医が先端的な治療、個々の患者さんのニーズにあった治療を提供します。特に、生物学的製剤などを含む専門的な薬物治療や、効果の高い関節機能再建術に力を注いでいます。

センター連携病院・クリニックの募集

当センターとの連携にご興味がある先生は(tmdu.rheu@tmd.ac.jp)までご連絡ください。センター連携病院・クリニックからご紹介の患者さんは、病状の落ち着いた状態になった後は紹介元の先生方に定期的に診察していただき、当センターでは年1回、経過を確認し、治療方針についてご相談させていただきます。センター連携病院・クリニックの先生方やコメディカルの方と定期的に勉強会の機会を設け、紹介いただいた患者さんや最新の膠原病・リウマチ診療について情報共有をいたします。

お願い

受診希望の際は、患者さんにスムーズな診療を受けていただくため、初診事前予約をお願いいたします。予約は初診予約受付(地域連携室)またはインターネットにて承っております。担当医の指名をご希望の場合には、紹介状の宛先に医師名をご記載いただき、予約時にもその旨お知らせください。

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

「患者さんの腸の状態を適切に判断し治療を行うこと」をモットーに多職種が参加する総合的・包括的なチーム診療・ケアを提供しています。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○			○
午後			○	○	○

得意とする疾患と担当医師

潰瘍性大腸炎・クローン病/先進的免疫統御療法(多数の治験を含む)/潰瘍性大腸炎 3800例、クローン病 1400例

岡本 隆一(センター長、消化器内科・教授)、大塚 和朗(光学医療診療部・教授)、藤井 俊光(副センター長、消化器連携医療学・准教授)、根本 泰宏(消化器病態学・准教授)、清水 寛路(講師)、竹中 健人(消化器連携医療学・講師)、河本 亜美(光学医療診療部・助教)、日比谷 秀爾(光学医療診療部・助教)、田村 皓子(特任助教)、森川 亮(医員)、長堀 正和(臨床試験管理センター・准教授)

クローン病/小腸内視鏡/年間382件

大塚 和朗、竹中 健人、日比谷 秀爾、河本 亜美

クローン病/内視鏡的狭窄拡張術/年間98件

大塚 和朗、竹中 健人、日比谷 秀爾、河本 亜美

クローン病/MRenterocolonography検査/年間400件

土屋 純一(放射線診断科・准教授)

炎症性腸疾患/潰瘍性大腸炎(大腸全摘出)/年間23件 クローン病(腸管切除・狭窄形成術)/年間8件 肛門手術/年間41件

山内 慎一(副センター長、大腸・肛門外科・講師)

特色・診療内容

当IBDセンターは炎症性腸疾患5000例以上の診療を行う国内最大規模のハイボリュームセンターです。国内で行われる炎症性腸疾患のほぼすべての治験を担当し、開発段階から保険承認後までシームレスに治療に関する最新の情報が蓄積され、先端の治療法及び薬剤の選択が可能です。細やかな患者ニーズのすくい上げや種々の不安への対応を積極的に行っています。多数の新薬が開発される中、患者さんの病態や社会的背景等個々の患者さんに応じて、標準治療から新規治療、治験まで柔軟に対応し、適切な治療を行います。

お願い

炎症性腸疾患は慢性疾患ではありますが、急性増悪の際など、早急に積極的な治療が必要な場合も少なくありません。そのような病状の方は、予約の電話を頂く際にその旨遠慮なくお伝えください。

潰瘍性大腸炎・クローン病先端医療センターへご紹介の際には、「IBDセンター」宛てとし、医師指定がある場合は医師名も紹介状に記載いただくとスムーズです。

参考:消化器内科(p.34)もご覧ください。

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

神経難病先端医療センター

丁寧な問診、診察を基本に先端的な電気生理検査、画像検査、遺伝子診断などを用いて適切な治療プランを提案・実行します。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○ (脳神経内科)	○ (脳神経内科)	○ (脳神経内科)	○ (脳神経内科)	○ (整形外科・脳神経内科)
午後					



得意とする疾患と担当医師

《担当診療科：脳神経内科》

- 筋萎縮性側索硬化症などの運動ニューロン疾患の診断と治療
横田 隆徳医師、桑原 宏哉医師、叶内 匡医師
- 脳梗塞の予防と治療
西田 陽一郎医師、鈴木 基弘医師、石黒 太郎医師
- 重症筋無力症の診断と治療
横田 隆徳医師、西田 陽一郎医師
- 脊髄小脳変性症・多系統萎縮症の診断と治療
横田 隆徳医師、石川 欽也医師、石黒 太郎医師
- 認知症の診断と治療・プリオン病の診断とケア・進行性多巣性白質脳症の診断と治療・脳表ヘモジデリン沈着症の患者さんに対して、硬膜瘻孔閉塞術や鉄キレート剤デフェリプロン投与
横田 隆徳医師、三條 伸夫医師、西田 陽一郎医師
- 多発性硬化症と視神経脊髄炎スペクトラム障害の診断と治療
横田 隆徳医師、三條 伸夫医師、西田 陽一郎医師、横手 裕明医師
- パーキンソン病 / 症候群・特発性正常圧水頭症の診断と治療・進行性核上性麻痺などの神経変性疾患の患者さんに対して、2次的な水頭症の合併を想定して、髄液除去試験を臨床研究として実施
服部 高明医師
- ギランバレー症候群・CIDP などの末梢神経障害
横田 隆徳医師、叶内 匡医師、八木 洋輔医師、赤座 実穂医師

《担当診療科：整形外科》

- 頸椎椎間板ヘルニアに対し最新の治療として頸椎人工椎間板置換術を実施
吉井 俊貴医師、平井 高志医師、小沼 博明医師
- 重度の脊髄症や筋萎縮症を呈する頸椎後縦靭帯骨化症や頸椎症性脊髄症に対し高い診断精度とあらゆる病態に対応できる手術療法を提供 / 脊柱変形に対する矯正術
吉井 俊貴医師、平井 高志医師、松倉 遊医師
- 術中脊髄モニタリングを使用し脊髄腫瘍に対する高難度手術の安全な手技を実践
吉井 俊貴医師、江川 聡医師、平井 高志医師
- 比較的若年に発症する腰椎椎間板ヘルニアに対して内視鏡的摘出術だけではなく、軟骨特異的に作用する椎間板内酵素（コンドリナーゼ）注入療法を実施
平井 高志医師、松倉 遊医師
- 脳表ヘモジデリン沈着症に対する外科的治療、日本で最も多くの手術を施行
吉井 俊貴医師、江川 聡医師



特色・診療内容

丁寧な病歴聴取、詳細な身体診察を基本としつつ、先端的な電気生理検査、画像検査、遺伝子診断を駆使して、病態を明らかにし、最も適した治療法を提案します。それぞれの疾患や検査を専門とする医師が研究レベルからベッドサイドでの治療を視野にいれて臨床に携わっています。疾患に応じて、臨床研究、臨床試験への参加の提案も行います。脊柱靭帯骨化症や脊髄腫瘍については、脊髄モニタリングを併用した安全性の高い手術療法を実践しています。特に頸椎疾患に対する診断治療は日本のみならず世界をリードし、いかなる難しい病態に対しても応えていきます。



お願い

次の疾患について特に患者さんをご紹介ください。

《担当診療科：脳神経内科》

認知症：三條 伸夫医師、西田 陽一郎医師

多発性硬化症、視神経脊髄炎スペクトラム障害専門外来：横手 裕明医師

パーキンソン病 / パーキンソン症候群、特発性正常圧水頭症：服部 高明医師

《担当診療科：整形外科》

頸椎椎間板ヘルニア・頸椎症：吉井 俊貴医師

脊椎・脊髄腫瘍：平井 高志医師

腰部脊柱管狭窄症：江川 聡医師、小沼 博明医師

腰椎椎間板ヘルニア：松倉 遊医師

ご紹介いただく際は、「神経難病先端医療センター 脳神経内科」または「神経難病先端医療センター 整形外科」宛てにご紹介いただき、医師の指定がある場合には医師名をご記載ください。また貴施設や他施設で撮影された画像がございましたらCD-ROMにてご提供ください。併せて検査結果についてもご提供いただければ幸いです。

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

稀少疾患先端医療センター

各分野の専門医師による、領域を超えて連携した診療を提供します。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診) 月 火 水 木 金

お問い合わせください



得意とする疾患

- **小児稀少(遺伝)疾患** 原発性免疫不全症候群 (PID)、肺動脈性肺高血圧症 (PAH)、性分化疾患 (DSD)、先天性副腎過形成 (CAH)、小児リウマチ・膠原病、脊髄性筋萎縮症など
- **腎臓難病** 多発性嚢胞腎 (ADPKD)、アルポート症候群 (AS)、常染色体顕性(優性)尿細管間質性腎疾患 (ADTKD)、若年性ネフロン癆 (NPH)、ギッテルマン症候群 (GS)、腎性尿崩症 (NDI)、ファブリー病 (FD)、非典型型溶血性尿毒症症候群 (aHUS)、遺伝性巣状分節性糸球体硬化症 (FSGS)、IgA 腎症など
- **間質性肺炎** 特発性間質性肺炎、慢性過敏性肺炎、肺胞蛋白症、リンパ脈管筋腫症など
- **感覚器異常** 難聴、メニエール病、遅発性内リンパ水腫、若年発症型両側性感音難聴など
- **無汗症** 特発性後天性全身性無汗症、先天性無痛無汗症、多系統萎縮症など
- **眼疾患** 家族性変性近視など
- **頭蓋顎顔面先天性疾患** 頭蓋骨縫合癒合症、アペール症候群、クルーゾン症候群、トリーチャー・コリンズ症候群、鎖骨頭蓋異形成症など
- **血管稀少疾患** バージャー病、慢性血栓性肺高血圧症など
- **難治性てんかん** 結節性硬化症など



特色・診療内容

稀少疾患の診断拠点です。未診断稀少疾患イニシアチブ (IRUD) 拠点病院 (HP: <https://www.tmd.ac.jp/med/ped/irud.html>) として、また東京都難病連携拠点病院として、遺伝子診療科と連携しながら、稀少疾患の遺伝子診断に当たっています。

幅広い専門領域をカバーしています。小児科、腎臓内科、呼吸器内科、脳神経内科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、循環器内科、心臓血管外科、矯正歯科・口腔外科など、様々な領域の診療科から成り立っており、指定難病や小児慢性特定疾患をはじめとする、いわゆる稀少疾患に幅広く対応しています。さらに、標準的な治療にとどまらず、大学における稀少疾患・難病コンソーシアムとも連携しながら、常に先端的治療への展開を試みています。



お願い

- ・小児で感染症の入院を繰り返す、不明熱が続く、てんかんが難治に経過している等
- ・血縁者で慢性腎臓病(透析療法を受けられている)の方が多かったり、血尿蛋白尿を示す方がいる。小児期より検尿異常(尿蛋白、尿潜血など)を指摘されている、腎臓に多発する嚢胞を認めるが家族歴がない・典型的な画像ではない、腎生検を行ったが診断がつかなかった、原因不明の電解質異常がある等
- ・呼吸音で fine crackles を聴取する、ばち指を認める、血液検査で KL-6、SP-D の上昇を認める場合(間質性肺炎)

上記などの疾患を疑うような症状や経過がある場合にはお気軽にご相談ください。

ご紹介いただく場合には、紹介状をご用意の上、地域連携室までお問い合わせください。

各診療科と相談し、適切な診療科で予約いたします。

担当する診療科がはっきりしている場合には、紹介状の宛先に該当の診療科名をご記載ください。

診療科がご不明な場合には、稀少疾患先端医療センター宛に紹介状を作成ください。

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。



がん先端治療部のご案内

腎・膀胱・前立腺がんセンター

腎臓がん、膀胱がん、前立腺がんに対する、質の高い臓器温存療法の開発に注力しています。
低侵襲な治療、最大限の機能温存（腎機能、膀胱機能、前立腺機能）、早期退院を図っています。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	○	○

得意とする疾患と担当医師

Point

●正確な腎臓がんの診断：

小さな腎腫瘍では腎がんの診断で手術を行った際、病理検査で良性腫瘍であることがまれではありません。画像診断の精緻な解析、腎腫瘍生検により、術前診断の精度向上に努めています。

腎臓がん

●ロボット支援腹腔鏡下(ダビンチ)腎部分切除

●腎血流非遮断・ミニマム創内視鏡下腎部分切除：

腎機能保持を目的とし、腎血流を保ったまま行う低侵襲手術です。
2つの低侵襲手術から患者様に適した手術法を選択しております。

●ロボット支援腹腔鏡下(ダビンチ)根治的腎摘除

膀胱がん

●筋層浸潤性膀胱がんに対する膀胱部分切除を組み込んだ四者併用膀胱温存療法(経尿道的膀胱腫瘍切除+放射線治療+化学療法+ミニマム創内視鏡下膀胱部分切除)：

筋層浸潤性膀胱がんの根治と機能的膀胱温存を両立させる集学的治療として、1990年代末より、開発・実践してきました。ご高齢の方、合併症のある方へも施行可能で、治療後の筋層浸潤がんの再発は低く、排尿機能のみならず、性機能、腎機能も良好に保たれています。

●筋層浸潤性膀胱がんに対するロボット支援腹腔鏡下(ダビンチ)根治的膀胱全摘除

●がんの診断と状態をより正確に評価可能とするMRI-超音波弾性融合ガイド下前立腺生検：

生検を行う際にMRIでがんの疑われる部位を、超音波画像上に重ね合わせて表示させ穿刺ガイドを行う技術です。

前立腺がん

●ロボット支援腹腔鏡下(ダビンチ)前立腺全摘除

●ミニマム創内視鏡下前立腺全摘除

●前立腺全機能温存治療としての小線源部分治療：

がん治療と機能温存の両立を目指した治療法。MRIと生検情報をもとに治療が必要な部分を決定し、その部分を選択的に治療します。

●尿失禁に対する人工尿道括約筋手術(早稲田 悠馬)

担当医師/上記共通：医師指定がない治療は下記いずれの医師もベストな対応をいたします。

藤井 靖久、吉田 宗一郎、田中 一、早稲田 悠馬、福田 翔平、福島 啓司、石川 雄大、小林 正貴、松本 峻弥



特色・診療内容

Point

泌尿器科臨床の多くで世界トップレベルの医療を提供できる診療体制をとっています。全ての泌尿器がんおよび副腎腫瘍を対象として、世界標準の低侵襲手術であるロボット支援手術、または当科で開発したミニマム創内視鏡下手術を施行しています。浸潤性膀胱がんの膀胱温存、腎がんの無阻血・無縫合腎部分切除、前立腺がんの小線源部分治療を開発し施行しています。



お願い

Point

ご紹介の際には、「腎・膀胱・前立腺がんセンター」宛てに紹介状を記載していただくと予約がスムーズです。よろしくお願いいたします。

頭頸部外科と耳鼻咽喉科がタッグを組んで、高度な専門性と豊富な経験を生かした質の高い手術を提供します。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前		○		○	○
午後					

得意とする疾患と担当医師

●頭頸部の進行癌・再発癌/機能温存手術

朝蔭 孝宏、有泉 陽介、大野 十央、岡田 隆平

●中下咽頭表在癌/内視鏡下手術

大野 十央、岡田 隆平、三輪 好、朝守 智明、大野 貴史

●進行鼻副鼻腔癌/広範囲頭蓋底手術/安全性に配慮した高難度手術

朝蔭 孝宏、有泉 陽

●鼻副鼻腔癌・嗅神経芽細胞腫/経鼻内視鏡頭蓋底手術

有泉 陽介、大野 十央

●甲状腺内視鏡手術

大野 十央

●外耳道癌

堤 剛

●頭頸部アルミノックス治療(光免疫療法)

岡田 隆平

特色・診療内容

早期から進行期まであらゆる頭頸部癌患者さんの治療が可能です。特に頭蓋底手術と表在癌内視鏡手術は日本で治療が開始された当初から取り組んでおり、多くの経験を有しています。近年は嗅神経芽細胞腫や早期の鼻副鼻腔癌に対しては経鼻内視鏡手術も手掛けています。また多くの手術では、経験豊富な形成外科・脳神経外科・食道外科とのチーム医療を行なっています。がんを治すのみならず、患者さんの生活の質を高めることを目指しています。

お願い

ご紹介頂く患者さんにスムーズな診療を受けていただくために、地域連携室を介した外来のご予約をお願いします。紹介状、画像、生検をされている場合はプレパラートをご用意いただきますようお願いいたします。

また、舌部分切除術とそれに予防的頸部郭清術を追加した場合の前向き比較試験であるJCOG1601試験の研究事務局を担当しております。対象となるステージ1, 2の早期舌癌の患者さんのご紹介をお願いします。

みみ・はな・くち・のどがんセンターへご紹介の際には、「みみ・はな・くち・のどがんセンター」宛てとし、医師指定がある場合は医師名を紹介状に記載いただくとスムーズです。

参考：頭頸部外科 (p.57)、耳鼻咽喉科 (p.62) もご覧ください。

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

当院の乳癌治療のエキスパート(乳腺外科、形成・美容外科、放射線診断科、放射線治療科)が集結し、一人一人の患者さんに適した医療を提供します!



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○		○	○
	形成(隔週)・乳腺	形成(隔週)・乳腺		形成	乳腺
午後				○	乳腺

得意とする疾患と担当医師

●乳癌に対する乳房1次再建手術

有賀 智之(乳腺外科)、石場 俊之(乳腺外科)、熊木 裕一(乳腺外科)、足立 未央(乳腺外科)、林 久美子(乳腺外科) 森 弘樹(形成・美容外科) 加藤 小百合(形成・美容外科)

●乳房切除後の乳房2次再建手術

森 弘樹(形成・美容外科)、加藤 小百合(形成・美容外科)

●遺伝性乳癌卵巣癌の遺伝子変異を伴う方を対象とした、乳癌未発症の方への予防的乳房切除

有賀 智之(乳腺外科)、石場 俊之(乳腺外科)、熊木 裕一(乳腺外科)、足立 未央(乳腺外科)、林 久美子(乳腺外科) 森 弘樹(形成・美容外科) 加藤 小百合(形成・美容外科)

●病変同定が乳腺腫瘍に対する針生検(ステレオガイド下マンモトーム、MRIガイド下針生検など)

藤岡 友之(放射線診断科)、山鹿 絵美(放射線診断科)

●乳房部分切除後の小線源治療(SAVI)

吉村 亮一(放射線治療科)、三木谷 智範(放射線治療科)

特色・診療内容

乳癌に対する乳房1次再建手術、乳房切除後の乳房2次再建手術などの乳房再建手術は20年以上前より手掛けており、症例数の多さだけでなく、その長期的な経過も把握しています。第二種再生医療である幹細胞付加脂肪注入術を2021年より開始しました。

お願い

1. 乳癌の方をご紹介ください。
2. ご家族に乳癌卵巣癌が多い方は、遺伝による可能性もありますので、一度HBOC(遺伝性乳癌卵巣癌症候群)外来でご相談ください。
3. 他院で乳房切除を受けた方で乳房再建をご希望の方もご紹介ください。
4. 診断が困難な乳腺腫瘍の精査も承ります。

ブレストセンターへご紹介の際には、乳癌をはじめとする乳腺腫瘍の診断治療及び乳房1次再建手術をご希望の方は「ブレストセンター(乳腺外科)」宛て、2次再建手術(乳房切除後に後日乳房再建を行う)をご希望の場合は「ブレストセンター(形成・美容外科)」宛てに紹介状の宛先を記載いただけるとスムーズです。

参考：乳腺外科 (p.51)、形成・美容外科 (p.66) のページもご覧ください。

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。



長寿・健康人生推進センターの ご案内

長寿・健康人生推進センター

最先端の検診と病気の予防、治療を提供いたします。



診療科
ホームページ
二次元コード



得意とする疾患と担当医

担当医：宮崎 泰成（センター長、呼吸器内科）
岡本 師（副センター長、呼吸器内科）
石川 欽也（脳神経内科）
伊藤 剛（消化器内科）
川見 祥子（糖尿病・内分泌・代謝内科）



特色・診療内容

1. 高度・先端医療を担う東京医科歯科大学病院がベースとなって、病気の予防と健康維持をトータルにサポートするために設置された施設です。
2. 大学病院ならではの豊富な先端的健診メニューを組み合わせ、個人ごとに最適な検診プログラムを提供します。
3. 歯科も含めたトータルヘルスケアをご提供します。
4. もし検査結果に異常が見つければ、院内の専門診療科をご紹介します、さらに詳しい検査や疾患の治療を提供します。
5. プライバシーの確保された専用個室を準備しております。
6. 企業等と連携して社員の健康維持をサポートする法人会員制と、一般個人会員制をご用意し、様々な健康相談に応じます。



お願い

当センターでは、会員制により様々なプログラムを用意して検診を行っております。受診者様のニーズに合わせ医師と相談の上、各種プログラムやオプションを組み合わせでご提供することとしております。受診につきましては医師との面談、会員審査（書面）をさせていただきます。

詳しくは当センターのホームページ

<https://www.tmd.ac.jp/medhospital/chouju/>をご覧ください。

センターの提供する医療サービスは、すべて自由診療とさせていただきます。

医系診療部門 各診療科のご案内

～分子標的治療、細胞療法の時代を迎えて～
「違いを生む医療」を目指します。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○		○
午後			○		



得意とする疾患と担当医師

血液内科では白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群などの血液悪性腫瘍に対して化学療法や分子標的薬、放射線療法、必要に応じて細胞療法を行ないます。悪性疾患のみでなく、特発性血小板減少性紫斑病、再生不良性貧血などの造血不全症、血友病などの凝固異常症に至る数多くの血液疾患の幅広い診療を行っています。

細胞療法として、2023年は同種造血幹細胞移植8件、CAR-T細胞療法12件施行しました。外来診療は月～金曜日に行っており、どの曜日でも血液内科専門医による対応が可能です。

森 毅彦(教授)、山本 正英(講師)、長尾 俊景(講師)、梅澤 佳央(助教)、田中 圭祐(助教)、吉藤 康太(助教)、野上 彩子(助教)

●慢性活動性EBウイルス感染症外来

木曜日午前：新井 文子(非常勤)

●凝固線溶外来

火曜日午後：山口 知子(非常勤)



特色・診療内容

通常の病床に加え、14床の無菌室があり、急性白血病寛解導入療法や、急性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などに対する造血幹細胞移植(同種および自家)を行っています。日本造血・免疫細胞療法学会および骨髄バンクの移植施設として認定を受けております。また全国でいち早くCAR-T細胞療法認定施設となり、難治性B細胞リンパ腫に積極的にCAR-Tによる治療を行っています。科学的根拠(エビデンス)に基づくのはもちろんのこと、患者さん一人一人の状態に合わせて最良・適切と考えられる治療を提供できるようスタッフ一同心がけております。



専門外来

週に一度、出血性疾患や凝固の異常などに関する専門外来を行っています。また、当科では成人慢性活動性EBウイルス感染症(CAEBV)患者さんを対象とした全国でも希少な専門外来を設けています。



お願い

患者さん及びご家族からのCAR-T療法に関するお問い合わせは、主治医の先生を通じて当院地域連携室(03-5803-4655)にお問い合わせください。

血液内科診療の特殊性として、急性白血病などは無菌室での診療が必要になる場合があります。無菌病床には限りがあるため、急を要するご紹介に際してはご面倒をおかけしますがあらかじめ

内科外来：03-5803-5670(平日8:30～17:00)

に問い合わせいただきますようお願いいたします。

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30～17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30～17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

患者さんに寄り添いながら、
難しい疾患や病態を解決するための知恵を絞ります。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	○	○



得意とする疾患と担当医師

●全身性エリテマトーデス

SLEの臨床経験が豊富でガイドライン作成にも関わった保田晋助(教授)を中心に、治験や臨床研究も積極的に実施していきます。妊娠例も周産・女性診療科と連携し、トータルケアが可能です。

●抗リン脂質抗体症候群

東京を含む関東における抗リン脂質抗体症候群患者のデータベース(レジストリー)構築の中核施設であり、難治例、妊娠例など、周産・女性診療科と連携してトータルケアが可能です。

●関節リウマチ

早期・未発症例、難治例、合併症を有する例も他診療科と連携しながらトータルケアが可能です。

●皮膚筋炎・多発性筋炎

診療ガイドライン策定に関わり、標準治療に対して抵抗性例や再発例の治療実績も豊富であり、倫理審査委員会で承認された適応外薬の使用や治験参加での治療が可能です。

●自己炎症性疾患

周期性発熱例に対する診断・治療を行います。必要と判断した場合は遺伝子診断を行うことがあります。

担当医師/上記共通：当科は特定の疾患、治療に関して専門の担当医を設けておりません。全ての医師が全ての疾患を担当します。



特色・診療内容

リウマチ、膠原病診療の最後の砦として、診療にあたります。エビデンスに即した標準治療を基本とし、それでも治療困難な場合は病態に即した応用的治療を行います。専門家としての医療を提供します。



膠原病・リウマチ先端医療センター

膠原病・リウマチ内科、小児科、整形外科、リハビリテーション部が一体となって、子供から大人まで膠原病や関節リウマチの患者さんに各科の専門医が先端的な治療、個々の患者さんのニーズにあった治療を提供します。特に生物学的製剤などを含む専門的な薬物治療や、効果の高い関節機能再建術に力を注いでいます。



お願い

受診希望の際は、患者さんにスムーズな診療を受けていただくため、初診事前予約をお願いいたします。

予約は初診予約受付(地域連携室)またはインターネットにて承っております。担当医の指名をご希望の場合には、紹介状の宛先に医師名をご記載いただき、予約時にもその旨お知らせください。

参考：膠原病・リウマチ先端医療センター(p.14)もご覧ください。

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30～17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30～17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

「全身を診る」という医療の原点を心掛け、豊富な知識と確かな技術で高質な医療を提供します。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後					



得意とする疾患と担当医師

当院の腎臓内科の診療対象は難病や重症の患者さんだけではなくありません。common disease に対しても、専門医の早期介入や、栄養指導・糖尿病透析予防指導・透析先延ばし入院・他科併診などの集学的治療、幅広い診療を行います。大学病院だからといって敷居が高いということはありません。「日常の診療は自院で対応しつつ、時々腎臓内科医の目も入れたい」というケースでは、地域の医療機関と当科で併診も可能です。下記に該当するような患者さんは是非当科への紹介をご検討ください。

- ✓ 血尿や蛋白尿を認める
- ✓ 腎機能が低下してきた
- ✓ CKD(慢性腎臓病)の進行を抑制したい
- ✓ 高血圧のコントロールがつかない
- ✓ 電解質異常の原因がわからない
- ✓ 維持透析中の合併症や透析シャントトラブルを診てほしい
- ✓ もしかすると遺伝性腎疾患かもしれない

尿蛋白(1+)以上またはCr(クレアチニン)男性1.5mg/dL・女性1.2mg/dL超を目安にどうぞご紹介ください!!

(60歳男性でCr1.5mg/dLは推定糸球体濾過量(eGFR)38.4mL/分/1.73m²、60歳女性でCr1.2mg/dLはeGFR36.2mL/分/1.73m²まで低下しています。)

担当医師/上記共通:内田 信一(教授)、蘇原 映誠(准教授)、内藤 省太郎(准教授)、飯盛 聡一郎(准教授)、萬代 新太郎(准教授)、須佐 紘一郎(講師)、森 崇寧(講師)、安藤 史顕(助教)、森 雄太郎(助教)、菊池 寛昭(助教)、藤木 珠美(助教)



専門外来

●透析合併症外来(完全予約制)

透析導入後の心血管疾患、骨ミネラル代謝異常、貧血、悪性腫瘍、シャントトラブルなどさまざまな合併症に対して、精査やフォローアップをいたします。他院で導入された患者さんにも対応します。是非ご紹介ください。

日時: 毎週水曜日 14:00~16:00 / 毎週木曜日 14:30~16:30

詳しくは当科ホームページ <https://tmd-kid.jp> 「医療関係者の方へ」→「透析合併症外来」とお進みください。透析合併症外来専用の診療情報提供書をダウンロードしてご記入の上、患者さんにお渡しください。(透析合併症外来はインターネットでは予約できません)



【透析合併症外来HP】



お願い

過去の健康診断や血液検査・尿検査のデータは大変有用です。お手元があれば是非ご持参ください。

他院で治療困難とされた症例に対してもスタッフの豊富な経験を活かして、治療を行っています。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○		
午後					



得意とする疾患と担当医師

- 脳動脈瘤コイル塞栓術、ステントを使用した脳動脈瘤コイル塞栓術**
壽美田 一貴、平井 作京
- 動脈瘤に対するフローダイバータースtent留置術**
壽美田 一貴、平井 作京
- 硬膜動脈静脈瘻、脳動静脈奇形などのシャント疾患に対する塞栓術**
壽美田 一貴、平井 作京
- 頸動脈ステント留置術、脳血管形成術**
壽美田 一貴、平井 作京、藤田 恭平、高橋 暁
- 脳・脊椎脊髓・頭頸部の腫瘍塞栓術**
壽美田 一貴、平井 作京、藤田 恭平、高橋 暁
- 急性期脳梗塞に対する血行再建術**
壽美田 一貴、平井 作京、藤田 恭平、高橋 暁



特色・診療内容

未破裂脳動脈瘤のコイル塞栓術、頸動脈ステント留置術に対し多くの治療実績がある他、稀少疾患である硬膜動脈静脈瘻や脳動静脈奇形に対しても豊富な経験があり、専門性の高い医療を提供しています。また脳卒中センターを構成している救命救急科、脳神経内科、脳神経外科と協力して急性期脳卒中を24時間365日体制で受け入れており、いつでも血管内治療を行うことが可能です。また、必要時には医療連携支援センターや関連病院と連携し、早期回復・早期退院を患者さんと一緒に目指します。



専門外来

脳神経外科から独立した専門性の高い科として、治療困難と考えられる動脈瘤に対しても最新のデバイスを用いた血管内治療を提供しています。



お願い

脳血管に関わる全ての症例のご相談を受けさせていただきます。転院搬送依頼の患者さんに対する相談窓口も救命救急科と共に時間を問わず受け入れを行っています。脳卒中(くも膜下出血、脳出血、脳梗塞)を発症され搬送される際には、救急要請をお願いします。一般外来にご紹介頂く際には、地域連携室を介した初診事前予約をお願いします。

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

常に新しい知見を採り入れ、当科ならではの「特色ある専門医療」を提供しています。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	○	○



得意とする疾患と担当医師

炎症性腸疾患 (IBD)

●炎症性腸疾患／最新の生物製剤／これまでに約5,200名の治療実績があります。小腸内視鏡年間382件 小腸狭窄拡張術年間98件

岡本 隆一 (教授)、大塚 和朗 (光学医療診療部・教授)、藤井 俊光 (消化器連携医療学・准教授)、根本 泰宏 (消化器病態学・准教授)、清水 寛路 (講師)、竹中 健人 (消化器連携医療学・講師)、河本 亜美 (光学医療診療部・助教)、日比谷 秀爾 (光学医療診療部・助教)、田村 皓子 (特任助教)、森川亮 (医員)、長堀 正和 (臨床試験管理センター・准教授)

消化管腫瘍に対する内視鏡治療

●早期胃癌・大腸癌／内視鏡的粘膜下層剥離術／年間242件
福田 将義 (光学医療診療部・講師)

小腸内視鏡

●小腸疾患 (原因不明消化管出血、小腸腫瘍など) / 小腸バルーン内視鏡年間440件 / カプセル内視鏡年間約22件 / 内視鏡的小腸狭窄拡張術107件

大塚 和朗 (光学医療診療部・教授)、竹中 健人 (消化器連携医療学・講師)、日比谷 秀爾 (光学医療診療部・助教)、河本 亜美 (光学医療診療部・助教)

●ウイルス性肝炎 (B型肝炎、C型肝炎) / ウイルスゲノム・宿主要因・非侵襲的線維化診断による精密医療 / 肝炎ウイルス排除・制御率99%以上

朝比奈 靖浩 (肝臓病態制御学・教授)、柿沼 晴 (疾患生理機能解析学・教授)、中川 美奈 (統合教育機構・准教授)、村川 美也子 (消化器連携医療学・講師)、金子 俊 (助教)、北畑 富貴子 (検査部・助教)、三好 正人 (消化器病態学・助教)、延澤 翼 (医員)

肝炎肝癌

●非アルコール性脂肪性肝炎 / 非侵襲的線維化診断・肝脂肪化診断、および多因子解析による個別化医療 / 診断率100%

朝比奈 靖浩 (肝臓病態制御学・教授)、柿沼 晴 (疾患生理機能解析学・教授)、中川 美奈 (統合教育機構・准教授)、村川 美也子 (消化器連携医療学・講師)、金子 俊 (助教)、北畑 富貴子 (検査部・助教)、三好 正人 (消化器病態学・助教)、延澤 翼 (医員)

●肝癌 / ラジオ波焼灼術、TACE、薬物療法 年間約100件 / 肝臓外科や放射線科と連携した、きめ細かい個別化医療

朝比奈 靖浩 (肝臓病態制御学・教授)、柿沼 晴 (疾患生理機能解析学・教授)、中川 美奈 (統合教育機構・准教授)、村川 美也子 (消化器連携医療学・講師)、金子 俊 (助教)、北畑 富貴子 (検査部・助教)、三好 正人 (消化器病態学・助教)、延澤 翼 (医員)

肝炎肝癌

●肝癌 / 免疫チェックポイント阻害薬や分子標的薬などの薬物療法 年間20件 / 臨床腫瘍科との連携によるリキッドバイオプシー・ゲノム診断などの精密医療 / 責任遺伝子判明率95%

朝比奈 靖浩 (肝臓病態制御学・教授)、柿沼 晴 (疾患生理機能解析学・教授)、中川 美奈 (統合教育機構・准教授)、村川 美也子 (消化器連携医療学・講師)、金子 俊 (助教)、北畑 富貴子 (検査部・助教)、三好 正人 (消化器病態学・助教)、延澤 翼 (医員)



特色・診療内容

1. 炎症性腸疾患に関しては、国内最大規模のハイボリュームセンターで、さらに屈指の数の新患者さんが受診されています。世界トップレベルの基礎研究や臨床研究の成果に基づく医療を行っており、病態解明による新規治療法や再生医療の開発に力をいれています。
2. クロウン病に対する小腸検査に関しては豊富な経験があります。ほとんどの検査を外来で施行しています。
3. 宿主ゲノム・ウイルスゲノム情報および非侵襲的肝線維化・肝脂肪化診断に基づく個別化精密医療を展開しています。肝疾患治療コホートは全国でも屈指の、これまで多数の診療エビデンスを世界に発信してきました。さらにヒトiPS細胞やマウス等を用いたトランスレーショナル・リサーチにより病態解明を進め、新規治療法の開発に力をいれています。



専門外来

●潰瘍性大腸炎・クローン病先端医療センター外来

難病克服のために、炎症性腸疾患患者さんの臨床情報や検査結果をもとに様々な研究・治療を行っております。

●小腸外来

診断が難しい小腸疾患を小腸バルーン内視鏡・カプセル内視鏡や画像診断を駆使して診断、治療を行っています。

●胃・大腸内視鏡治療外来

高度な技術で胃癌・大腸癌等の消化管腫瘍に対する内視鏡治療を行っています。

●胆膵治療内視鏡外来

高度な技術で良性及び悪性胆膵疾患に対する内視鏡治療を行っています。

●肝炎・肝がん撲滅外来

最近急増している脂肪肝から肝炎・肝硬変・肝癌に至るまで、あらゆる肝疾患で先端かつきめ細かい診療を提供しています。

上記の専門外来に多くの患者さんのご紹介をお願いします。



お願い

小腸外来を受診ご希望の場合は、まずは消化器内科にご紹介ください。

【外来】初診事前予約受付 (地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼 (入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

内視鏡を駆使した医療を提供しております。



得意とする疾患と担当医師

- 小腸疾患（クローン病、原因不明消化管出血、小腸腫瘍など）/
小腸バルーン内視鏡 397 件、内視鏡的小腸狭窄拡張術 63 件
大塚 和朗（教授）・竹中 健人（講師）・日比谷 秀爾（助教）・河本 亜美（助教）
- 早期胃癌・大腸癌 / 内視鏡的粘膜下層剥離術 / 年間 242 件
福田 将義（講師）
- 頭頸部表在癌の経口的手術 49 件
川田 研郎（講師）
- 食道表在癌の内視鏡治療 116 件（内視鏡的粘膜下層剥離術 88 件、
内視鏡的粘膜切除術 9 件、アルゴンプラズマ焼灼術 19 件）
川田 研郎（講師）

特色・診療内容

1. クローン病に対する小腸内視鏡検査を積極的に行っています。ほとんどの検査を外来にて施行しており、日帰りでの検査が可能です。
2. 頭頸部癌の内視鏡治療を頭頸部外科と合同で治療しています。喉頭を残す低浸襲治療で負担も軽く、数日の入院で対応できます。

専門外来

- 頭頸部癌・食道癌の内視鏡治療（経鼻内視鏡による口腔～咽喉頭観察）
毎週木曜日：食道外科・川田
- 胃・大腸内視鏡治療外来
毎週水曜日午前：消化器内科・福田

お願い

ご受診希望の場合は、まずは消化器内科または食道外科へご紹介ください。診療情報提供書に病歴、投薬内容に加え内視鏡所見などを記載いただけますと幸いです。

【外来】初診事前予約受付（地域連携室）

TEL 03-5803-4655（平日8:30～17:00）

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼（入院支援室）

TEL 03-5803-4506（平日8:30～17:00）

※詳細はP.7をご覧ください。

病態や最新の知見に基づく治療方針の決定と、それを踏まえた全人的個別化医療を実践しています。



外来日（初診）	月	火	水	木	金
午前	○	○			○
午後			○	○	

得意とする疾患と担当医師

- 糖尿病（1型糖尿病、2型糖尿病、その他の特定の機序や疾患による糖尿病）、
妊娠糖尿病
- 機能的甲状腺疾患（バセドウ病、橋本病、亜急性甲状腺炎、無痛性甲状腺炎など）
- 二次性高血圧症（原発性アルドステロン症、クッシング症候群、褐色細胞腫など）
- 副腎腫瘍
- 下垂体疾患（機能的下垂体腺腫、下垂体前葉機能低下症、尿崩症など）
- 機能的神経内分泌腫瘍（インスリノーマなど）の診断、評価

担当医師 / 上記共通：下記いずれの医師もベストな対応をいたします。
山田 哲也（教授）、池田 賢司（准教授）、小宮 力（講師）、辻本 和峰（助教）、
村上 正憲（助教）、沼沢 益行（特任助教）

特色・診療内容

糖尿病を中心とする代謝性疾患をはじめ、二次性高血圧症やホルモン異常により多彩な症状を呈する下垂体疾患、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、副腎疾患、機能的神経内分泌腫瘍（NET）などの内分泌疾患を診療しています。

専門外来

初めて診断された糖尿病患者さんの教育入院、治療に難渋する糖尿病患者さんの病態評価・教育・治療の見直し、二次性高血圧症の精査（副腎静脈サンプリングを含む）を目的とするご紹介を特にお待ちしています。

お願い

ご紹介頂く患者さんにスムーズな診療を受けていただくために、地域連携室を介した外来のご予約と服薬状況のわかる診療情報提供書のご作成をお願いします。

【外来】初診事前予約受付（地域連携室）

TEL 03-5803-4655（平日8:30～17:00）

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼（入院支援室）

TEL 03-5803-4506（平日8:30～17:00）

※詳細はP.7をご覧ください。

トップレベルのカテーテル治療や集学的な重症心不全治療を中心に、全ての範囲の心血管疾患の診療を行います。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	○	○



得意とする疾患と担当医師

●不整脈疾患とその合併症の治療

- ✓ 発作性および持続性心房細動に対するカテーテルアブレーション治療
- ✓ 難治性心室性不整脈に対するカテーテルアブレーション治療
- ✓ 植え込み型デバイス感染症に対するデバイス抜出手術
- ✓ 経皮的左心耳閉鎖システムによる脳梗塞予防

笹野 哲郎、宮崎 晋介、滝川 正晃、田尾 進、山尾 一哉、西村 卓郎、後藤 健太郎、河村 岩成

●冠動脈疾患に対する治療

- ✓ 高度石灰化病変に対するロータブレードやダイヤモンドバック、IVLを用いたカテーテル治療
- ✓ 冠動脈イメージングを用いた冠動脈病変評価によるカテーテル治療

米津 太志、梅本 朋幸、杉山 知代、松田 祐治、山上 洋介、仁井田 崇志、菅野 義典

●弁膜症・構造的な心疾患に対する治療

- ✓ 大動脈弁狭窄症に対する経皮的な大動脈弁留置術(TAVI)
- ✓ 僧帽弁閉鎖不全症に対する経皮的僧帽弁接合不全修復術(クリップ術)
- ✓ 出血リスクの高い心房細動に対する経皮的左心耳閉鎖術(Watchman)

米津 太志、梅本 朋幸、杉山 知代、落田 美英、平澤 憲祐、松田 祐治、山上 洋介、仁井田 崇志、菅野 義典

●稀少難治性心血管疾患・腫瘍循環器疾患に対する治療

- ✓ 大型血管炎(高安動脈炎・巨細胞性動脈炎)に対する包括的治療
- ✓ 心アミロイドーシス・心サルコイドーシスに対する包括的治療
- ✓ がん治療に関連した循環器疾患に対する治療

前嶋 康浩、梅本 朋幸、井原 健介、新田 義一



特色・診療内容

不整脈に対するカテーテルアブレーション治療の件数は国内トップレベルで、多くの医療機関から難治例・再発例を含めて紹介を頂きます。最新の治療機器が国内でいち早く導入され、患者さんに合わせた最先端の治療を提供します。

冠動脈疾患に対するカテーテル治療も積極的に行っており、24時間緊急対応をしております。OCT/OFDI、IVUS、血管内視鏡、DCA、エキシマレーザー、ロータブレード、ダイヤモンドバック、IVLなど、多くのデバイスを使用できる環境が整っており、特にOCT/OFDIを用いたイメージングの件数は国内トップクラスであり、患者さんに合わせた適切な治療を提供します。

弁膜症などの構造的な心疾患に対するインターベンションは、経カテーテルの治療をご提案可能です。多職種でのハートチームでのカンファレンスを行い、最新設備が整った新設ハイブリッド手術室で手術を積極的に施行しています。大動脈弁狭窄症に対する経皮的な大動脈弁留置術(TAVI)、僧帽弁閉鎖不全症に対する経皮的僧帽弁接合不全修復術(クリップ術)、経皮的左心耳閉鎖術(Watchman)などが施行可能です。

遺伝子診療科と共に遺伝性心疾患の診療も行っています。

診断および治療が困難な心血管疾患の診療も積極的に行っております。高安動脈炎の症例数は国内随一であり、豊富な経験を有しています。心アミロイドーシス・心サルコイドーシスについては薬物治療のほか、不整脈の合併例や心機能低下例にはデバイス治療を積極的に行っています。がん治療に関連して生じた心血管障害の診療も積極的に行っておりますので、専門外来(がん循環器外来)にご紹介ください。



専門外来

不整脈センター外来、がん循環器外来、遺伝子診療外来



お願い

専門外来をご希望の場合には診療情報提供書の宛先に専門外来名をご記載ください。また、医師指定の場合は医師名をご記載ください。予約取得がスムーズになります。

当科では、循環器内科緊急対応ホットラインを設けております。

循環器内科緊急対応ホットライン：070-4078-0162(平日 8:30～18:00)

胸痛・呼吸苦など、緊急対応が必要な症例がありましたら、上記番号へご連絡下さい。循環器専門医が対応致します。

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30～17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30～17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

すべての不整脈疾患に対し月曜から金曜まで毎日午前・午後とも新患を受け付け、欧米の一流施設へ留学経験を有したスタッフが豊富な経験に基づいた世界レベルの治療を行っております。是非ともご紹介ください。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	○	○



得意とする疾患と担当医師

- 宮崎 晋介(センター長)、滝川 正晃、田尾 進(副センター長)を中心に、循環器内科(笹野 哲郎主任教授)とも連携し治療を行っています。
- 不整脈疾患(心房細動、心房粗動、発作性上室性頻拍症、心室頻拍、心室期外収縮など)に対する経皮的カテーテル心筋焼灼術(カテーテルアブレーション)は国内の施設に先駆けて1990年に開始し、年間症例数は400を超え国内屈指の症例数に達し緊急対応も行っております。4月からは治療室の増加に伴い、治療数の大幅な増加が見込まれています。
- ペースメーカー、植え込み型除細動器(ICD)留置術、心臓再同期療法(CRT)も年間150症例を超えており豊富な経験を有しています。また、リードレスペースメーカー、皮下留置型植え込み型除細動器(S-ICD)、着用型自動除細動器(Wearable CD)などの新しい機器も積極的に導入し「各々の患者さんに適したデバイス治療」を行うことを心がけています。
- デバイス感染等に対するリード抜去術は2013年に導入以降、国内屈指の症例数となっております。心臓血管外科、麻酔科、看護師、臨床工学技士、放射線技師とチームを作り安全性・確実性を高める努力を行っています。



特色・診療内容

当センターは不整脈疾患の治療に関して長い伝統と多大な業績を有しています。カテーテルアブレーションやペースメーカー留置などの侵襲的治療はトップレベルを保証します。また関連施設の先生方と協力し、リスク因子(糖代謝異常、脂質異常、血圧)の管理や睡眠時無呼吸症候群、飲酒を含めた生活指導を行うことを心がけています。



お願い

ご紹介をいただく際に、不整脈発作時の心電図、ホルター心電図等のコピーをご提供いただければ検査の重複を省き、治療までの期間を短縮することにもつながりますのでよろしくお願いいたします。

様々な症状で精査前の未診断症例や診断困難な症例、発熱や各種感染症の疑いなどを含めた内科系 Common disease の精査・加療、内科的な複数の疾患がありどこに紹介すべきか迷う症例などをご紹介ください。検診異常などの軽微なものから、内科系疾患での入院精査・加療も対応可能です。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	○	○



得意とする症例

以下のような症例についてご紹介ください。曜日・担当医師に関わらずご対応させていただきます。

- 未診断や診断困難で精査希望の症例(軽症例やスクリーニング検査のみ施行された症例でも構いません)
- 検査値異常や二次検診での追加精査希望の症例、画像検査なども含めた包括的な検査が必要な症例
- 内科的な複数の疾患がありどこに紹介すべきか迷う症例
- 発熱や各種検査値異常など、入院での精査をご希望の症例(軽微なものでも構いません)
- 内科系 Common disease での入院・転院加療をご希望の症例



特色・診療内容

当科は地域の医療ネットワークの一翼を担い、地域医療連携のニーズに合った医療を目指しております。未診断症例だけでなく、内科系急性期 common disease による入院、各専門科の治療に加え全身管理が必要な症例、緩和ケア導入中の各種感染症など、大学病院に紹介すべきか迷うような症例もまずはお相談ください。患者さんにとっても医療機関にとってもより良いネットワークを構築させていただければと存じます。



お願い

事前に地域連携室を通じてご予約下さい。急性期疾患で予約日まで待てない場合や入院での精査加療をご希望の場合は、医療関係者の方から直接地域連携室にご連絡いただき、その旨お伝えください。当日担当の医師が直接対応させていただきます。



その他

毎月1回、総合診療の勉強会(総合診療セミナー in 御茶ノ水)を開催いたします。皆様のご参加をお待ち申し上げます。詳細は当科ホームページをご参照ください。
<http://www.tmd.ac.jp/grad/fmed/seminar/>



【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

患者さんに寄り添った丁寧な診療を心がけています。間質性肺炎、肺癌、難治性喘息はもちろん、長引く咳、呼吸困難など、呼吸器疾患が疑われる場合もぜひご紹介ください。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	○	○

得意とする疾患と担当医師

間質性肺炎を含むびまん性肺疾患では全国トップレベルの診療実績があります。その他、あらゆる呼吸器疾患に対応しております。

- 間質性肺炎 (特発性間質性肺炎、過敏性肺炎など)
- 肺癌・胸膜中皮腫
- 気管支喘息、COPD (慢性閉鎖性肺疾患)
- サルコイドーシス

担当医師 / 在籍医師の専門を記載していますが、各医師とも呼吸器疾患全般に対応可能です
 びまん性肺疾患：白井 剛、石塚 聖洋、岡本 師、古澤 春彦、立石 知也、宮崎 泰成
 肺癌・胸膜中皮腫：本多 隆行、榊原 里江
 喘息・COPD：高澤 聖子、小松崎 恵子
 サルコイドーシス：古澤 春彦

特色・診療内容

当科は、間質性肺炎を含むびまん性肺疾患の診療で、全国でもトップクラスの診療実績があります。科長の宮崎 泰成は、全国でも数少ないびまん性肺疾患診療のエキスパートであり、日本呼吸器学会や厚生労働省の研究班にもコアメンバーとして参画しています。

間質性肺炎は薬物では根治が望めない疾患ですが、当科ではアレルギー性の間質性肺炎 (過敏性肺炎) の可能性を徹底して調べることで、環境改善による進行抑制と、治験にも積極的に協力し、患者さんが希望をもって療養できるように努めています。

また、間質性肺炎に合併した肺癌は、間質性肺炎増悪のリスクから、一般の病院では治療困難と判断されることが多いですが、当科では間質性肺炎の診療実績を生かして、患者さんの為に可能な限り治療を行っています。

その他、肺癌、難治性喘息、COPD、呼吸器感染症など、診療経験豊富な医師が在籍しており、あらゆる呼吸器疾患に対応しています。アレルギーセンターでは、難治性喘息に対し積極的に生物学的製剤を導入しており、最適な吸入薬の選択や吸入指導なども患者さん個別に実施しており、丁寧な診療を心がけています。

専門外来

- 難治性喘息 (アレルギー疾患先端治療センター)
重症気管支喘息に対して生物学的製剤を積極的に導入しています。
- その他専門外来 (詳細は病院ホームページをご参照ください)
禁煙外来、睡眠時無呼吸外来、間質性肺炎外来。

お願い

難治性喘息 (アレルギー疾患先端治療センター宛)、睡眠時無呼吸 (快眠センター宛)、間質性肺炎 (びまん性肺疾患外来 宛) をご希望の場合は、診療情報提供書の宛先に呼吸器内科に加えて各専門外来名をご記載ください。その他の場合は呼吸器内科宛でご紹介ください。間質性肺炎の患者さんは専門外来以外でも受け入れておりますので呼吸器内科宛でも結構です。

【外来】初診事前予約受付 (地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼 (入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

集学的治療により睡眠時無呼吸症候群をはじめ幅広く睡眠障害のテーラーメイド治療を提供します。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前		○		○	○
		(SAS・不眠)		(SAS)	(SAS・不眠)
午後	○			○	○
	(不眠)			(SAS)	(SAS)

得意とする疾患と担当医師

- 閉塞型睡眠時無呼吸症 (OSA) / 睡眠時無呼吸症候群 (SAS) / 終夜睡眠ポリグラフ (PSG) 検査、CPAP療法、口腔内装具 (マウスピース：快眠歯科と連携)

宮崎 泰成 (快眠センター長)、立石 知也 (副センター長)、園田 史朗 (助教)

- 不眠、過眠、睡眠時異常行動 / MSLT

治徳 大介 (准教授)、高木 俊輔 (講師)

- SAS専門外来では、いびきや日中の眠気などでOSA / SASを疑う方、他院ですでに簡易SAS検査を施行され終夜睡眠ポリグラフによるさらなる精査が必要な方のご紹介をお待ちしております。

特色・診療内容

1) 呼吸器内科・精神科・快眠歯科 (いびき・無呼吸) を中心とした連携により、閉塞型睡眠時無呼吸症のみならず広く睡眠障害に対応しております。

持続的陽圧呼吸療法 (CPAP) だけではなく、マウスピース治療など、患者さんにあった治療の選択を行っています。

専門外来

- SAS専門外来

いびきや日中の眠気などでOSA / SASを疑う方、他院ですでに簡易SAS検査を施行され終夜睡眠ポリグラフによるさらなる精査が必要な方のご紹介をお待ちしております。

- 不眠・睡眠障害専門外来

精神科医が対応します。不眠症など睡眠障害でお困りの患者さんがいらっしゃいましたらご紹介下さい。

- 過眠症・夜間異常行動専門外来

金曜日に精神科医が対応します。過眠症 (日中の眠気)、夜間の異常な行動でお困りの患者さんがいらっしゃいましたらご紹介ください。

お願い

ご紹介時は、SAS専門外来 (呼吸器内科) か不眠快眠専門外来 (精神科) をご指定下さい。

参考：快眠歯科 (いびき・無呼吸) 外来 (P.100) もご覧ください。

【外来】初診事前予約受付 (地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼 (入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

がん患者さんのゲノム変異を調べ、最先端の研究を含めた、最善の治療を探します。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後	○	○		○	○

得意とする疾患と担当医師

・希少がん・難治性のがんを含む、がん全般：臓器に関わらず、標準的な治療方法がない、またはなくなりそうな固形がんの患者さんが対象です。

特色・診療内容

当院は2019年にがんゲノム医療拠点病院に指定されました。各診療科をはじめ放射線科、病理部、バイオインフォマティクス、遺伝子診療科など様々な分野の専門家と連携し、多角的な視点で遺伝子情報と治療法を検討し、質の高いがんゲノム医療を提供しています。

お願い

保険診療として行っているがん遺伝子パネル検査は、以下の条件に適合する患者さんが対象となっています。

- ・標準治療のない固形癌（原発不明癌、希少がん等）の患者さん、又は局所進行・転移が認められ標準治療が終了（もしくは終了見込み）となった固形がんの患者さん
- ・検査施行後に化学療法との適応となる可能性が高いと主治医が判断した患者さん

また、免疫チェックポイント阻害剤が適応となっていない固形癌の患者さんに関して、検査を行う事で治療の選択肢が増える可能性があります。

他の医療機関からのご紹介の場合は、これまでの治療歴やご本人の体調等から検査の適応となるかどうかを検討するため、まずはセカンドオピニオンとしてがんゲノム相談外来を受診していただきます。最終的に検査を実施するかは、セカンドオピニオンの見解を元に、患者様と主治医の先生に決定して頂きます。

当科へのご紹介方法につきましては、専用ホームページにてご確認ください。

<http://www.tmd.ac.jp/med/canc/genome/>

【専用ホームページ】



遺伝子に関する疾患に対して専門スタッフ（臨床遺伝専門医・認定遺伝カウンセラー）による遺伝診療・遺伝カウンセリングを行い、患者さんおひとりおひとりのご相談に応じます。またご家系内に遺伝性疾患がいらっしゃる方の遺伝学的検査を行います。遺伝のことがご心配な型の遺伝相談も行っております。疾患によっては遺伝学的検査による診断も行い、その後のフォローアップにつなげます。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後	○	○		○	○

お問い合わせください

得意とする疾患

・出生前診断 (NIPT、クアトロ検査、羊水検査)

※当院はNIPTの日本医学会認証施設（基幹施設）です。

・遺伝性腫瘍

- ・遺伝性乳癌卵巣癌
- ・多発性内分泌腫瘍症1型 (MEN1)、2型 (MEN2)

※上記疾患の他に、リンチ症候群、家族性腺腫性ポリポーシスを含む多遺伝子パネル検査（自費）も実施しています。
※がんゲノムで認めた二次的所見の生殖細胞系列DNA確認

・遺伝性心疾患

- ・先天性QT延長症候群
- ・肥大型心筋症

※上記以外の心筋症や遺伝性不整脈疾患については150以上の遺伝子を含むパネル検査（自費）を実施しています。

・家族性高コレステロール血症

・マルファン症候群、エーラス・ダンロス症候群、家族性大動脈瘤

・遺伝性難聴

特色・診療内容

さまざまな遺伝性疾患に対して疾患や遺伝子検査の情報提供だけでなく、遺伝情報に関する特徴、心理的サポート、ご家族や社会生活への影響などについて丁寧に説明いたします。同時に、患者さんやご家族の意思決定をお手伝いいたします。

お願い

患者さんのご紹介をお考えの場合、事前にご連絡ください。

03-3813-6111 (代) より遺伝子診療科をお呼び出してください。

ご紹介内容や疾患によっては事前に対応方法や遺伝子検査について当診療科内で確認および検討させていただく場合がございます。

がん診療における確かな情報を提供し、エビデンスに基づく最新の治療を実践します。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前					
午後	○ (隔週)				○ (隔週)

得意とする疾患と担当医師

次の疾患に対する薬物療法

- **浜本 康夫** (主任教授、診療科長、日本臨床腫瘍学会 **がん薬物療法専門医・指導医**)
食道がん、胃がん、大腸がん(結腸がん、直腸がん)、胆道がん、膵がん、希少がん(原発不明がん、GIST、軟部肉腫など)
- **末永 光邦** (准教授、日本臨床腫瘍学会 **がん薬物療法専門医・指導医**)
胃がん、大腸がん(結腸がん、直腸がん、肛門管がん)
- **加納 嘉人** (講師、日本臨床腫瘍学会 **がん薬物療法専門医・指導医**)
頭頸部がん(口腔がん、唾液腺がん)、希少がん(原発不明がん、軟部肉腫など)

特色・診療内容

臨床腫瘍科は4大がん治療のうち、薬物療法(化学療法)と免疫療法(免疫チェックポイント阻害剤)を担当します。がんの診断の時期、進行病期(ステージ)、進行状態などは患者さんごとに異なるため、外科手術や放射線治療の適応があれば、これらを組み合わせた集学的治療を提案するのも当科の役割です。そのため、患者さんごとに他科と連携して適切な治療方針を提供しています。薬物療法に関しては日本臨床腫瘍学会の**がん薬物療法専門医(腫瘍内科医)**を中心に治療方針決定から臨床実地まで行い、専門性の高い医療を提供しています。臨床腫瘍科は**がんゲノム診療科**と緩和ケア科と連携しています。がんの標準療法が効かなくなった場合でも患者さんの状態が安定していれば、**がんゲノム診療科**で遺伝子パネル検査を行い、新薬・治験などの治療選択肢がないか模索する体制が整っています。一方、がんに伴う症状の緩和については緩和ケア科と医療連携支援センターのサポートのもと患者さん・ご家族のQOLを高められるように心がけています。

お願い

事前に紹介患者さんの診療情報の提供にご協力ください。

1. 全身状態不良または重度の臓器機能障害がある場合は薬物療法の適応がないため、治療適応を事前に判断することで不要な通院による身体的・経済的負担を避けることにつながります。
2. 診療を行う際は、がん種によって担当する医師を決定します。

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

感染症診療を通じて診療の質の向上を目指します。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○		○		○
午後					

得意とする疾患と担当医師

- 院内各科からのコンサルテーションを受け、さまざまな感染症の診断・治療・予防などについて診療を行っています。
- HIV感染症など継続的なフォローアップを要する感染症の診療を行っています。
- 持病がある患者さんのワクチン接種について、推奨度を含めたご案内と接種を行っています。(ワクチン外来)

特色・診療内容

- 感染症内科は2021年10月に開設されました。入院患者さんの感染症の診断・治療・予防を中心に、院内各科からご相談をいただき、併診という形で診療を行っています。
- 2022年4月には外来も開始し、院内各科からの外来コンサルテーション、入院患者さんの退院後のフォローアップに加え、HIV感染症など慢性感染症の診療も行っております。また、診断がつかない発熱、渡航後感染症が疑われる方、抗菌薬治療でも改善しない感染症疑いの方などのご紹介をお受けしております。
- 2024年1月からは成人の患者さん(特に背景疾患のため複数のワクチンが適応となる方)を対象としたワクチン外来を開始しました。
- 診療に加えて、感染制御部と連携して抗菌薬適正使用を推進する活動にも力を入れています。なお、現時点では主科として入院診療を行っておらず、感染症内科での転院依頼は受け付けておりません。

お願い

- 当院では活動性結核(結核菌を排菌している結核症)の診療は行っておりません。
- 外来診療は交代制で対応しています。医師指定がある場合でも、他の医師が対応する可能性があります。

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

どんな病状の食道癌にも対応します！



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後			○		



得意とする疾患と担当医師

●**胸部食道癌**：ロボット支援手術を含む胸腔鏡食道切除・縦隔鏡食道切除・救済手術

藤原 尚志（講師）、小郷 泰一（助教）、滋野 高史（助教）

●**頸部食道癌**：喉頭温存手術

藤原 尚志（講師）、小郷 泰一（助教）、滋野 高史（助教）

●**食道胃接合部癌、パレット食道癌**

徳永 正則（准教授）、藤原 尚志（講師）、小郷 泰一（助教）、滋野 高史（助教）

●**食道表在癌**：内視鏡的粘膜下層剥離術

川田 研郎（光学医療診療部）

●**頭頸部表在癌**：内視鏡的咽喉頭手術

川田 研郎（光学医療診療部）、藤原 尚志（講師）、小郷 泰一（助教）、滋野 高史（助教）



特色・診療内容

食道癌は早期発見が何より大事で、当院では頭頸部外科、耳鼻咽喉科、口腔外科、消化器内科と連携して濃厚な飲酒・喫煙歴のあるハイリスク患者さんに上部消化管内視鏡による口腔・咽喉頭・食道胃の重点的スクリーニングを行っています。早期発見できた頭頸部表在癌、食道表在癌に対しては低侵襲な内視鏡治療を積極的に行っています。

また進行食道癌には手術、放射線治療、薬物療法を用いた集学的治療により根治を目指します。最近増加傾向のパレット食道癌、食道胃接合部癌は、領域の重なる胃外科と協同して治療にあたります。

経験豊富な食道外科専門医による傷が小さく精度の高い低侵襲手術、危険性の高い放射線治療後の救済手術、難易度の高い頸部食道癌に対する声を失わない手術の試みを積極的に行っています。あらゆる食道癌手術後の患者さんに対して逆流防止の処置を講じた手術を行っているのも特徴のひとつです。



専門外来

●**経鼻内視鏡による重点スクリーニング外来**（木曜 午前：川田 研郎）

食道癌になった方、のどの癌を早く見つけてほしい方へ経鼻内視鏡検査を行います。

●**頸部食道癌に対する機能温存手術**（金曜 午前：藤原 尚志）

可能な限り喉頭摘出を避けた手術で根治と機能温存の両立を目指します。

●**食道胃接合部癌に対する機能再建手術**（水曜 午前：小郷 泰一）

食道癌・胃癌双方に精通した医師が診察を担当いたします。



お願い

食事が通らない方は可及的速やかに診察して、入院対応も含めて迅速に対処します。

初診事前予約 **03-5803-4655** へご連絡ください。

【外来】初診事前予約受付（地域連携室）

TEL 03-5803-4655（平日8:30～17:00）

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼（入院支援室）

TEL 03-5803-4506（平日8:30～17:00）

※詳細はP.7をご覧ください。

内視鏡治療適応の早期胃癌から切除不能進行胃癌まで進行度にあわせて適切な治療を行います。腹壁ヘルニア（鼠径部ヘルニア、腹壁癒痕ヘルニア、会陰ヘルニアなど）の手術にも力をいれております。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後			○		



得意とする疾患と担当医師

●**胃癌に対するロボット支援手術**（ダビンチ、hinotori、Saroa）

徳永 正則（准教授）、谷岡 利朗（講師）、奥野 圭祐（助教）

●**胃癌に対する腹腔鏡手術／内視鏡外科学会技術認定医（胃）を3名が取得済み**

徳永 正則（准教授）、谷岡 利朗（講師）、奥野 圭祐（助教）

●**食道胃接合部癌に対する集学的治療／食道外科と連携して適切な治療を提供します**

徳永 正則（准教授）、谷岡 利朗（講師）、奥野 圭祐（助教）、藤原 尚志（助教）、小郷 泰一（助教）、滋野 高史（助教）



特色・診療内容

2000年代に胃癌に対して腹腔鏡手術を導入し、積極的に低侵襲手術を行ってきました。近年はロボット支援手術に力を入れています。当院では2017年11月よりダビンチXiを用いていますが、2020年7月より2台目のダビンチX、2023年10月からは3台目のダビンチXiを導入し、さらにロボット手術に力をいれて診療を行っています。低侵襲手術を希望される、あるいは興味のある患者さんがいらっしゃいましたら、いつでもご相談ください。

最近増加傾向の食道胃接合部癌は、領域の重なる食道外科と統一方針で治療にあたっています。紹介先に迷われた際には、当科にご紹介いただいても、食道外科にご紹介いただいても、治療方針・治療内容が異なることはありませんので、ご安心ください。

また、鼠径部ヘルニア、腹壁癒痕ヘルニア、膀胱ヘルニア、会陰ヘルニアなどの腹壁ヘルニアの治療にも力をいれております。腹腔鏡や手術支援ロボットによる低侵襲手術も積極的に行っておりますので、お困りの患者さんがいらっしゃいましたらご相談下さい。



専門外来

胃癌の治療は、内視鏡治療、手術、化学療法と多岐にわたります。消化器内科と臨床腫瘍科と密に連携をとりつつ診療にあたっておりますので、紹介先の診療科に迷われるようであれば、まずは胃外科宛にご紹介ください。

初診時に切除不能と診断された場合も、化学療法が著効し根治切除可能となれば積極的に切除を検討しています。免疫チェックポイント阻害剤を含む化学療法の進歩により、根治切除可能となる可能性は増加傾向にあります。切除不能との判断であっても、諦めずにご紹介ください。

腹壁ヘルニアは一般的な病院でも敬遠されがちな疾患です。治療を受けられずにヘルニアが大きくなっていく患者さんも多く見られます。困っておられる患者さんがおられましたら、気軽に専門外来に御紹介ください。



お願い

大学病院の良さとして、複数の診療科、多職種を有しており、様々な併存症を伴う患者さんにも対応可能です。併存症が多い患者さんであっても、遠慮なくご相談ください。

【外来】初診事前予約受付（地域連携室）

TEL 03-5803-4655（平日8:30～17:00）

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼（入院支援室）

TEL 03-5803-4506（平日8:30～17:00）

※詳細はP.7をご覧ください。

24時間365日、患者さんに最適な治療を提供します！



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後		○		○	



得意とする疾患と担当医師

※以下件数は2023年4月～2024年3月実績

●大腸癌手術(約190例)

ほぼ全例でロボット支援手術を行います：直腸癌、結腸癌ともに術後一週間で退院可能です。

骨盤内臓全摘術(5例)、局所再発などに対する手術も行います。

●炎症性腸疾患に対する手術(約31件)

90%が低侵襲手術です。

潰瘍性大腸炎に対する経肛門内視鏡併用腹腔鏡手術などの腹腔鏡手術を行います。

●その他

虫垂炎、憩室炎、腸閉塞など消化管一般疾患に対する手術を行います。

担当医師/上記共通：下記いずれの医師もベストな対応をいたします。

網笠 祐介(教授)、賀川 弘康(准教授)、山内 慎一(講師)、花岡 まりえ(講師(キャリアアップ))、高岡 亜弓(助教)、山本 雄大(助教)



特色・診療内容

大腸癌を中心に、炎症性腸疾患や大腸ポリープなどの大腸・肛門疾患の外科治療を行っています(2023年4月～2024年3月手術総件数：386件)。2022年4月からは結腸癌に対するロボット手術が保険収載され、結腸癌、直腸癌ともにほとんどのすべての大腸癌に対してロボット手術を行っております。大腸癌に対するロボット手術は、国内屈指の実績を持つ指導医を中心に行い、痛みが軽く、回復が早いのが特徴です。進行した大腸癌に対しても、臨牀腫瘍科や放射線治療科と協力し、専門のスタッフが癌の進行度やそれぞれの患者さんの症状に応じて、手術、化学療法(抗がん剤治療)、放射線治療を組み合わせた先進的な治療を行っています。

大腸癌を中心に先進医療を希望する患者さん、緊急手術・処置が必要な患者さん、他院で切除不能を判断された患者さんなど、患者さんに寄り添いかつ根治治療の可能性を最後まで追求します。多くの患者さんのご紹介をお願いします。



お願い

医師指定の場合は、紹介状の宛先に医師名をご記載ください。

またご質問・お急ぎの用件等がございましたら、お気軽に下記連絡先までお問い合わせください。

医局 TEL 03-5803-5254

医局 E-mail ikashikadaicho@gmail.com

その他、当科の情報などは下記をご参照いただけますと幸いです。

「科大、大腸」と検索&クリック <http://www.tmdsurgery.com/>

フェイスブック <https://www.facebook.com/tmdu.colorectal.surgery/>

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30～17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30～17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

一言で「乳癌」と言っても同じ治療を受ける方はおらず、乳癌の治療は多様化しています。それを見極めた上で、再発のリスクを限りなく低下させます！



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○			○
午後			○		



得意とする疾患と担当医師

●乳癌に対する乳房1次再建手術

有賀 智之(乳腺外科)、石場 俊之(乳腺外科)、熊木 裕一(乳腺外科)、足立 未央(乳腺外科)、林 久美子(乳腺外科)、森 弘樹(形成・美容外科)、植村 法子(形成・美容外科)

●遺伝性乳癌卵巣癌の遺伝子変異を伴う方を対象とした、乳癌未発症の方への予防的乳房切除

有賀 智之(乳腺外科)、石場 俊之(乳腺外科)、熊木 裕一(乳腺外科)、足立 未央(乳腺外科)、林 久美子(乳腺外科)、森 弘樹(形成・美容外科)、植村 法子(形成・美容外科)



特色・診療内容

乳房1次再建手術は20年以上前より手掛けており、症例数の多さだけでなく、その長期的な経過も把握しています。



専門外来

HBOC外来：HBOCとは遺伝性乳癌卵巣癌症候群の略称であり、乳癌患者の5-10%を占めるとされています。

ご家族に乳癌、卵巣癌が多い方は、遺伝による可能性もありますので、一度HBOC外来でご相談することをお勧めします。

対象者は、主に下記の①～③に該当する方です。

①遺伝学的検査でBRCA1、BRCA2に変異のあった方の乳房スクリーニング

②上記に変異がなくても、明らかに家族歴が濃厚な方の乳房スクリーニング

③予防的乳房切除を予定している方、予防的乳房切除後の乳房スクリーニング



お願い

乳癌をはじめとする乳腺腫瘍の診断治療は乳腺外科へご紹介下さい。

乳房1次再建手術をご希望の場合はまず乳腺外科へご紹介下さい。

2次再建手術(乳房切除後に、後日乳房再建行う)をご希望の場合は、形成・美容外科へご紹介下さい。

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30～17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30～17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

小児の外科的疾患全般に対し、責任を持って診断・治療を行います。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○		○		○
午後				○	

得意とする疾患と担当医師

中学生以下の患者さんが対象です。
小児外科疾患全般に対応しますが、特に下記疾患についてはぜひご紹介ください。

- 鼠径ヘルニア(陰嚢水腫)、停留精巣、臍ヘルニア、体表の摘出術
⇒日帰り手術を行っています。
- 腹腔鏡手術：鼠径ヘルニア(陰嚢水腫)、脾臓摘出術、胃食道逆流症、虫垂切除術、卵巣嚢腫、メッケル憩室等に適応しています。
- 新生児手術：食道閉鎖症、鎖肛、腸回転異常症、腹壁破裂など
新生児外科疾患全般に対応致します。
- 小児固形がん：肝芽腫、神経芽腫、腎芽腫など
- 各種中心静脈カテーテル挿入：疾患に応じて、皮下埋め込み型、CVポート、末梢挿入型(PICC)の挿入を行っています。/年間60-70例
- 消化管内視鏡検査：上部・下部消化管内視鏡検査を新生児から行っています。
- 臍ヘルニア、乳児痔瘻(肛門周囲膿瘍)
- 便秘⇒漢方も含め総合的に治療しています。

担当医師/上記共通：下記いずれの医師もベストな対応をいたします。
岡本 健太郎(診療科長)、水野 裕貴、伊藤 佳史、印南 優衣

特色・診療内容

主な診断方法は、超音波検査、上部・下部消化管造影検査、24時間pHモニター(インピーダンス検査含む)、CT、MRI、血管可視化装置などです。
小児科と協力しながら上下部の消化管内視鏡検査を鎮静下・全身麻酔下にて行います。
臍部からの腹腔鏡下虫垂切除術など可能なケースは、手術痕を最小限に留めるよう最善の治療を提供します。

お願い

お問い合わせはメールでも承ります。ご不明な点がございましたらお気軽にご連絡ください。
(メール送り先 診療科長 岡本 健太郎：okasrg2@tmd.ac.jp)

温故知新：国内でも有数かつ歴史のある血管外科ですが、現状に甘んずることなく、最新の治療法も積極的に取り組みます！



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○		○		○
午後					

得意とする疾患と担当医師

- 胸部・腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術
(上腸間膜動脈や腎動脈などの内臓動脈をカテーテル治療で同時治療します)
治療実績：これまでに全400例中、初期成功率98%

- 末梢動脈疾患(下肢閉塞性動脈硬化症)に対する低侵襲治療、ハイブリッド治療
治療実績：年間約150例程度の末梢動脈疾患に対するカテーテル治療を施行内1-2割は外科的血管再建術(バイパス手術、内臓摘除術)とカテーテル治療を組み合わせたハイブリッド治療

- 足部の潰瘍・壊疽を伴う重症虚血(包括的慢性高度下肢虚血)に対する救肢を目的とした集学的治療
治療実績：広範な足部の潰瘍、壊疽も外科的血管再建術(バイパス術)、カテーテル治療や他科と共同での遊離筋皮弁術や植皮術で救肢、肢温存を目指します。遊離筋皮部術は10例、植皮術も40例近くの症例実績があります。

担当医師/上記共通：下記いずれの医師もベストな対応をいたします。
工藤 敏文(診療科長・教授)、山本 洋平(助教)、市野瀬 剛(医員)

特色・診療内容

バスキュララボ(血管検査室)が併設されており、外来受診時に検査および診察が可能です。
症例の重症度に応じて積極的に緊急手術にも対応しています。

お願い

胸部・腹部大動脈瘤はステントグラフト内挿術および開腹手術を含めた最適な治療を行える血管外科(末梢血管外科)へご紹介をお願いします。
また足の虚血(跛行や潰瘍、壊疽)を伴う症例に対しても外科的、経カテーテル的アプローチ、さらには他診療科との共同で救肢を致しますのでご紹介をお願いします。

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

困難な疾患であっても患者さんに寄り添って親身に治療方法を検討します。



専用
ホームページ
QRコード



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	○	○



得意とする疾患と担当医師

- 原発性肝癌、転移性肝癌／開腹手術、腹腔鏡手術、ロボット手術、TACE、化学療法
- 膵臓癌、膵嚢胞性疾患(IPMNなど)／開腹手術、腹腔鏡手術、ロボット手術、化学療法、放射線療法、緩和療法
- 膵神経内分泌腫瘍(P-NET)、神経内分泌腫瘍遠隔転移／開腹手術、腹腔鏡手術、ロボット手術、化学療法、肝動脈化学塞栓療法(TACE)、ペプチド受容体放射性核種療法(PRRT)、緩和療法
- 胆道癌、胆嚢癌、肝門部領域胆管癌／手術、化学療法、緩和療法
- 肝胆膵領域の良性疾患／診断、手術、適切な経過観察等

担当医師 / 上記共通：下記いずれの医師も最善をつくします。
伴 大輔(教授)、赤星 啓一(講師)、勝田 絵里子(講師)、上田 浩樹(助教)、石川 喜也(助教)、渡邊 秀一(助教)、浅野 大輔(助教)



特色・診療内容

肝胆膵領域の手術のハイボリュームセンターです。特に腹腔鏡・ロボット手術分野が強みであり、他施設から多くの見学者が訪れたり、腹腔鏡手術に関する国際学会を主催したりしております。肝癌では集学的肝癌治療の推進に取り組み、腫瘍学的切除可能性分類の提唱を主導して、薬物療法と手術やTACEを効果的に組み合わせた肝癌治療を行っています。膵臓癌は切除可能症例に対する手術から進行癌に対する集学的治療まで対応しています。膵癌は進行が早い疾患であり、手術までの待機期間が問題になります。当科では膵癌専門外来を設立し、術前に必要となる検査を迅速かつ短期間で行う取り組みをしております。また、以前より術前化学療法に注力しており、術前治療を含め、患者さんに適した治療を行っています。膵嚢胞性疾患(IPMNなど)は計600名以上の患者さんを診察しており、他院で治療方法が判断困難と言われた症例にも対応しています。消化器内科、がんゲノム診療科、臨床腫瘍科、放射線科、緩和ケアなど他科との連携を高めており、肝胆膵疾患全ての窓口となって対応することができます。



専門外来

- 神経内分泌腫瘍専門外来
国内では数少ない専門外来を有しており、他院で治療困難と言われた方でも対応しております。
- 膵癌専門外来
膵がん治療 Speed Up Project を掲げて膵がんの疑いのある方の検査・治療を可能な限り迅速に行えるように体制を構築しています。

患者さんの状態に合わせ、低侵襲で長期遠隔成績に優れた手術を提供します。ロボット手術を受けたい患者さんや手術は難しいと言われた重症例にも対応します。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	○	○



得意とする疾患と担当医師

- ロボット手術・低侵襲心臓手術(狭心症、弁膜症)
藤田 知之(教授 診療科長)、長岡 英気(准教授)、藤原 立樹(講師)
- 弁膜症に対する弁形成術・TAVI・弁置換術・弁周囲逆流(PVL)に対するカテーテル治療
藤田 知之(教授 診療科長)、長岡 英気(准教授)、藤原 立樹(講師)、大石 清寿(助教)
- 冠動脈バイパス術(オフポンプ冠動脈バイパス術)
藤田 知之(教授 診療科長)、長岡 英気(准教授)、藤原 立樹(講師)、大石 清寿(助教)
- 重症心不全治療(補助人工心臓治療、心筋再生治療)
藤田 知之(教授 診療科長)、藤原 立樹(講師)、長岡 英気(准教授)、大石 清寿(助教)
- 大動脈瘤に対する人工血管置換術、ステントグラフト治療
藤田 知之(教授 診療科長)、藤原 立樹(講師)、大石 清寿(助教)、長岡 英気(准教授)
- メイズ手術を含む不整脈外科治療
藤田 知之(教授 診療科長)、長岡 英気(准教授)、藤原 立樹(講師)、大石 清寿(助教)
- 小児及び成人先天性心疾患に対する手術
川畑 拓也(講師)、鍋島 惇也(助教)



特色・診療内容

新設されたC棟にハイブリッド手術室が完成しました。新たな医療を取り込み、患者さんに優しい医療を目指しています。循環器内科との緊密な連携を取り、ハートチームとして循環器疾患に取り組んでいます。特に心不全に対する人工心臓治療(LVAD)や大動脈弁狭窄症に対するTAVI、狭心症に対するハイブリッド冠血行再建ではハートチームが大切です。ロボット手術は新しい時代の医療です。診療科長はこれまでに500例以上のロボット心臓手術を経験しており、特に僧帽弁形成術では指導医として日本での発展に尽力しています。新しい治療として弁周囲逆流(PVL)に対するカテーテル治療を始めました。



お願い

患者さんそれぞれに合った適切な治療法を患者さんやご家族と一緒に考えます。他院で手術は難しいと言われた患者さん、他の治療法が知りたい患者さんにも対応可能です。いつでも遠慮なくお問い合わせください。

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

先進的な専門外科医療をより多くの患者さんに提供します。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前		○			
午後		○		○	



得意とする疾患と担当医師

- 肺癌(早期) / 鏡視下肺切除術(VATSorRATS) / 7割の肺癌手術を鏡視下施行 / 早期回復早期退院に繋がる
- 局所進行肺癌 / 化学療法放射線療法併用後または化学療法+免疫療法後の肺切除術 / 拡大手術・合併切除術にて完全切除を遂行し良好な遠隔成績を提供
- 転移性肺腫瘍 / 低侵襲肺切除で早期退院
- 縦隔腫瘍 / 良性・低悪性腫瘍には鏡視下手術(VATSorRATS)をおこない 周囲進展腫瘍に拡大合併切除で完全切除をめざす
- 悪性胸膜中皮腫 / 壁側・臓側胸膜全切除術を含む集学的治療 / 遠隔成績の向上
- 気胸・巨大肺嚢胞など気腫性疾患 / 鏡視下手術(VATS)で早期退院
- 急性膿胸・慢性膿胸 / 鏡視下胸腔内洗浄搔爬や開窓術および感染制御後の閉創術 / 良好な治癒率

担当医師 / 上記共通 : 下記いずれの医師もベストな対応をいたします。
大久保 憲一(教授)、石橋 洋則(准教授)、分島 良(助教)、浅川 文香(助教)、石川 祐也(助教)、杉田 祐介(助教)



特色・診療内容

呼吸器疾患に対する先進的な専門外科診療を提供します。良性疾患(気胸や感染性肺疾患・縦隔腫瘍)に対して、低侵襲アプローチで外科治療を提供します。早期肺癌に対して鏡視下(ロボット支援または胸腔鏡下)アプローチで、病期・腫瘍サイズに応じた肺切除術を行います。肺門部に進展する肺癌に対して、術前治療と気管支・血管形成手技を組み合わせる肺機能温存手術を行います。局所進行悪性腫瘍(肺癌・悪性縦隔/胸壁腫瘍・胸膜中皮腫)に対して周術期治療と拡大手術・再建手術を組み合わせ、完全切除および長期生存を企図します。



お願い

専門外来の受診を希望される場合は、まずは呼吸器外科新患外来にご紹介ください。その際、診療情報提供書と併せて画像をご提供くださいますようお願いいたします。

再建外科、脳神経外科、食道外科、放射線科など多くの診療科と協力しながら、高度の専門性と豊富な経験を生かした質の高い手術を提供します。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前		○		○	○
午後					



得意とする疾患と担当医師

- 頭頸部の進行癌・再発癌 / 機能温存手術 / 大学病院で最多の患者数
朝蔭 孝宏、有泉 陽介、大野 十央、田崎 彰久
- 中下咽頭表在癌 / 内視鏡下手術 / 国内で1、2を争う症例数
大野 十央、田崎 彰久、岡田 隆平、河邊 浩明、立石 優美子、大野 貴史
- 進行鼻副鼻腔癌 / 広範囲頭蓋底手術 / 国内屈指の症例数
朝蔭 孝宏
- 鼻腔癌、嗅神経芽細胞腫 / 内視鏡下手術
有泉 陽介、大野 十央
- 甲状腺内視鏡手術
大野 十央
- 頭頸部アルミノックス治療(光免疫療法)
岡田 隆平



特色・診療内容

早期から進行期まであらゆる頭頸部癌患者さんの治療が可能です。特に頭蓋底手術と表在癌内視鏡手術は日本で治療が開始された当初から取り組んでおり、多くの経験を有しています。近年は嗅神経芽細胞腫や早期の鼻副鼻腔癌に対しては経鼻内視鏡手術も手掛けています。また多くの手術では、経験豊富な形成外科・脳神経外科・食道外科とのチーム医療を行なっています。がんを治すのみならず、患者さんの生活の質を高めることを目指しています。



お願い

ご紹介頂く患者さんにスムーズな診療を受けていただくために、地域連携室を介した外来のご予約をお願いします。紹介状、画像、生検をされている場合はプレパラートをご用意いただきますようお願いいたします。

医師指定がある場合は医師名を紹介状に記載いただくとスムーズです。
参考：みみ・はな・くち・のどがんセンター(P.24)もご覧ください。

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

泌尿器科

世界の先端的医療を積極的に導入し、「患者さん・社会に役立つ新規医療を開発し、世界に発信」を目標とし、新規の泌尿器科医療を実践します！



外来担当表
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	○	○



得意とする疾患と担当医師

前立腺がん

- がんの診断と状態をより正確に評価可能とするMRI-超音波弾性融合生検：生検を行う際にMRIでがんの疑われる部位を、超音波画像上に重ね合わせて表示させ穿刺ガイドを行う最新の技術です。
- 低侵襲手術：ロボット支援腹腔鏡下（ダビンチ）前立腺全摘除、ミニマム創内視鏡下前立腺全摘除 2つの低侵襲手術から患者さんに適した手術法を選択しています。
- 小線源部分治療：がん治療と機能（排尿、性機能）温存の両立を目指した新しい機能温存治療法MRIと生検情報をもとに治療が必要な部分を精緻に評価し、選択的な小線源治療を行います。
- 尿失禁に対する人工尿道括約筋手術（早稲田 悠馬）

膀胱がん・腎盂尿管がん

- 筋層浸潤性膀胱がんを排尿機能、性機能、腎機能を良好に保ち治療する、四者併用膀胱温存療法（経尿道的膀胱腫瘍切除 + 放射線治療 + 化学療法 + ミニマム創内視鏡下膀胱部分切除）根治と機能的膀胱温存を両立させる集学的治療として、1990年代末より、開発・実践しています。
- 筋層浸潤性膀胱がんに対するロボット支援腹腔鏡下（ダビンチ）根治的膀胱全摘除
- 腎盂尿管がんに対するロボット支援腹腔鏡下（ダビンチ）腎尿管全摘除

腎がん

- 低侵襲手術：ロボット支援腹腔鏡下（ダビンチ）腎部分切除、ミニマム創内視鏡下腎部分切除 2つの低侵襲手術から患者さんに適した手術法を選択しています。
- より進行した腎がんに対するロボット支援腹腔鏡下（ダビンチ）根治的腎摘除

副腎腫瘍

- 低侵襲手術：ロボット支援腹腔鏡下（ダビンチ）副腎摘除、ミニマム創内視鏡下副腎摘除 2つの低侵襲手術から患者さんに適した手術法を選択しています。また、泌尿器科、糖尿病・内分泌・代謝内科、放射線科、病理部で構成される副腎腫瘍治療ユニットとして、診療科の垣根を越えた総合的な診断・治療を行っています。

女性泌尿器科

- 膀胱子宮脱に対するロボット支援腹腔鏡下（ダビンチ）仙骨固定術（早稲田 悠馬）
- 女性腹圧性尿失禁に対する中部尿道スリング手術（TVT手術・TOT手術）（早稲田 悠馬）

尿路結石

- 経尿道的尿路結石砕石術（TUL）（早稲田 悠馬、小林 正貴）

前立腺肥大症

- 経尿道的前立腺吊上げ術（ウロリフト）、ツリウムレーザー前立腺蒸散術、経尿道的前立腺核出術 新規治療を取り入れ、複数の低侵襲な術式から最適な治療法を選択しています。

担当医師/ 上記共通：医師指定がない治療は下記いずれの医師もベストな対応をいたします。
藤井 靖久、吉田 宗一郎、田中 一、早稲田 悠馬、福田 翔平、福島 啓司、石川 雄大、小林 正貴、松本 峻弥



特色・診療内容

全ての泌尿器がんおよび副腎腫瘍を対象として、世界標準の低侵襲手術であるロボット支援手術、または当科で開発したミニマム創内視鏡下手術を施行しています。筋層浸潤性膀胱がんは膀胱温存療法、腎がんは無阻血・無縫合腎部分切除、前立腺がんに対する前立腺小線源部分治療を開発し実践しています。



専門外来

「泌尿器がん臓器温存外来」では、根治的治療後も、「膀胱がんで膀胱を残したい」「腎臓がんで腎臓の機能を良好に保ちたい」「前立腺がんで排尿機能や性機能を残したい」という患者さんを対象としています。

「尿失禁・膀胱子宮脱専門外来」では、男性重症尿失禁に対する人工尿道括約筋植込術や、膀胱子宮脱（骨盤臓器脱）に対するロボット支援手術、難治性過活動膀胱または神経因性膀胱による切迫性尿失禁に対するボツリヌストキシン膀胱壁内注入療法を提供できます。女性腹圧性尿失禁に対する中部尿道スリング手術や膀胱子宮脱（骨盤臓器脱）に対する腔閉鎖術などのメッシュを使わない手術や経腔メッシュ手術も実施しています。

【外来】初診事前予約受付（地域連携室）

TEL 03-5803-4655（平日8:30～17:00）

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼（入院支援室）

TEL 03-5803-4506（平日8:30～17:00）

※詳細はP.7をご覧ください。

各臓器に対する専門家を配置し、
正確で臨床に役立つ病理診断を心掛けています。



得意とする疾患と担当科医

- 消化管癌の病理診断：大橋 健一（教授）、加藤 祐己（助教）、山本 くらら（助教）
- 腎生検診断：大橋 健一（教授）、田口 登和子（助教）、國枝 純子（助教）
- 肺疾患、中皮腫の病理診断：桐村 進（助教）、田中 陽典（助教）
- 悪性リンパ腫、血液疾患の病理診断：倉田 盛人（講師）、山本 浩平（講師）、大西 威一郎（助教）、小柳 杏莉（助教）
- 乳腺腫瘍の病理診断：大西 威一郎（助教）
- 脾腫瘍の病理診断：木脇祐子（助教）
- 婦人科腫瘍の病理診断：田口 登和子（助教）、小柳 杏莉（助教）
- 泌尿器腫瘍の病理診断：山本 くらら（助教）
- 骨軟部腫瘍の病理診断：國枝 純子（助教）
- 皮膚の病理診断：三浦 圭子（特任助教）
- 口腔疾患の病理診断：石丸 直澄（教授）、牛尾 綾（講師）、布川 裕規（助教）

特色・診療内容

正確な診断のために、免疫組織化学、遺伝子検査などを積極的に取り入れています。稀少症例などに対しては他院専門家へのコンサルテーションも行っています。ダブルチェック体制を整え診断精度の向上に務めています。

専門外来

専門外来はありませんが、他院で病理診断をレビュー、再評価することは可能です。受け持ちの臨床医にご相談ください。

お願い

本学病院に転院の際、前医において病理検査が既に行われている場合は、病理標本、報告書を借りていただくと、当院での診療に役立つ場合が多いです。また、病理診断の内容を再評価することもできます。

【入院】転院依頼（入院支援室）

TEL 03-5803-4506（平日8:30～17:00）

※詳細はP.7をご覧ください。

失明を撲滅し視覚障害を持つ患者さんを救い社会に貢献します。
一人一人の病態に寄り添い、ベストな治療法を提案します。



外来日（初診）	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後					

得意とする疾患と担当医師

- 強度近視／近視性黄斑分離症、網膜剥離の外科的治療
大野 京子・高橋 洋如・浦本 賢吾・高橋 知成
- 近視進行予防／オルソケラトロジー・レッドライト療法、近視の遺伝子診断
大野 京子・高橋 洋如
- 緑内障／強度近視に伴う緑内障の外科的治療・MIGS
吉田 武史・杉澤 啓吾
- 強度近視への屈折矯正／有水晶体内レンズ
鴨居 功樹・高橋 知成
- ぶどう膜炎／ヒュミラ・レミケード療法、悪性リンパ腫やぶどう膜炎の硝子体手術・難治性白内障手術、眼内液を用いた網羅的PCR検査
鴨居 功樹
- 糖尿病網膜症／重度増殖糖尿病網膜症の硝子体手術、糖尿病黄斑浮腫に対する閾値下凝固術
堀江 真太郎

特色・診療内容

2019年に先端近視センターを設立しました。特に、病的近視に伴う合併症の診断と治療では、国内外の先駆的な役割を果たしています。また、網膜硝子体手術の中でも最も難治な網膜分離・剥離の手術にトップレベルの経験を誇ります。他にも、難治性ぶどう膜炎の治療実績、眼内液を用いた網羅的PCR検査実績も多く、経験豊富です。難治性の緑内障に対しても新しいデバイスを用いた手術の経験が豊富です。また、糖尿病網膜症における重度の高い症例の手術にも対応しております。ぜひご紹介ください。

専門外来

●先端近視センター

病的近視部門、屈折矯正部門、近視進行抑制部門で診療を行っており、近視進行抑制部門では、お子さんの近視進行を抑制するために様々な治療法を先駆的にを行っています。

【外来】初診事前予約受付（地域連携室）

TEL 03-5803-4655（平日8:30～17:00）

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼（入院支援室）

TEL 03-5803-4506（平日8:30～17:00）

※詳細はP.7をご覧ください。

高難度の側頭骨・中頭蓋底手術を多数施行し、豊富な経験を有しています。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後					



得意とする疾患と担当医師

●内視鏡下耳科手術：4K内視鏡を導入

堤 剛、川島 慶之、伊藤 卓、本田 圭司

●人工内耳手術：4K-3D高精細外視鏡を導入

堤 剛、川島 慶之、伊藤 卓

●錐体尖/中頭蓋底手術、めまい手術(内リンパ嚢手術、半規管遮断術)：

術中CTナビゲーションを導入

堤 剛

●外耳道癌(側頭骨亜全摘術、外側側頭骨切除術)：4K-3D高精細外視鏡を導入

堤 剛、川島 慶之



特色・診療内容

術中CTナビゲーションや4K高精査内視鏡を導入し、安全かつ低侵襲の耳科手術を行っています。高度難聴に対する人工内耳、残聴保存型人工内耳、人工中耳、埋込型骨導補聴器(BAHA)などすべての人工聴覚器に対応しています。

中枢性めまいから末梢性めまいまで、手術を含む先端のめまい診療に対応しています。

外耳道癌の手術治療では国内で突出した症例数を持っています。脳神経外科、頭頸部外科、形成・美容外科と連携した頭蓋底手術が可能です。



専門外来

人工聴覚器・中耳炎外来：耳科手術症例の術前評価および術後経過フォローの他、リテンパによる鼓膜穿孔閉鎖術など局所麻酔下の小手術を行っています。

難聴外来：難聴の原因精査の他、難聴者への補聴器適合、人工内耳の適応評価など行っています。

めまい外来：難聴の原因精査の他、難聴者への補聴器適合、人工内耳の適応評価など行っています。

鼻副鼻腔・アレルギー外来：副鼻腔炎やアレルギー疾患の先端の診療を行っています。

音声外来：音声改善手術を主に施行しています。

嚥下外来：手術を含む嚥下障害の診療を行っています。



お願い

専門外来をご希望の場合も、まず初診一般外来にご紹介ください。必要な検査等を行ったうえで専門外来の受診予約を取らせていただきます。紹介頂く患者さんにスムーズな診療を受けていただくために、地域連携室を介した外来のご予約をお願いします。

参考：みみ・はな・くち・のどがんセンター (P.24) もご覧ください。

日本最大級の16名同時に収容可能な治療装置を擁し、気圧と酸素濃度を高める高気圧酸素治療(HBO)の臨床と研究を行っています。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前					
午後					

お問い合わせください



得意とする疾患と担当医師

●減圧症 空気塞栓 一酸化炭素中毒

●重症軟部組織感染症 コンパートメント症候群 腸閉塞 網膜動脈閉塞症 突発性難聴 末梢循環障害 皮膚移植 脊髄神経疾患 骨髄炎 放射線障害

●スポーツ外傷

担当医師/上記共通：柳下 和慶、小柳津 卓哉、星野 傑、安 宰成
いずれの医師もベストな対応をいたします。



特色・診療内容

日本最大級の治療装置で治療を行っています。悪性腫瘍に対する放射線治療後の晩期障害として知られている膀胱炎や直腸炎、咽頭潰瘍等に高い有効性があります。また靭帯損傷や肉離れなどのスポーツ外傷に対する治療も積極的に施行しており、早期競技復帰を支援します。(スポーツ外傷に対する治療は保険適応がなく自由診療となります。)



専門外来

前述の通り、遅発性放射線障害で、治療に難渋することの多い放射性膀胱炎、直腸炎、咽頭潰瘍等に対する損傷組織の新生やそれに伴う疼痛の軽減に高い効果を示しており、多くの患者さんに満足していただいています。また保険適応はなく自由診療となっておりますが、足関節捻挫やハムストリング肉離れなどスポーツ外傷に対する治療も積極的に行なっており、早期競技復帰を支援しています。



お願い

耳鼻咽喉科(突発性難聴など)、泌尿器科(放射性膀胱炎など)や消化器内科(放射性直腸炎など)、婦人科(放射性障害や女性器周辺の難治性皮膚潰瘍)疾患の場合は当該科を受診の後、後日高気圧治療部での加療となります。まずは当該科宛ての紹介状にてご予約をお願いいたします。

減圧症など、高気圧治療部へ直接ご紹介の際には、紹介状の宛先を「高気圧治療部」とし、地域連携室へ予約の電話をいただくとスムーズです。

高気圧治療中の患者さんが多いため、治療開始までお待たせすることもあります、ご了承のほどお願いいたします。なお、緊急性のある疾患に関しては、その都度対応させていただきますので予約の電話を頂く際にその旨遠慮なくお伝えください。

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

皮膚の微細な変化を精密に検査し、早期診断・早期治療で対応し、成果を上げています。病態に基づいた新規治療法も開発しています。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後					



得意とする疾患と担当医師

●**アトピー性皮膚炎や痒疹、蕁麻疹をはじめとしたアレルギー疾患／診断と治療(生物学的製剤・免疫抑制剤・紫外線療法など)、臨床試験**

沖山 奈緒子(教授)、竹下 八菜(助教)、飯田 忠恒(助教)、他

●**膠原病・血管炎／皮膚症状が診断契機や診療上の問題となる膠原病(強皮症、皮膚筋炎、全身性エリテマトーデス、ベーチェット病、成人スチル病、シェーグレン症候群、抗リン脂質抗体症候群など)や血管炎(好酸球性肉芽腫性血管炎など)を主治医として診断・治療、もしくは内科担当患者の皮膚症状に関するコンサルタントを行うとともに、皮膚病変主体の膠原病(ループス脂肪織炎や円板状ループスエリテマトーデスなどの皮膚エリテマトーデス、モルフェアなどの限局性強皮症)や血管炎(皮膚血管炎、リベド血管症、IgA血管炎など)の診断・治療**

沖山 奈緒子(教授)、飯田 忠恒(助教)、小田 充思(助教)、他

●**乾癬・掌蹠膿疱症／診断と、外用療法、紫外線療法、生物学的製剤、免疫抑制剤などによる治療**

沖山 奈緒子(教授)、飯田 忠恒(助教)、小田 充思(助教)、他

●**自己免疫性水疱症／組織での正確な診断と治療(生物学的製剤・免疫抑制剤、治験など)**

沖山 奈緒子(教授)、飯田 忠恒(助教)、小田 充思(助教)、他

●**皮膚悪性腫瘍／基底細胞癌、有棘細胞癌、血管肉腫、メラノーマなどの皮膚悪性腫瘍の手術、免疫療法**

並木 剛(准教授)、小田 充思(助教)、船積 雅登(助教)、他

●**発汗異常症／特に無汗症の診断・治療**

竹下 八菜(助教)、飯田 忠恒(助教)、藤本 智子(非常勤講師)、稲澤 美奈子(非常勤講師)

●**尋常性白斑／外用剤、液体窒素療法、Narrow-band UVB 照射、エキシマ光線療法による治療**

並木 剛(准教授)、西田 真紀子(非常勤講師)

●**静脈性潰瘍、動脈性潰瘍、血管炎・膠原病類縁疾患による潰瘍、糖尿病性足壊疽および潰瘍の診断・治療**

竹下 八菜(助教)、船積 雅登(助教)、他



特色・診療内容

当科では一般診療と共に先端の治療ができる専門外来を充実させることを最重要課題としています。アレルギー疾患先端治療センターにてトータル・アレルギーケアを皮膚科の立場から提供しております。また、アトピー性皮膚炎や痒疹、乾癬・掌蹠膿疱症、円形脱毛症への全身性治療法導入・維持を積極的に行っています。科長の専門が膠原病・血管炎であり、特に皮膚筋炎や強皮症に関しては基礎・臨床研究を含めて取り組んでおります。また、天疱瘡・類天疱瘡に関しても治療選択肢が広がっており、積極的に入院加療を担っています。

皮膚悪性腫瘍(特にメラノーマ)治療は、手術のみならず免疫療法をはじめとした化学療法に精通し、免疫関連副作用にも対処しています。メラノサイト(色素細胞)関連疾患として白斑にも取り組んでおり、メラノーマと併せて、基礎研究を展開しています。

当科の特色のひとつである発汗異常症では、特に無汗症を中心に、診断からステロイドパルス療法までトータルで取り組み、臨床研究から基礎研究まで行っています。



専門外来

●アレルギー疾患先端治療センター

内科・小児科・皮膚科・耳鼻咽喉科のアレルギー専門医に加え、当院の歯科治療部門アレルギー歯科も含めて横断的に密接に協力して総合的にアトピー性皮膚炎、食物・薬剤アレルギー、金属アレルギー等のアレルギー疾患を治療してまいります。食物・薬剤の即時型アレルギー疑いの場合には、入院管理下での精査を行います。

●膠原病・血管炎

皮膚科の強みを生かした正確な診断に重きを置き、皮膚症状のみの膠原病・血管炎の症例も多く治療しています。内臓病変がある場合には、内科や小児科と密に連携して治療を行っています。臨床研究として保険適応外の検査も可能で、治験にも参加しています。また、自己免疫性疾患として、水疱症(天疱瘡、類天疱瘡)や円形脱毛症の診療も行っています。

●乾癬・掌蹠膿疱症

関節症状を含めて全身を精査し、皮膚への治療(外用や紫外線療法)以外に、積極的に生物学的製剤や免疫抑制剤内服といった全身療法を取り入れています。特に掌蹠膿疱症は歯科的病巣感染巣の関与が深いことが分かっており、当院の歯科治療部門オーラルヘルスセンターと連携して治療に当たっています。関連疾患として、壊疽性膿皮症や化膿性汗腺炎にも生物学的製剤投与も含めて取り組んでいます。

●皮膚悪性腫瘍外来

入院・外来手術を行うとともに、悪性黒色腫に対する免疫チェックポイント阻害剤、血管肉腫に対するタキサン系抗腫瘍剤の投与で成果を上げています。

●発汗異常症専門外来

無汗症については先天性・後天性疾患の鑑別と診断の上、特発性後天性全身性無汗症では入院での発汗テスト及び加療を行います。合併症であるコリン性蕁麻疹についても治療を行っています。

●白斑外来

光線療法を含めた治療選択肢を提示しており、治験にも参加しています。

●下肢潰瘍外来

難治性の下肢潰瘍に対し、皮膚生検や画像検査を他科と連携しながら行い、診断と治療を行っています。静脈性・動脈性潰瘍などの循環障害の他、血管炎、糖尿病性潰瘍、また複数因子による複雑な病態の下肢潰瘍についても包括的に診ていきます。(弾性ストッキング・圧迫療法コンダクター取得医師、看護師在籍)

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

形成・美容外科

先天性、後天性のさまざまな形態異常、機能障害に対し、「創造する外科」で美しく治します。



診療科
ホームページ
二次元コード



得意とする疾患と担当医師

※以下件数は、2022年4月～2024年3月の年間平均

・乳房形成（遊離皮弁術、人工乳房、脂肪注入など） / 100-120 例

森 弘樹（教授）、加藤 小百合（助教）

・顔面・体幹の先天異常（唇顎口蓋裂、耳介変形など） / 各種形成術 / 20-30 例

森 弘樹（教授）、加藤 小百合（助教）

・眼形成外科（眼瞼下垂、眼瞼痙攣、義眼床など） / 各種形成術 / 30-40 例

加藤 小百合（助教）

・顔面骨骨折・顎顔面変形（整復術、骨切り術） / 20-30 例

森 弘樹（教授）

・手足の外科（再接着、多指症、リンパ浮腫など） / 10-20 例

宇佐美 聡（非常勤講師）、森 弘樹（教授）

・皮膚腫瘍 / 各種再建術 / 150-200 例 ※再建形成外科でも扱います

森 弘樹（教授）、金山 幸司（講師）

・難治性潰瘍 / 各種再建術 / 40-50 例 ※再建形成外科でも扱います

森 弘樹（教授）、金山 幸司（講師）

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○(隔週)	○(隔週)	○	○	○(再建)
午後					



特色・診療内容

幅広い年代、部位を対象に、マイクロサージャリーから骨切り、レーザー治療など様々な治療を提供します。マイクロサージャリーについては乳房再建や四肢を中心に外科系関連科、顎顔面については歯科系各科、眼形成については眼科と連携して治療が行われております。第二種再生医療である幹細胞付加脂肪注入術、静脈奇形・嚢胞状リンパ管奇形の対する硬化療法（特定臨床研究）を自費診療で行っております。確かな技術で先進的な治療に取り組んでおりますので、どうぞご紹介ください。



専門外来

乳房再建、唇顎口蓋裂、リンパ浮腫、耳介変形に関して、上記それぞれの担当医師をご希望の場合には、紹介状の宛先に医師名をご記載ください。予約取得がスムーズになります。また、手の外科外来をご希望の場合には、受診できる曜日に指定がございますので、これらをご希望の場合は紹介状の宛先に専門外来名をご記載ください。

※再建形成外科と協力しながら形成外科診療に当たっています。常に合同カンファレンスで情報を共有しながら、適した診療科で対応いたします。外来も同じ場所です。

再建形成外科

マイクロサージャリーを用いる組織移植手術を日常的に行う高い技術を持っています。頭頸部を中心に、失われた身体組織の機能と形態の再建を目指します。治療が困難な症例に対しても、安全で質の高い再建手術を提供することができます。



診療科
ホームページ
二次元コード



得意とする疾患と担当医師

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後					

・頭頸部・頭蓋底腫瘍切除に伴う一次再建手術

・腫瘍切除や外傷などに伴う頭頸部領域の変形に対する二次再建手術

・皮膚軟部悪性腫瘍進行例に対する外科的治療（再建手術やリンパ節郭清術を含む）

・難治性潰瘍治療、特に足壊疽症例に対する患肢救済治療

・静的および動的再建の技術を用いた顔面神経麻痺の集学的治療

担当医師 / 形成外科専門医4名およびレジデントによるチームで診療に当たっています。常にグループディスカッションを行い統一した方針のもとで治療を行います。
田中 顕太郎、石田 直也、村上 響一、上野 麻由



特色・診療内容

当科はマイクロサージャリー（顕微鏡下に細い血管や神経をつなぐ技術）を用いる組織移植手術を日常的に行う高い技術を持っています。頭頸部を中心に、失われた身体組織の機能と形態の再建を目指します。さらにその技術力を生かして、病期の進んだ皮膚軟部悪性腫瘍の外科的治療、皮膚軟部組織だけでなく血管ネットワークも含んだ組織移植による難治性潰瘍治療、静的および動的再建の技術を用いた顔面神経麻痺の治療などにも力を入れています。当院の外科系各診療科との良好な連携のもと、身体各部位の難易度の高い再建手術を必要とする患者様の治療に積極的に取り組んでいます。

また一般的な形成外科疾患に対する治療も行っています。同じ疾患や病態であっても適切な治療は患者様それぞれで異なります。十分にお話を聞きながら、それぞれの方に最適な治療方法を選択していきます。当科にはあらゆる治療法に対応できる技術があります。



専門外来

当科は特に専門外来は設けておりません。

常にグループディスカッションを行い統一した方針のもとで治療を行っておりますので、いつ当科外来を受診していただいても対応いたします。



お願い

形成・美容外科と協力しながら形成外科診療に当たっています。常に合同カンファレンスで情報を共有しながら、患者様に適した診療科で対応いたします。

外来も同じブースで行っておりますので、各種形成外科疾患の患者様をご紹介ください。

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

脊椎脊髄診療において手術療法だけでなく、痛みや機能障害の原因を高い精度で診断、治療いたします。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○		○	○	○
午後					



得意とする疾患と担当医師

- 後縦靭帯骨化症／前方骨化浮上術
吉井 俊貴 (教授)、平井 高志 (准教授)
- 脊髄腫瘍／腫瘍摘出
吉井 俊貴 (教授)、平井 高志 (准教授)
- 腰部脊柱管狭窄症・変性すべり症／後方除圧固定術
松倉 遊 (講師)、江川 聡 (特任講師)、小沼 博明 (助教)
- 成人脊柱変形／変形矯正術
松倉 遊 (講師)、吉井 俊貴 (教授)、平井 高志 (准教授)
- 頸椎症性脊髄症・筋萎縮症／頸椎前方固定術・頸椎後方除圧固定術
吉井 俊貴 (教授)、平井 高志 (准教授)、小沼 博明 (助教)
- 頸椎椎間板ヘルニア・頸椎症性神経根症／人工椎間板置換術
吉井 俊貴 (教授)、平井 高志 (准教授)
- 腰椎椎間板ヘルニア／椎間板内酵素注入療法
平井 高志 (准教授)、松倉 遊 (講師)



特色・診療内容

精度の高い神経学的診断から脊髄誘発磁界測定などを駆使した病態診断を行っています。最新のナビゲーションや、神経モニタリングを用いて、安全に手術を行うことを最優先にしております。特に頸椎後縦靭帯骨化症の重症例に対する前方除圧固定術は全国でも傑出した手術症例数です。また当院では可動椎間を温存する治療として若年者の頸椎疾患に対して頸椎椎間板置換術を積極的に行い、難治性神経障害に対して成果を上げています。思春期特発性側弯症だけではなく、加齢に伴う変形脊椎や骨粗鬆症性椎体骨折による成人脊柱変形にも対応し、良好な成績を得ています。



紹介時のお願い

後縦靭帯骨化症・黄色靭帯骨化症・頸椎椎間板ヘルニアの患者さんをご紹介ください。ご紹介の際には、MRI画像(できればディスク)をお持ちください。当科では頸椎椎間板ヘルニアに対して新しい人工椎間板置換術を多く行っております。手術を受けようか迷っている腰椎椎間板ヘルニアの患者さんも、手術と保存治療の中間治療である「椎間板内酵素注入療法」を受けることができます。

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

膝靭帯・半月板損傷、半月板逸脱や変形性膝関節症、足部・足関節障害、変形性足関節症の患者さんをご紹介します。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○		
午後					



得意とする疾患と担当医師

- 膝前十字靭帯・半月板損傷・変形性膝関節症／鏡視下前十字靭帯再建術・半月板縫合術・膝周囲骨切り術
古賀 英之(教授)、中村 智祐(准教授)、大関 信武(講師)、星野 傑(講師)、雨宮 正樹(助教)、安 宰成(助教)
- 変形性膝関節症／人工膝関節全置換術・再置換術・単顆置換術
中川 裕介(准教授)、中村 智祐(准教授)
- 足部足関節のスポーツ傷害・変形性関節症・外反母趾／鏡視下手術、関節固定術、各種骨切り術
片倉 麻衣(助教)、中村 智祐(准教授)



特色・診療内容

1. 前十字靭帯損傷に対しては半腱様筋腱を用いた解剖学的2重束再建術を行っており、高いスポーツ復帰率と患者満足度を得ています。また症例に応じ骨付き膝蓋腱を用いた再建術を行っています。再断裂例やハイリスク症例に対しては前外側構成体補強術を併用し、再断裂率や不安定性残存率を下げることに成功しています。
2. 半月板損傷は可能な限り修復し機能温存を心がけます。逸脱半月板に対し、「半月板制動術」を開発し対応しています。また下肢アライメント不良を伴う半月板損傷では膝周囲骨切り術を併用し膝関節機能の再建を行います。
3. 通常の片側人工膝関節置換術全置換術・単顆置換術に加えて、適切なリスク評価をした上で、両側同時人工膝関節置換術を行っています。また高度な技術を要する人工膝関節再置換術では適切なインプラントを選択し術後良好な回復を得ています。
4. 足部足関節のスポーツ傷害に対し、保存療法・関節鏡を用いた小侵襲手術などを適宜組み合わせ治療します。特に、バレエをはじめとするダンサーの傷害診療を得意としています。また変形性足関節症に対する固定術、足部変形に対する矯正骨切り術、アキレス腱付着部症に対する手術など各種足部疾患の手術を行います。



お願い

月～水曜日の整形外科・膝足スポーツ班へご紹介ください。靭帯・半月板損傷に対しては診療情報提供書と併せてMRI画像もご提供いただけますとより迅速な診断・治療方針決定が可能となります。

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

股関節痛を主訴にご紹介された患者さんに対して、手術治療だけでなく適切な診断と治療方針を提供いたします。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前				○	
午後				○	



得意とする疾患と担当医師

- 変形性股関節症に対して 人工股関節全置換術 / 寛骨臼骨切り術 / 大腿骨骨切り術 / 関節形成術
- 特発性大腿骨頭壊死症に対して 人工股関節全置換術 / 大腿骨骨切り術

上記共通担当医：高田 亮平（講師）、天野 祐輔（寄付講座助教）



特色・診療内容

変形性股関節症の症状は、腰椎の病気からの症状と見分けがつかなくなったり、股関節の痛みが膝の痛みと感ずることがあったりと診断が難しいこともあります。当班では症状や病態に応じて、脊椎班や膝関節班の医師と協力して、正確な診断に基づいた治療を行っています。

- ・ご高齢の方や内科併存症のある方であっても適切なリスク評価をした上で、手術を行っています。
- ・合併症の少ない、正確で安全な手術を心掛けています。
- ・本学で開発したナビゲーションシステムや術前CTを使用した三次元的手術プランニングなどの手術支援技術を活用しています。
- ・短縮変形の強い方に対しては神経過延長に伴う神経麻痺を予防するため神経モニタリングを施行しています。
- ・両側一期的人工股関節置換術の際には片側手術終了後にレントゲン、採血検査を行い患者さんの状態を把握してから対側の手術を行っています。



お願い

変形性股関節症の患者さんのご紹介をお願いいたします。診断の一助になりますので、最終時の画像だけでなく治療経過のわかる初診時の画像などがございましたらご提供いただければ幸いです。

診療科HPの変形性股関節症パンフレットをご活用ください。



上肢の疼痛・しびれでお困りの方で「年のせいだから仕方ない」などと言われ諦めてしまっている方は、一度ご相談ください。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○		○		○
午後					



得意とする疾患と担当医師

- 腱板断裂に対する関節鏡視下腱板縫合術、反復性肩関節脱臼に対する鏡視下バンカート修復術 / 鳥口突起移行術、人工肩関節置換術、上腕骨外側上顆炎に対する関節鏡視下肘滑膜切除術
二村 昭元（教授）、黒岩 智之（助教）、佐々木 亨（助教）
- 手根管症候群や肘部管症候群等の末梢神経障害、母指CM関節症に対する関節形成術関節リウマチに対する人工指関節置換術
藤田 浩二（教授）、黒岩 智之（助教）、佐々木 亨（助教）



特色・診療内容

- 臨床解剖研究に基づいた解剖学的修復・再建を行っています。
- 末梢神経障害に対しては、手外科専門医の丁寧な診察と精緻な電気生理学的検査により適切な診断を行った上で治療しています。特に手根管症候群は、適切な検査と可能な限り早い手術による早期社会復帰を目標にしておりますので、ぜひご紹介ください。



お願い

手根管症候群、肘部管症候群、腱板断裂、反復性肩関節脱臼、テニス肘、関節リウマチの患者さんのご紹介をお願いいたします。「手根管を大学に紹介してよいの?」と言われてがちですが、軽症であってもしっかりとした検査で予後予測して、保存、手術治療の適応を検討しますので、ぜひご紹介をお願いします。

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

患者さんやそのご家族の希望も最大限尊重しながら、ともにベストな治療方針を決定していきたいと思います。本学の他、本学協力病院である近傍 high volume center (がん研有明病院、埼玉県立がんセンター) などへの紹介も希望や状況によりオプションに入れ、個別に柔軟に対応させていただきます。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前					
午後	○ (隔週)		○		

得意とする疾患と担当医師

- **悪性骨・軟部腫瘍、良性骨・軟部腫瘍**
 - **治療・手術法**：腫瘍摘出、腫瘍搔爬、腫瘍広範切除、自家骨移植、自家処理骨再建(パストール処理)腫瘍用人工関節置換術、ナビゲーション手術
 - **治療実績等**：年間約 60-80 件の四肢駆幹骨軟部腫瘍手術を施行
- 担当医師：船内 雄生、佐藤 信吾

特色・診療内容

骨軟部腫瘍手術に関する豊富な治療経験と調和のとれたチーム医療で、質の高い医療を提供いたします。またご高齢の方や合併症患者さんに対しても複数の専門科と連携し、より安全に治療いたします。疼痛や機能障害を有する良性腫瘍患者さんに対する治療も積極的に行っていますので、良悪性問わず遠慮なくご紹介下さい。

お願い

腫瘍が悪性の場合、不適切な生検や切除がその後の治療の大きな妨げとなることがあり、時には患者さんの生命予後にも影響します。良悪性の診断や治療に迷われた場合は、生検などの侵襲的な検査を実施する前に、早急にご紹介いただければ幸いです。

こどもたちの健やかな成長を目指して、診療を行っています。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前			○		
午後					

得意とする疾患と担当医師

- **股関節疾患**
ベルテス病、先天性股関節脱臼、臼蓋形成不全、股関節脱臼二次検診、大腿骨頭すべり症、単純性股関節炎
 - **足部疾患**
内反足、外反扁平足、尖足、足根骨癒合症
 - **下肢疾患**
O脚、X脚、脚長不等(片側肥大)、ブラウント病、内股歩行
 - **脊椎疾患**
筋性斜頸、環軸椎回旋位固定、側弯症
 - **全身疾患**
血友病性関節症、くる病、骨系統疾患、良性骨腫瘍(多発性骨軟骨腫など)
 - **炎症性疾患**
若年性特発性関節炎、化膿性関節炎、骨髄炎、強直性脊椎炎、慢性無菌性骨髄炎(慢性再発性多発性骨髄炎)など
 - **神経筋疾患**
脳性麻痺、シャルコー・マリー・トゥース病など
 - **上肢疾患**
橈尺骨癒合症、骨折後遺症(内反肘など)、ばね指
- 上記共通担当医：瀬川 裕子、山口 玲子

特色・診療内容

小児に生じた整形外科的疾患全般を診察します。しかしながら小児整形外科疾患は全国的に症例数が少ない疾患も多く、診断、治療に難渋することが少なくありません。そのような場合、当科では、患者さんの了解を得た上で、関東近郊の小児整形外科医が集まるカンファレンスなどで検討を行い、正確な診断にたどりつくこと、適切な治療を行うことに努めております。また、当科単独では治療が難しい症例については、関東近郊の小児施設に治療をお願いしています。とくに担当医師が研修を積んだ千葉県こども病院整形外科とは常に連携体制にあります。院内では、当科の他の診療班や小児科と密に連携し、診療にあたっております。とくに小児科膠原病グループとは多くの患者さんを併診し、診療にあたっています。

お願い

基本的には中学生以下の患者さんが対象ですが、先天性など小児期からの疾患をお持ちの成人の患者さんも診察いたします。ご紹介いただく患者さんにスムーズな診療を受けていただくために、地域連携室を介した外来のご予約をお願いいたします。また、ご紹介時には、診療情報提供書と併せて画像もご提供いただければ幸いです。

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

スポーツ医歯学診療センター

より高く、より早く、そして安全にアスリートの能力を引き出し、安全で迅速な競技復帰をサポートします。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○			
午後					



得意とする疾患と担当医師

- 捻挫や肉離れなどスポーツによる急性外傷
 - 疲労骨折、シンスプリントなどの慢性的なスポーツ障害
 - 再発予防やスポーツ復帰を目的としたリハビリテーション(整形外科と連携した靭帯再建や修復技術も含む)
 - アスリートのメンタルケアについて専門家が対応します
 - カスタムメイド・マウスガード(マウスピース)の相談・治療
 - カスタムメイド・フェイスガード(フェイスマスク)の相談・治療
 - スポーツのためのデンタルチェック(定期検診)
 - 選手の事情に配慮しながらの一般歯科診療
 - スポーツ選手特有の歯科疾患への対応(歯のすり減り、顎関節症など)
 - スポーツ事故による歯の破折・脱臼、顎の骨折への対応
- 担当医/上記共通: いずれの医師もベストな対応をいたします。
柳下 和慶(スポーツ医科)、星野 傑(スポーツ医科)、安 宰成(スポーツ医科)
高木 俊輔(アスリートメンタル外来)、丸尾 享司(アスリートメンタル外来)
中禮 宏(スポーツ歯科)、林 海里(スポーツ歯科)



特色・診療内容

スポーツ復帰を目指す方であれば、レベルを問わず診療を行い、早期かつ高いレベルへの競技復帰を目的とした診療・リハビリテーションを行います。

歯科に関しては、競技に支障が出ないよう配慮しながら治療を行っていきます。継続した来院が難しい患者さんに対しては、スケジュールに合わせた治療計画の立案や、遠征先などでのスポーツに精通した医院の紹介なども可能です。またチーム単位での検診や大会サポートなども行っておりますので、ご相談ください。



専門外来

スポーツ医歯学診療センターでは、保存的な加療はもちろんですが、手術加療を要する症例では、整形外科の各診療班(膝足スポーツ/脊椎/上肢/股関節/小児/外傷グループ)などと連携して手術加療から術後リハビリテーションまで一貫した治療を行っています。またスポーツ歯科外来ではトップクラスのスポーツ選手から広く愛好家レベルの方まで、口・歯・顎の健康の維持・管理・回復・増進を図っています。治療方針に悩んだり、術後外来での加療まで一貫した治療を望まれる症例、歯のトータルケアを望まれる症例は、当センターまでご紹介ください。

アスリートのメンタルケアに関して、精神医学的な専門外来を行っています。学生アスリートからプロレベルまで広く対応します。メンタル、精神的症状や睡眠でお悩みのアスリートの方はご相談ください。



お願い

スポーツ医歯学診療センターの地域連携枠に予約の申し込みをお願いします。スポーツ理学療法部門は大変混雑しております。初診予約日は診察のみとなり、治療の開始は次回以降になる可能性があることをご理解ください。

スポーツ医歯学診療センターへご紹介の際には、紹介状の宛先を「スポーツ医歯学診療センター」とし、地域連携室へ予約の電話をいただくとスムーズです。

アスリートメンタルケア外来を受診希望の際は、スポーツ医歯学診療センター「アスリートメンタルケア外来」インターネットによる初診予約

<https://www.tmd.ac.jp/medhospital/topics/athlete-mental/index.html>

でお申し込みください。

スポーツ歯科外来へご紹介の際は、紹介状の宛先を「スポーツ歯科外来」とし、

スポーツ歯科外来 03-5803-4891 でご予約下さい。

(受付時間: 火曜日・金曜日 9:00~17:00、水曜日 9:00~13:00)

外来日以外の曜日・受付時間でも、適宜患者さんのご都合に応じて対応いたしますので、お電話でご相談ください。

なお、緊急時の電話対応も随時行っておりますので、上記受付時間内にお電話でご相談ください。

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

周産・女性診療科

当科では、それぞれの部門のエキスパートが有機的に連携・協働し、総合力を駆使して高度な医療を提供します。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後	○ <small>(婦人科のみ)</small>	○ <small>(婦人科のみ)</small>	○ <small>(婦人科のみ)</small>	○ <small>(婦人科のみ)</small>	○ <small>(婦人科のみ)</small>



得意とする疾患と担当医師

●**地域周産期母子医療センター**（無痛分娩、ハイリスク妊娠分娩、合併症妊娠分娩、NICU）
宮坂 尚幸、関口 将軌、羅 ことい、不殿 絢子、廣瀬 明日香

●**出生前診断**（NIPT[※]、羊水検査、胎児超音波検査）※NIPTは遺伝子診療科との連携で行います。
関口 将軌、羅 ことい、廣瀬 明日香、不殿 絢子

●**腹腔鏡手術**（子宮筋腫核出術、卵巣嚢腫摘出術、子宮全摘出術等）
吉木 尚之、石川 智則、齊藤 和毅、郡 悠介、櫻井 香織

●**ロボット支援下腹腔鏡手術**（良性腫瘍、悪性腫瘍、骨盤臓器脱）
吉木 尚之、大島 乃里子、郡 悠介、齊藤 和毅

●**婦人科悪性腫瘍手術、化学療法、放射線療法、がんゲノム診療、HBOC 外来**
若菜 公雄、大島 乃里子、尾臺 珠美、郡 悠介

●**生殖医療**（一般不妊治療、体外受精・胚移植・顕微授精、着床能検査）
石川 智則、岩原 由樹、齊藤 和毅、櫻井 香織、光井 潤一郎

●**がん・生殖医療**（未受精卵子凍結保存、卵巣組織凍結保存、精子凍結保存）
石川 智則、岩原 由樹、齊藤 和毅、櫻井 香織、光井 潤一郎

●**不育症**
石川 智則、岩原 由樹、齊藤 和毅、櫻井 香織、光井 潤一郎

●**着床前診断**
石川 智則、岩原 由樹

●**女性ヘルスケア、更年期障害、骨粗鬆症、ホルモン補充療法、漢方療法**
寺内 公一、尾臺 珠美

●**プレコンセプションケア**
羅 ことい、不殿 絢子



特色・診療内容

周産期（妊娠・分娩）、婦人科腫瘍、生殖医療（不妊）、女性ヘルスケア（思春期・更年期）すべての分野にスペシャリストがおります。また他科と連携し、合併症をもつ患者さんに包括的に対応することが可能です。



専門外来

下記に関しては特に当科が得意とする分野です。患者さんのご紹介をお願いします。

周産期：ハイリスク妊娠・分娩、合併症妊娠・分娩、出生前診断（NIPT[※]、羊水検査、胎児超音波検査）

※NIPTは遺伝子診療科との連携で行います。

生殖医療：一般不妊、精液検査、体外受精、不育症、がん患者さんに対する妊孕性温存

手術：腹腔鏡、ロボット手術、開腹手術

更年期・女性ヘルスケア：更年期障害、骨粗鬆症、無月経、月経不順、月経困難症など

婦人科腫瘍：根治手術・放射線療法・化学療法を組み合わせた集学的治療、妊孕性温存手術、

HBOC に対するリスク低減手術

プレコンセプションケア：合併症を有する患者さんに対する妊娠前からの介入

子ども達の健康と幸せを守ることを大切に思う医療者を揃え、難治性疾患に苦しむ患者さんのお力になりたいと願い診療にあたっています。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後					

※グループ指定や医師指定の場合は、曜日が決まっておりますのでお問い合わせください。



得意とする疾患と担当医師

●小児白血病先端治療 / 年間約 10 例、原発性免疫不全症に対する造血幹細胞移植 / 現在まで計 100 例以上

金兼 弘和、高木 正稔、磯田 健志、神谷 尚宏、星野 顕宏、宮本 智史

●小児リウマチ性疾患(診断、先端治療、生物学的製剤) / 年間約 100 例
難治性ネフローゼ症候群、高血圧、小児急性腎不全(腎生検、内科的治療) / 年間約 50 例

清水 正樹、阿久津 裕子、伊良部 仁、林 祐子、金田 朋也

●先天性心疾患、小児肺高血圧症(先端治療)、治療抵抗性川崎病(血漿交換療法) / 年間約 60 例

石井 卓、山口 洋平、長原 慧

●難治性てんかん(内科・外科的治療、遺伝学的診断)、神経免疫疾患(免疫調整療法、血漿交換療法)、脊髄性筋萎縮症(核酸医薬、遺伝子治療) / 年間約 50 例

水野 朋子、森山 剣光

●小児内分泌希少疾患(先天性副腎皮質過形成症 / 性分化疾患など、特に遺伝学的診断を必要とする疾患)、糖尿病、低血糖症、骨系統疾患、成長障害 / 年間約 40 例

高澤 啓



特色・診療内容

原発性免疫不全症に対する造血幹細胞移植例の総数は 100 例を超え、日本で屈指の経験と治療成績を誇っています。小児肺高血圧症、性分化疾患、難治性ネフローゼ、難治性てんかん、小児リウマチ膠原病疾患など、小児の難治性疾患・希少疾患の専門的かつ幅広い診療が可能です。



専門外来

- 小児血液・免疫・腫瘍外来(原発性免疫不全症、血液腫瘍性疾患など)
- 小児リウマチ膠原病外来(小児リウマチ膠原病疾患全般)
- 小児腎臓外来(難治性ネフローゼ症候群、慢性腎炎、腎不全など)
- 小児循環器外来(先天性心疾患、肺高血圧症、不整脈、川崎病、心筋症など)
- 小児神経外来(難治性てんかん、神経免疫疾患、小脳失調症、脊髄性筋萎縮症など)
- 小児内分泌外来(副腎皮質過形成、性分化疾患、糖代謝異常など)
- 新生児フォローアップ外来(早産児、低出生体重児など)
- 小児アレルギー外来(食物アレルギー、気管支喘息、アトピー性皮膚炎など)



お願い

小児疾患のさまざまな分野の専門家が揃っていますので、上記の疾患に限らず診断や治療にお困りの症例は是非ご紹介ください。

専門外来へご紹介頂く際には、地域連携室経由での予約の他に、Web予約も可能となりました。専門外来名もしくは医師名をご指定頂くと、予約取得がスムーズになります。

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

希少疾患、難治性疾患にもきめ細かな医療を提供し、すべての年代の患者さんにわかりやすい説明を心掛けています。救急患者さんには24時間365日診療体制で対応いたしますので、いつでもご相談ください。



外来担当表
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	○	○



得意とする疾患と担当医師

●難治性てんかん / 薬物治療および外科的治療

前原 健寿 (教授)、稲次 基希 (講師)

●三叉神経痛、片側顔面けいれん / 外科的治療 (微小血管減圧術)

前原 健寿 (教授)、田中 洋次 (准教授)

●小児・成人もやもや病 / 脳循環検査、脳血行再建手術

田中 洋次 (准教授)、稲次 基希 (講師)、原 祥子 (講師 [キャリアアップ])

●未破裂脳動脈瘤、内頸動脈狭窄症、脳動静脈奇形 / 外科的治療

田中 洋次 (准教授)、稲次 基希 (講師)、河野 能久 (講師)

●下垂体神経内分泌腫瘍 / 経鼻的内視鏡手術

田中 洋次 (准教授)、阿部 大数 (助教)

●悪性脳腫瘍 / 外科的治療、放射線治療、化学治療を組み合わせた集学的治療

田村 郁 (准教授 [キャリアアップ])、清水 一秀 (助教)

●頭蓋底腫瘍 / 外科的治療

河野 能久 (講師)、佐藤 陽人 (特任助教)



特色・診療内容

てんかんセンター、脳卒中センターを有し、脳神経内科・精神科・小児科・血管内治療科と連携し、チームの一員として診療にあたっています。高精細CT・MRI、24時間脳波検査などによる詳細な評価を行い、外科的治療時にはナビゲーションシステム、術中神経モニタリング、術中脳波検査、術中CT検査などを用い、より高い治療効果と安全性を目指しています。

三叉神経痛は歯学部との連携で紹介いただく患者さんが多く、手術を行わない際も麻酔科ペインクリニックと連携し治療にあたっています。もやもや病は1980年代からの診療実績があり、希少疾患の専門知識に基づく診療を行っています。頭蓋底腫瘍も得意としており、頭頸部外科、再建形成外科と合同で執刀しています。脳動脈瘤、内頸動脈狭窄症、脳動静脈奇形は血管内治療科と連携し患者さんに最適な治療方法 (開頭手術 / カテーテル手術) を選択しています。



専門外来

難治性てんかん、三叉神経痛、片側顔面けいれん、もやもや病、脳血管障害 (脳動脈瘤、内頸動脈狭窄症、脳動静脈奇形)、下垂体神経内分泌腫瘍、悪性脳腫瘍、頭蓋底腫瘍については、てんかんセンターおよび担当医師のもと診療を行っています。その他各種脳腫瘍、脳血管障害、機能性疾患についても、曜日を問わず随時対応いたします。

急性期脳卒中 (くも膜下出血、脳出血、脳梗塞) の際は、救急要請またはプライオリティコールでのご連絡をお願いいたします。



お願い

てんかん患者さんをご紹介いただく際は、宛先を下記にさせていただきますと、その後の患者さんの診療がスムーズです。どうぞよろしく申し上げます。

- てんかん (高校生以上) : 脳神経外科てんかんセンター
- てんかん (中学生以下) : 小児科てんかんセンター

【外来】初診事前予約受付 (地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼 (入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

丁寧な問診、診察を基本に先端的な電気生理検査、画像検査、遺伝子診断などを用いて適切な治療プランを提案・実行します。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	○	○



得意とする疾患と担当医師

●筋萎縮性側索硬化症などの運動ニューロン疾患の診断と治療

横田 隆徳医師、桑原 宏哉医師、叶内 匡医師

●脳梗塞の予防と治療

西田 陽一郎医師、鈴木 基弘医師、石黒 太郎医師

●重症筋無力症の診断と治療

横田 隆徳医師、西田 陽一郎医師

●脊髄小脳変性症・多系統萎縮症の診断と治療

横田 隆徳医師、石川 欽也医師、石黒 太郎医師

●認知症の診断と治療・プリオン病の診断とケア・進行性多巣性白質脳症の診断と治療・脳表ヘモジデリン沈着症の患者さんに対して、硬膜瘻孔閉塞術や鉄キレート剤デフェリプロン投与

横田 隆徳医師、三條 伸夫医師、西田 陽一郎医師

●多発性硬化症と視神経脊髄炎スペクトラム障害の診断と治療

横田 隆徳医師、三條 伸夫医師、西田 陽一郎医師、横手 裕明医師

●パーキンソン病/症候群・特発性正常圧水頭症の診断と治療・進行性核上性麻痺などの神経変性疾患の患者さんに対して、2次的な水頭症の合併を想定して、髄液除去試験を臨床研究として実施

服部 高明医師

●ギランバレー症候群・CIDPなどの末梢神経障害

横田 隆徳医師、叶内 匡医師、八木 洋輔医師、赤座 実穂医師

●てんかんの診断と治療

赤座 実穂医師

●頭痛の診断と治療

八木 洋輔医師

●神経感染症の診断と治療

桑原 宏哉医師



特色・診療内容

丁寧な病歴聴取、詳細な身体診察を基本としつつ、先端的な電気生理検査、画像検査、遺伝子診断を駆使して、病態を明らかにし、最も適した治療法を提案します。それぞれの疾患や検査を専門とする医師が研究レベルからベッドサイドでの治療を視野に置いて臨床に携わっています。疾患に応じて、臨床研究、臨床治験への参加の提案も行います。



お願い

次の疾患について特に患者さんをご紹介ください。

●認知症：三條 伸夫医師、西田 陽一郎医師

●多発性硬化症、視神経脊髄炎スペクトラム障害専門外来：横手 裕明医師

●パーキンソン病/パーキンソン症候群、特発性正常圧水頭症：服部 高明医師

またご紹介いただく際、貴施設や他施設で撮影された画像がございましたらCD-ROMにてご提供ください。併せて検査結果についてもご提供いただければ幸いです。

こころの健康を守るニーズに応える診療・研究体制を整え、安全で効果の高い最新の治療を提供しています。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診) 月 火 水 木 金
お問い合わせください



得意とする疾患と担当医師

- インターネット依存症/家族療法、集団療法など/日本国内では先駆的な取り組み
治徳 大輔、小林 七彩
- 中高年の精神疾患の脳画像による鑑別診断
高橋 英彦、田村 赳紘
- 過眠に注目した ADHD (注意欠陥多動障害) 診療
高橋 英彦、高木 俊輔、治徳 大介
- てんかん/ビデオ脳波による診断・薬物療法/てんかんセンターと連携
高木 俊輔、宮島 美穂、中村 啓信
- 夜間異常行動/ビデオ脳波・PSG (ポリソムノグラフィー) による診断/
てんかんセンター・快眠センターと連携
高木 俊輔
- 過眠症/MSLT (反復睡眠潜時検査) による診断/月2~4件
治徳 大介、高木 俊輔
- 周産期・身体合併症
竹内 崇、宮島 美穂
- 難治性精神疾患/ECT (電気けいれん療法) /年間約50例
杉原 玄一、藤野 純也
- 難治性統合失調症/クロザリル/年間約15例
藤野 純也



特色・診療内容

1. 丁寧な診察と詳細なカンファランスでの診断・方針決定による質の高い診療を行っています。
2. 精神保健福祉士を揃えることで他施設との連絡を円滑にし、活発に入院を受けられるよう工夫しています。
3. 質の高い診療により短い在院日数を達成し、患者さんの負担も軽減しております。



専門外来

インターネット依存症外来は、日本全国でも同様の取り組みをしている施設はほとんどなく、十分な診断・治療を行うメソッドも十分確立はされていません。そんな状況の中、治療および治療法の開発を含めて積極的に取り組んでいます。患者さんをご紹介ください。



お願い

初診事前予約は

精神科外来(直通) : 03-5803-5673 (平日14:00-16:00)

より承っております。予約の際に専門外来名をお伝えください。

体の病気を持つ患者さんやそのご家族の「こころ」の問題に対応しています。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診) 月 火 水 木 金
お問い合わせください



得意とする疾患と担当医師

●がんの患者さんやご家族のメンタルケア
薬物療法、一般精神療法(特殊な精神療法やカウンセリングは実施していません) /
年間50例以上
竹内 崇、宮島 美穂



特色・診療内容

精神科専門医、精神保健指定医、一般病院連携精神医学専門医、日本サイコソクロロジー学会認定登録精神腫瘍医など、患者さんの容態に応じた専門性を有する医師が対応します。



お願い

当科の診療は、他の疾患で当院身体科を受診している患者さんを対象としています。まずは当院の身体科へ紹介してください。
なお、線維筋痛症の専門治療および、心理カウンセリング・特殊な精神療法には対応していません。

「切らないがん治療」を提案します。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診) 月 火 水 木 金
午前
午後 ○ ○ ○ ○



得意とする疾患と担当医師

- 口腔癌 / 小線源治療 / T1期の制御率80～90%、T2期の制御率70～80%
吉村 亮一(腫瘍放射線治療学分野教授)、三浦 雅彦(口腔放射線腫瘍学分野教授)
- 頭頸部癌 / 強度変調放射線治療(IMRT/VMAT) / 年間100例
吉村 亮一(教授)、長野 拓也(助教)
- 前立腺癌 / 小線源治療、強度変調放射線治療(IMRT/VMAT) / 年間70～80例
松原 大五郎(助教)
- 子宮癌 / 画像誘導小線源治療(腔内照射・組織内照射) / 年間40～50例
篠村 一磨(助教)
- 乳癌 / SAVIを用いた小線源治療 / 5日間で乳房温存術後の放射線治療を終了
吉村 亮一(教授)
- 肺癌・オリゴ転移 / 定位放射線治療 / 1～2週間で終了するピンポイント治療
篠村 一磨(助教)、松原 大五郎(助教)
- 骨転移や脳転移など / 緩和放射線治療 / 状況に応じたスケジュールで症状を和らげます
吉村 亮一(教授)、篠村 一磨(助教)



特色・診療内容

がんを「切らずに治す」ことを希望される患者さんに、患者さんの状況、希望に応じて小線源治療や強度変調放射線治療、定位放射線治療などの高精度放射線治療を提供します。
骨転移や脳転移等で痛みなどの苦痛がある患者さんには症状緩和のために状況に応じた放射線治療を提供します。



専門外来

適応等についてのご質問は

放射線治療科外来：03-5803-5683(平日9:00-17:00)

に問い合わせ下さい。



お願い

ご紹介いただいた先生との併診を基本としています。放射線治療期間中も放射線治療後も紹介元医療機関様の診療の継続をお願いします。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30～17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30～17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30～17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。

アレルギー疾患先端治療センター

専門性の高いトータル・アレルギーケアを提供し、心配事が少しでも解決できるような診療を心がけています。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前		○ (皮膚科)	○ (皮膚科)	○ (皮膚科)	
午後	○ (耳鼻咽喉科・ 呼吸器内科)		○ (小児科 第1週のみ)	○ (小児科隔週・ 呼吸器内科)	



得意とする疾患と担当医師

- **アレルギー性鼻炎 / 後鼻神経切断術、レーザー下鼻甲介粘膜焼灼術、症状に応じた鼻内内視鏡手術、舌下免疫療法**
耳鼻咽喉科：鈴木 康弘（非常勤講師）
- **好酸球性副鼻腔炎 / 難病指定のための検査、内視鏡下鼻内手術、生物学的製剤療法**
耳鼻咽喉科：鈴木 康弘（非常勤講師）
- **金属アレルギーを含む接触皮膚炎 / アレルゲン同定と除去療法**
皮膚科：沖山 奈緒子（教授）、他
- **アトピー性皮膚炎・慢性蕁麻疹・慢性痒疹 / 生物学的製剤、免疫抑制剤、紫外線療法など**
皮膚科：沖山 奈緒子（教授）、他
- **成人食物アレルギー・薬剤アレルギー / アレルゲン同定と除去療法**
皮膚科：沖山 奈緒子（教授）、他
- **無汗症を伴うコリン性蕁麻疹 / 発汗試験やアセチルコリン皮内テストなど診断・ステロイドパルス療法**
皮膚科：沖山 奈緒子（教授）、竹下 八菜（助教）、飯田 忠恒（助教）、藤本 智子（非常勤講師）、稲澤 美奈子（非常勤講師）
- **難治性喘息 / 生物学的製剤を併用した薬物療法**
呼吸器内科：大谷 義夫（非常勤講師）、小松崎 恵子（非常勤講師）、高澤 聖子（助教）、飯島 裕基（助教）、他
- **歯科金属・歯科材料アレルギー / 歯科材料分析検査（私費）**
歯科アレルギー外来：駒田 亘（准教授）、松村 菜由子（特任助教）
- **小児食物アレルギー、小児気管支喘息、小児アトピー性皮膚炎、小児蕁麻疹**
小児科：石川 史（非常勤講師）



特色・診療内容

- アレルギー疾患は呼吸器・鼻・眼・皮膚・消化器など全身に症状が出る疾患です。当センターでは、呼吸器内科・小児科・皮膚科・耳鼻咽喉科のアレルギー専門医が横断的に密接に協力して総合的にアレルギー疾患を治療してまいります。それにより、全身のアレルギー疾患を同時に根本から治療することが可能です。
- 皮膚症状を伴うアレルギー疾患の病態・原因解明を積極的に行うとともに、アトピー性皮膚炎を中心に全身療法による治療を行います。（皮膚科）
- 内服や点鼻薬等の保存的治療に抵抗性の症例に対して、追加治療を検討する事が出来ます。（耳鼻咽喉科）
- アレルギー性気管支肺真菌症、好酸球性副鼻腔炎、食物アレルギーによるアナフィラキシーなど合併例などにも対応します。
- アレルギー疾患以外の小児科各種専門外来と協力して子どもの成長を考えた総合的な診療、療育が可能です。（小児科）
- 歯科材料が原因または誘発物質になっていると思われる様々な疾患について、疾患との因果関係を各種検査により調べ、疾患改善と再発防止を図るための道筋を調べ、治療に関する適切なご提案をするための検査外来です。一部の検査は皮膚科と連携して行っています。（歯科アレルギー外来）



お願い

下記の患者さんをご紹介ください。

- **耳鼻咽喉科**
 - ・好酸球性副鼻腔炎を含めた、好酸球増多症
- **皮膚科**
 - ・アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、蕁麻疹（特にコリン性蕁麻疹）、慢性痒疹、食物・薬剤アレルギー疑い症例
- **呼吸器内科**
 - ・生物学的製剤を導入したいがお困りの症例。過敏性肺炎（従来より診療実績があり専門外来担当医につなげてまいります）
- **小児科**
 - ・診断や治療に苦慮する食物アレルギー、喘息、アトピー性皮膚炎など。
- **歯科アレルギー外来**
 - ・金属、歯科材料アレルギーに起因する各種アレルギー疾患
診断、治療方針立案の為に各種検査を実施（保険外）。実際の歯科治療は当院の診療他科やかかりつけ歯科へご案内となりますので、ご了承ください。
ご紹介いただく際には、当センターの各診療科宛てにご紹介いただければ幸いです。
（例：「アレルギー疾患先端治療センター 皮膚科」宛）

【外来】初診事前予約受付（地域連携室）

TEL 03-5803-4655（平日8:30～17:00）

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼（入院支援室）

TEL 03-5803-4506（平日8:30～17:00）

※詳細はP.7をご覧ください。



歯系診療部門 各診療科のご案内

複数の専門診療科の担当医が合議の上、患者さんのご要望に合わせて高水準な歯科医療を提供します。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後					



得意とする疾患と担当歯科医師

- 各専門分野の担当医が合議の上、診断と治療計画の提案をするカウンセリング
- 口腔内スキャナー、ミリングマシンや3Dプリンタなどの歯科用デジタル機器を一同に集めたReal Mode Studio(併設)を活用した、デジタル機器による歯科診療
金澤 学(教授)
- 入れ歯とインプラントを組み合わせたインプラント義歯治療
金澤 学(教授)、丸川 恵理子(教授)
- 手術と同時に固定性の仮歯を入れることが可能なインプラント治療、難易度の高い骨造成を伴うインプラント治療
丸川 恵理子(教授)
- 小照射野コーンビームCT(歯科用CT)による三次元的診断のもと、歯科用実体顕微鏡下で行う根管治療
興地 隆史(教授)
- 機能、外観や装着感に優れた特殊な義歯の製作
金澤 学(教授)、若林 則幸(教授)、笛木 賢治(教授)
- 歯周病で失われた骨等の歯周組織の再生を促す歯周組織再生療法
岩田 隆紀(教授)
- 歯科用レーザーを活用した歯周病治療
青木 章(教授)
- セラミックやコンポジットレジンを用いた天然歯に近いメタルフリー歯冠修復
若林 則幸(教授)、笛木 賢治(教授)、島田 康史(教授)
- 様々な手法を組み合わせたホワイトニング
島田 康史(教授)



特色・診療内容

- 専門的な歯科治療を効率的に提供します。
- 各専門診療科で行っている治療を、複数外来の歯科医師がチームで包括的にを行います。
- 各専門分野の担当医が集結し、特殊な場合を除きセンター内で診療が完結するようにいたします。
- 「保険診療の枠組みにとらわれない」診療を行いますので、診療全般を自由診療にて行います。
- プライバシーと感染対策に配慮された半個室での治療が受けられます。



お願い

ご紹介いただく際は「先端歯科診療センター」宛にご紹介いただき、初診予約デスクへご連絡ください。歯科総合診療科(D棟1階)で診察後、先端歯科診療センターをご案内いたします。

歯並び・かみ合わせの問題、顎の骨格的な変形、先天的な疾患による問題まで、幅広い年齢層を対象に、多岐にわたる矯正歯科治療を提供しています。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後					



得意とする疾患と担当歯科医師

- 不正咬合(叢生、上顎前突症、下顎前突症、開咬、過蓋咬合、埋伏歯、空隙歯列など)に対する矯正歯科治療
- 顎変形症、口唇裂・口蓋裂、その他厚生労働大臣が定める先天異常に起因した不正咬合に対する保険適応の矯正歯科治療



特色・診療内容

- 小児から成人までの幅広い年齢層の患者さんを対象に、一般的な歯ならび・かみ合わせの問題から、顎の骨格的な変形、先天的な問題、歯周病・歯の欠損等を伴うかみ合わせの問題まで、多岐にわたる患者さんを対象に治療を行っています。治療開始前の検査に対する詳細な分析後に、経験・知識が豊富な主任教授による診断を経ることで、エビデンスに基づいた診療を提供しています。
- むし歯科・歯周病科・義歯科・口腔外科・小児歯科などの他の歯系診療部門、さらには、医系診療部門との連携により、一般的な医療機関では困難な集学的治療を実現することが可能です。特に、顎変形症や口唇裂・口蓋裂などの先天性疾患に対しては、定期的に口腔外科等との合同カンファレンスを行い、チームアプローチによる綿密な連携ならびに協力体制を確立しています。さらに、先天性疾患では、治療開始前に患者さんご家族に対してカウンセリングを行っています。
- 顎変形症と口唇裂・口蓋裂を含む厚生労働大臣が定める疾患に対する治療には健康保険が適用されます。
- 歯の移植を併用した矯正歯科治療システムを積極的に取り入れ、自分の歯の本数を減らすことなく、自分の歯を生かしてしっかりかめるような治療を行っています。



お願い

紹介状の宛先に「矯正歯科」と診療科を記載いただきますと、ご案内がスムーズです。

【外来】初診事前予約受付 初診予約デスクにてお電話でご予約を承ります。

TEL 03-5803-4300 (平日12:00~16:00)

※詳細はP.10をご覧ください。

【外来】初診事前予約は不要です。

紹介状をご持参のうえ、初診受付に平日8:30~10:30までにお越しください。

※詳細はP.10をご覧ください。

小児期の全ての歯科疾患について、総合的に対応しております。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後					



得意とする疾患と担当歯科医師

●小児期における歯と口の疾患

- ・低年齢児、協力が得られない児のう蝕治療
- ・小児の口腔外傷
- ・歯数や歯の萌出の異常
- ・歯の形成や、形態の異常
- ・小児における軟組織疾患
- ・小児期の歯並びや咬み合わせ
- ・全身的な疾患により、全身管理が必要な児の歯科治療

担当医：岩本 勉（教授）、柿野 聡子（講師）、和田 奏絵（助教）、大石 敦之（助教）、杉本 明日菜（助教）

●歯髄光電脈波の定量解析による歯髄の血行動態および機能評価

担当歯科医師：柿野 聡子（講師）



特色・診療内容

地域の歯科医院では対応が難しいとされることの多い、先天的な問題や全身的な疾患、治療の協力を得られない患者さんに対する歯科治療に対して、数多くの実績があり、全ての担当歯科医師が0歳から15歳まで、小児期全般の口や歯の問題に対応しています。

患者さんの成長と発達段階に合わせた対応と全身管理を行い、患者さんの歯科医療へ対する信頼感の構築を通して、継続的な口腔管理と口腔機能の改善を図る取り組みを行っています。



お願い

初診事前予約は下記より承っております。

小児歯科(直通)：03-5803-5756(平日9:00～16:00)

- ・夏休み等の期間は、初診や再診の予約が非常に混み合いますので、患者さんにはその旨お知らせ頂きますようお願いいたします。
- ・ケガや急な痛みなどは、予約なしでも対応いたしますが、円滑な診療のため上記電話番号まで、あらかじめご相談ください。
- ・予約なしで来院された場合は、待ち時間が長くなることが予測されます。ご了承ください。

かかりつけの医療機関、必要に応じて他の歯科専門外来や医系診療部門と連携を図りながら治療を行います。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後					



得意とする疾患と担当歯科医師

- むし歯、歯周病、抜歯や補綴など包括的な歯科治療
- モニタリング、心理学的方法、精神鎮静法および全身麻酔法などを用いた治療
- 口腔衛生指導



特色・診療内容

種々の障がいや病気等により歯科治療に際して特別な対応（スペシャルニーズ）が必要な方に対して個々の状態に合わせて歯科治療を進めていきます。

1. 「薬物的行動調整」
静脈内鎮静法や全身麻酔法も積極的に応用しています。
2. 「全身管理下での歯科治療」
各種の臨床検査や循環監視装置の応用によって、全身疾患がある患者さんにも、全身管理下で歯科治療を行うことができます。
3. 「歯科的健康管理」
ご紹介いただいた歯科医院やそのほか地域連携のもと、リコールによる定期的なチェックと口腔衛生指導・予防処置を受けることをお勧めしています。



お願い

当科では、一般の歯科医院では対応が困難な患者さんを主な対象としています。

- 1) 知的能力障害、自閉スペクトラム症など歯科治療に際し理解が困難な方
- 2) 脳性麻痺など姿勢の維持が難しい方
- 3) 医学的管理が必要な方

新患診療は予約制となっております。

ご紹介いただく際は、障害者歯科あての紹介状を作成のうえ、外来にお電話いただくようお願いください。

初診予約は下記より承ります。

障害者歯科外来(直通)：03-5803-5727(平日9:00～16:30)

治療の内容によっては院内の他の歯科専門外来に後日受診していただく場合があります。

【外来】初診事前予約受付 診療科にてお電話でご予約を承ります。

TEL 03-5803-5756 (平日9:00～16:00)

※詳細はP.10をご覧ください。

【外来】初診事前予約受付 診療科にてお電話でご予約を承ります。

障害者歯科外来(直通)：TEL 03-5803-5727 (平日9:00～16:30)

※詳細はP.10をご覧ください。

歯にやさしい、むし歯治療を提供します。
先進的な機材と専門的技術を用いた歯内療法により
歯の保存に貢献します。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後					



得意とする疾患と担当歯科医師

●う蝕・歯の硬組織疾患

- ✓ 接着技術を駆使した歯冠色修復治療：直接法コンポジットレジンによるう蝕治療、また咬頭被覆冠、ベニア修復、ブリッジにも対応します。
- ✓ 歯のホワイトニング(自由診療)：歯の着色や変色を改善します。
- ✓ 歯科用光干渉断層計(OCT)による画像診断：日本発、世界初の、歯の画像診断技術です。妊娠された方にも安心して繰り返し使用できる、X線を使わない断層画像診断を行います。
- ✓ う蝕の再石灰化治療：初期のう蝕に対して再石灰化治療を行います。

島田 康史、平石 典子、井上 剛、高橋 礼奈、佐藤 隆明、畑山 貴志、田端 倫子、陳 雪霏、土山 奈美

●歯髄疾患・根尖性歯周疾患

- ✓ 歯科用CTを用いた診断
- ✓ 実体顕微鏡を用いた診断と根管治療(根管探索、歯根破折の診断、根管壁穿孔封鎖、根管内異物除去など)
- ✓ 実体顕微鏡を用いた外科的歯内療法(歯根端切除・逆根管充填など)
炎症を起こした歯髄を除去し痛みを取り除く、あるいは感染した根管から細菌を排除し、その歯が口腔内で長く機能できるようにします。また、歯科用CTによる三次元的診断と実体顕微鏡での診断・処置を併用した専門的な歯内療法を提供します。

川島 伸之、海老原 新、渡辺 聡、田澤 建人、牧 圭一郎、木村 俊介



特色・診療内容

接着を駆使し、歯の切削量を極力抑制した、歯冠色のう蝕治療を提供します。

歯の色調や形態の改善の要望も対応可能です。

歯科用OCTを用い、初期う蝕や歯の亀裂、摩耗など、精度の高い歯の画像診断を提供します。

なかなか治癒に至らない症例(いわゆる難治性根尖性歯周炎)に対しても専門的な根管治療や外科的歯内療法を行い、歯の保存に努めています。



お願い

患者さんの健康状態や歯の状態により、ご希望の治療法を使用できないことがあります。また自由診療になる治療法があります。ご不明な点をご相談ください。

口腔内全体の包括的な診査・診断を行い、
歯周病や喪失した歯周組織に対する
高度な歯科医療(歯周治療)を提供します。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後					



得意とする疾患と担当歯科医師

●歯周治療(歯周基本治療(非外科治療)、歯周外科治療)、歯周組織再生療法、歯周形成外科治療

岩田 隆紀(診療科長・主任教授)、青木 章(教授)、水谷 幸嗣(講師)、芝 多佳彦(助教)、前川 祥吾(助教)、永田 瑞(助教)

●歯肉や粘膜の形態回復や機能回復のための形成外科治療

岩田 隆紀(診療科長・主任教授)、青木 章(教授)、水谷 幸嗣(講師)、芝 多佳彦(助教)、前川 祥吾(助教)、永田 瑞(助教)

●細胞シートを用いた歯周組織再生(申請準備中)

岩田 隆紀(主任教授)

●レーザーを用いた包括的歯周ポケット治療

青木 章(教授)、水谷 幸嗣(講師)、芝 多佳彦(助教)

●レーザーによる歯肉の色調改善

青木 章(教授)、水谷 幸嗣(講師)、芝 多佳彦(助教)

●インプラント治療・骨造成治療

岩田 隆紀(主任教授)、芝 多佳彦(助教)、前川 祥吾(助教)、永田 瑞(助教)

●インプラント周囲疾患治療

青木 章(教授)、水谷 幸嗣(講師)、芝 多佳彦(助教)、前川 祥吾(助教)、永田 瑞(助教)

●顕微鏡を用いた低侵襲歯周外科手術

岩田 隆紀(主任教授)、青木 章(教授)、水谷 幸嗣(講師)、芝 多佳彦(助教)、前川 祥吾(助教)、永田 瑞(助教)



特色・診療内容

日本歯周病学会の指導医・専門医・認定医が多数在籍しており、基本的な治療から高度な専門治療まで幅広く対応が可能です。また、様々な生体材料を用いた歯周組織の再生治療、歯周組織の形成外科手術、レーザー治療、インプラント周囲炎治療などを最新の研究成果やデジタル技術を応用して治療を行っております。



お願い

歯周病科宛の紹介状を作成のうえ、初診の予約は初診予約デスクにてご予約をお取りください。患者さんの健康状態や歯の状態により、ご希望の治療法を行うことができない場合があります。また自由診療になる治療法があります。ご不明な点をご相談ください。治療や治療後の定期管理を地域医療機関で行うことも可能です。

【外来】初診事前予約受付 初診予約デスクにてお電話でご予約を承ります。

TEL 03-5803-4300 (平日12:00~16:00)

※詳細はP.10をご覧ください。

【外来】初診事前予約受付 初診予約デスクにてお電話でご予約を承ります。

TEL 03-5803-4300 (平日12:00~16:00)

※詳細はP.10をご覧ください。

口腔機能と形態を回復し、より快適な生活をサポートします。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後					



得意とする疾患と担当歯科医師

- クラウンによる治療：広範囲の歯冠部欠損に対するセラミックス、レジン、金属を用いた修復治療
- ブリッジによる治療：少数歯欠損に対する残存歯を支台歯としたセラミックス、レジン、金属を用いた補綴治療
- 部分入れ歯による治療：歯の部分的な欠損に対するクラスプやアタッチメントを用いた部分床義歯による補綴治療
- 総入れ歯による治療：無歯顎に対するレジン、金属、軟質材料を用いた全部床義歯による補綴治療

担当歯科医師/上記共通：全ての歯科医師が全ての疾患を担当します。



特色・診療内容

日本補綴歯科学会認定の指導医、専門医、認定医が多数在籍しており、欠損補綴の難症例の治療に対して最後まで責任を持って診療に当たります。かみ合わせや原因不明の痛みでお困りの患者さんには、顎関節症外来、歯科ペインクリニック、歯科心身医療科などと連携した対応も行ってまいります。



お願い

義歯科宛の紹介状を作成のうえ、初診の予約は初診予約デスクにてご予約をお取りください。

スポーツに関わる全ての人を口腔からサポートします。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○			○
午後		○			○



得意とする疾患と担当歯科医師

- カスタムメイド・マウスガード(マウスピース)の相談・治療
中禮 宏(講師)、林 海里(助教)
- カスタムメイド・フェイスガード(フェイスマスク)の相談・治療
中禮 宏(講師)
- スポーツのためのデンタルチェック(定期検診)
- 選手の事情に配慮しながらの一般歯科診療
- スポーツ選手特有の歯科疾患への対応(歯のすり減り、顎関節症など)
- スポーツ事故による歯の破折・脱臼、顎の骨折への対応



特色・診療内容

競技に支障が出ないように配慮しながら歯科治療を行ってまいります。継続した来院が難しい患者さんに対しては、スケジュールに合わせた治療計画の立案や、遠征先などでのスポーツに精通した医院の紹介なども可能です。またチーム単位での検診や大会サポートなども行ってまいりますので、ご相談ください。



お願い

スムーズにご受診いただくため、ご紹介の際は事前に初診予約をお願いいたします。画像データなどございましたら、受診時にご用意頂きますと幸いです。

スポーツ歯科外来：03-5803-4891

(受付時間：火曜日・金曜日 9:00～17:00、水曜日9:00～13:00)

外来日以外の曜日・受付時間でも、適宜患者さんのご都合に応じて対応いたしますので、お電話でご相談ください。

なお、緊急時の電話対応も随時行っておりますので、上記受付時間内にお電話でご相談ください。

【外来】初診事前予約受付 初診予約デスクにてお電話でご予約を承ります。

TEL 03-5803-4300 (平日12:00～16:00)

※詳細はP.10をご覧ください。

【外来】初診事前予約受付 診療科にてお電話でご予約を承ります。

TEL 03-5803-4891 (㊟ 9:00～17:00、㊟ 9:00～13:00)

※詳細はP.10をご覧ください。

快眠歯科 (いびき・無呼吸) 外来

高血圧、心筋梗塞、脳血管障害、糖尿病等の生活習慣病を悪化させる現代病の睡眠時無呼吸症に対し、マウスピースを用いて下顎を前に出し、睡眠中の呼吸の通りを良くしていびき・無呼吸を抑える治療を行っています。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○				○
午後					



得意とする疾患と担当歯科医師

閉塞性睡眠時無呼吸症 (Obstructive Sleep Apnea : OSA) の口腔内装置 (マウスピース ; Oral Appliance : OA) 療法

石山 裕之 (診療科長; 4月より、兼任・顎関節症外来)、秀島 雅之 (診療科長; 3月まで、非常勤講師; 4月より)、戸邊 昌子 (医員)、鈴木 拓望 (医員; 3月まで)、赤倉 正人 (医員; 4月より)、山口 浩平 (兼任・摂食嚥下リハビリテーション外来)、田村 厚子 (兼任・摂食嚥下リハビリテーション外来)、三間 裕子 (歯科総合診療科 医員)、霞澤 秀一郎 (非常勤講師)



特色・診療内容

- 保険診療による上下顎一体型のOA(マウスピース)、もしくは保険外の上下分離型のOAを装着し、下顎を前方に固定することで、いびき・無呼吸を抑え、日中の眠気、集中力の低下を防止します。
- 高血圧、心筋梗塞、脳血管障害、糖尿病等の生活習慣病を悪化させる現代病である睡眠時無呼吸症に対しマウスピースを用いた治療を行っています。
- 医科・歯科を有する当院の特色を生かし、快眠センターと緊密な連携診療、情報交換を行い、個々の症例に適したテーラーメイドな治療を実践しており、メディアでの紹介、社会への周知も行っていきます。
- OA(マウスピース) 作製が困難とされる義歯装着者に対して、専門医が工夫を凝らし、歯の少ない方にも効果が高く装着感の良いOA治療を行っており、全身の健康やQOLの回復を図れます。



お知らせとお願い

- 快眠歯科の診療室は2024年11月より、歯科棟3階義歯外来(顎関節症外来と併設)に移設しました。
- 睡眠時無呼吸の歯科治療を受けるには、**事前に医療機関での睡眠検査、睡眠時無呼吸症の診断が必要です。**検査・診断をご希望の場合は、当科と連携の

快眠センター : 03-5803-4587

お問い合わせ下さい。

- 歯科のOA療法は比較的軽度の睡眠時無呼吸症に適用されます。重度の睡眠時無呼吸症には医科のCPAP(持続陽圧呼吸装置)と呼ばれる鼻マスクによる呼吸サポート処置が保険適用されるため、睡眠検査の結果が重症の際は快眠センターの受診をお勧めいたします。

参考：快眠センター (P.43) もご覧ください。

【外来】初診事前予約受付 診療科にてお電話でご予約を承ります。

TEL 03-5803-4955 (平日9:00~16:00)

※詳細はP.10をご覧ください。

顎顔面補綴外来

頭頸部がんの切除後あるいは口唇裂口蓋裂などの頭頸部領域の欠損を持つ方々の口腔機能や整容性の改善を支援します。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	○	○



得意とする疾患と担当歯科医師

- がんの切除後などで顎顔面領域に欠損がある患者
- 口唇裂口蓋裂など先天的な疾患により顎顔面領域に欠損のある患者
- 放射線治療を行う患者

担当歯科医師/ 上記共通 : 全ての歯科医師が全ての疾患を担当します。
服部 麻里子 (診療科長)、村瀬 舞 (講師)、原口 美穂子 (特任助教)、谷 皇子 (医員)、辻 美余 (医員)、松井 慧 (医員)、國澤 輝子 (医員)



特色・診療内容

口腔内や顔面に、がんの切除や口唇裂口蓋裂などによる欠損のある方に、顎義歯、舌接触補助床や顔面補綴装置(顔面エピテーゼ)を製作し、チーム医療の中で咀嚼、嚥下、発音、整容性の回復と改善のお手伝いをします。欠損補綴だけでなく、外科用補助装置、発音補助装置、放射線治療補助装置なども製作しています。外科や放射線科との連携から地域医療への橋渡しまで行ってまいります。



お願い

初診事前予約は下記より承っております。

顎顔面補綴外来(直通) : 03-5803-5720 (平日9:00~17:00)

【外来】初診事前予約受付 診療科にてお電話でご予約を承ります。

TEL 03-5803-5720 (平日9:00~17:00)

※詳細はP.10をご覧ください。

主に音声言語という側面を通して患者さんの生活全般を見据え、QOLの向上に努めています。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	○	○



得意とする疾患と担当歯科医師

●発声発語障害・言語発達障害のある方が対象患者さんです。幼児から成人まで、年齢は問わず、歯科医師と言語聴覚士が相談から、検査、診断、訓練に至るまで行っています。

担当歯科医師：服部 麻里子
担当言語聴覚士：正木 啓太



特色・診療内容

言語聴覚療法を専門で行っている点が当外来の特色です。「発音が誤る」「なめらかに話せない」など、発声発語や言語発達の面でお困りのことがございましたら、ぜひご相談ください。

なお、当外来は、歯系診療部門に所属するため、

- ① 口唇裂・口蓋裂、口腔内腫瘍により構音に課題を抱える方への評価・指導を主にしています(保険診療です)。

ただし、以下の方も、検討のうえ、対応いたします。

- ② ①以外の器質的要因により構音に課題のある方 例：舌小帯短縮症、等
- ③ 器質的要因以外で構音に課題のある方 例：語音症、等
- ④ 流暢性に課題のある方 例：吃音症、等
- ⑤ 言語発達に課題のある方 例：言語症、等

②～⑤に該当する方は、保険外診療になりますのでご相談ください。



お願い

初診事前予約は下記にて承っております。

言語治療外来(直通)：03-5803-4752(平日9:00-17:00)

有病高齢者の口腔機能を回復する。かかりつけ医療機関や他の診療部門と連携を図りながら治療を行います。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後					



得意とする疾患と担当歯科医師

●65歳以上で、全身管理が必要とされる重度疾患のある患者さんに対して全身状態の医学的管理(モニタリング、PT-INR測定など)を行いながら、むし歯治療、歯周病治療、抜歯や義歯製作など包括的な歯科医療を状態に合わせた形で提供いたします。

担当歯科医師/全ての歯科医師が全ての疾患を担当します。



特色・診療内容

1989年5月に高齢者歯科治療部として設置されて以来、有病高齢患者さんの歯科診療を行ってきました。他の専門外来で対応できない医学的な疾患をもつ患者さんの歯科治療に対応いたします。

以下に挙げる疾患などを有する患者さんの歯科治療を対象としています。

【循環器】・高血圧症 WHO 3度(180mmHg/110mmHg 以上)

- ・弁膜症、心臓内腔の先天性心疾患、感染性心内膜炎のハイリスク
- ・抗凝固薬服用 抗血小板薬 2 剤など。

【脳血管、神経筋疾患系】・ADL 低い(ex:90歳以上、体重40キログラム以下、車椅子)など。

【DM、CKD】・1型糖尿病

- ・透析患者(血液透析、腹膜透析も含む)など。

【顎骨壊死リスクあり】・骨吸収抑制薬投与中、ステロイド、免疫抑制剤投与中など。



お願い

ご紹介いただく際は、高齢者歯科外来宛に診療情報提供書を作成お願いします。

なお当大学病院歯系診療部門では、新患診療は予約制となっております。

新患予約デスク受付にお電話ください。

初診予約デスク受付

[月～金曜] 12時00分～16時00分

電話番号：03-5803-4300

歯科治療で使用する金属及び材料のアレルギー検査を実施し、安全性の高い歯科治療の提供に貢献致します。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○			○	
午後	○		○	○	



得意とする疾患と担当歯科医師

●金属や歯科材料を対象とした各種アレルギー疾患（接触性皮膚炎、アトピー性皮膚炎、口内炎、扁平苔癬など）、歯性病巣感染（掌蹠膿疱症、肉芽腫性口唇炎など）

松村 菜由子（特任助教）、松村 光明（非常勤講師）、北崎 祐之（非常勤講師）、馬場 史郎（非常勤講師）

●アレルギー除去療法

駒田 亘（准教授）、松村 菜由子（特任助教）



特色・診療内容

歯科・医科の各科と連携し、歯科治療用金属や材料が原因または誘発物質になっていると思われる様々な疾患について、疾患との因果関係を各種検査によりお調べ致します。また、疾患改善と再発防止を図るための使用可能な材料や治療方針に関する適切なご提案をさせていただきます。更に、歯科矯正治療や口腔インプラントなどを含めた各種歯科治療を安全にお受け頂く為、使用可能な歯科治療用材料の検査を提供致します。（検査は皮膚科と連携して行っております）



お願い

・歯科で行われるアレルギーの診察・検査は保険外診療で、当外来は完全予約制となっております。予約はお電話にて、下記時間帯で受け付けております。

歯科アレルギー（直通）：03-5803-5746

月曜日 9:00～12:00 / 13:00～16:30

水曜日 13:00～16:30

木曜日 9:00～12:00 / 13:00～16:30

・歯科治療に起因するアレルギーに関する診察（検査や治療の相談）を行っておりますが、実際の歯科治療は原則として行っておりません。診断後の治療は原則的に当院連携各科または、かかりつけの歯科医院にて受診をお願いしております。

顎関節症は決して怖い病気ではありません。正しく病気を理解し、改善に向けて共に進みましょう。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後					



得意とする疾患と担当歯科医師

●顎関節症の診査、診断、治療

西山 暁（診療科長）、石山 裕之（外来医長）、木村 浩子（特任助教）、秋本 悌助（医員）、宮園 敬資（医員）、堀田 葉子（医員）

●睡眠時ブラキシズムの診査、診断、治療

西山 暁（診療科長）、石山 裕之（外来医長）、宮園 敬資（医員）、堀田 葉子（医員）

●覚醒時ブラキシズムの治療

西山 暁（診療科長）、石山 裕之（外来医長）、木村 浩子（特任助教）、秋本 悌助（医員）、宮園 敬資（医員）、堀田 葉子（医員）

●睡眠時無呼吸に関連した顎関節症および睡眠時ブラキシズム

西山 暁（診療科長）、石山 裕之（外来医長）



特色・診療内容

顎関節症の診査、診断においては国際基準であるDC/TMD (Diagnostic Criteria for Temporomandibular Disorders) を採用するとともに、MRIおよびCT検査も含めた総合的診断を行っています。治療はセルフマネジメントが主体になることが多いため、病気について十分理解して頂くことが重要となります。睡眠時ブラキシズムについては、携帯型筋電図計を用いた客観的検査に基づき診断、対応を行うとともに、睡眠時ブラキシズムに関連した疾患（睡眠時無呼吸、胃食道逆流、睡眠障害など）の可能性についても検討し、必要に応じて医科診療科等への紹介も行っています。覚醒時ブラキシズムについては、当科発信のTCH (Tooth Contacting Habit) と呼ばれる行動習癖に注目し、行動変容法を用いた行動コントロールを提供しています。



お願い

新患診療は完全予約制になっておりますので、外来にお電話のうえ、事前予約を取るようお願いください。

紹介状の宛先は「東京医科歯科大学病院 顎関節症外来 新患担当医」と明記していただき、特定の歯科医師に紹介する場合は、必ず歯科医師名を記載し、予約時にその旨をお伝えいただくようにご説明ください。

【外来】初診事前予約受付 診療科にてお電話でご予約を承ります。

TEL 03-5803-5746 (月～金 9:00～12:00 / 13:00～16:30、土 13:00～16:30)

※詳細はP.10をご覧ください。

【外来】初診事前予約受付 診療科にてお電話でご予約を承ります。

TEL 03-5803-5961 (平日9:00～12:00)

※詳細はP.10をご覧ください。

患者さん一人一人の状態に合わせた、オーダーメイドの長期安定を目指したインプラント治療を推進していきます。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後					



得意とする疾患と担当歯科医師

● 歯科インプラント

1 歯欠損から全顎に渡る大きな欠損まで対応しています。また、様々な人工材料や骨移植を併用した難症例においても積極的に取り組んでいます。

● 広範囲顎骨支持型補綴装置

腫瘍などの病変摘出および顎骨再建後の保険適応となる広範囲顎骨支持型補綴装置の登録医療機関となっています。複雑な形態の再建骨にシミュレーションソフトを用いた綿密な治療計画を立案し、治療にあたります。

担当歯科医師/上記共通：全ての歯科医師が全ての疾患を担当します。

丸川 恵理子 (教授)、下岸 将博 (助教)、山本 麻衣子 (助教)、柴崎 真樹 (助教)、福場 駿介 (助教)



特色・診療内容

歯の欠損部位の粘膜形態や残存歯などの口腔内情報であるデジタルデータとDICOMの重ね合わせを行い、インプラント治療のシミュレーションを行うことで、患者さん一人一人の状態に合わせた治療方針や術式を検討しています。また、嘔吐反射などの通常印象が困難な方に応用できる光学スキャナーとシミュレーションソフトを併用したフルデジタルインプラント治療も行っています。歯槽骨の萎縮や欠損状況から、インプラントができないと言われた方にも、骨移植による顎骨再建を行うことで対応可能な場合があります。ご相談ください。



お願い

口腔インプラント科に紹介いただく患者さんにスムーズな診療を受けていただくために、初診は予約制になっております。お電話にてご連絡をいただきまして、ご予約をお願いします。

また、歯科インプラント治療は、広範囲顎骨支持型補綴装置を除き、自費診療となっております。

「食べる障害」を有する患者さんに真摯に向き合い、豊かで楽しい生活を支えます。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	△ (要相談)	△ (要相談)	△ (要相談)	△ (要相談)	△ (要相談)
午後	○	○	○	○	○



得意とする疾患と担当歯科医師

● 脳血管障害、頭頸部腫瘍術後、認知症、神経変形疾患などによる摂食嚥下障害や構音障害

● 歯科訪問診療における嚥下内視鏡検査

● 外来診療における嚥下造影検査、嚥下内視鏡検査

● オンライン診療

● 食形態や食事法、食環境の調整や訓練法の指導

● 舌接触補助床、軟口蓋挙上装置などの高度な歯科補綴装置の製作

● 舌などの咬傷防止のためのマウスピース製作

● Voice Retriever (新型人工喉頭) 指導

● オーラルフレイル・口腔機能低下症の評価や指導

担当歯科医師/上記共通：全ての歯科医師が全ての疾患を担当します。

戸原 玄 (診療科長)、中川 量晴 (准教授)、山口 浩平 (講師)、吉見 佳那子 (助教)、長澤 祐季 (医員)、柳田 陵介 (医員)、森豊 理英子 (医員)



特色・診療内容

外来診療に加えて、歯科訪問診療による摂食嚥下リハビリテーションをしております。在宅や施設でも嚥下内視鏡検査が可能で、当院から半径16km圏内であれば保険診療で対応いたします。オンライン診療は日本全国の患者さんに対応可能です。オーラルフレイルや口腔機能低下症への対応も行います。



お願い

ご紹介いただく際は、摂食嚥下リハビリテーション科宛に診療情報提供書をご作成ください。

【外来】初診事前予約受付 診療科にてお電話でご予約を承ります。

TEL 03-5803-5773 (平日9:00~16:00)

※詳細はP.10をご覧ください。

【外来】初診事前予約受付 診療科にてお電話でご予約を承ります。

TEL 03-5803-5750 (平日9:00~16:00)

※詳細はP.10をご覧ください。

革新的な技術で世の中を動かす口腔外科を目指します。
個々の疾患に対応した専門医療・先端医療を提供します。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後					



得意とする疾患と担当歯科医師

顎骨嚢胞、良性腫瘍、埋伏歯抜歯などの一般口腔外科以外にも以下の高度治療を行っています。

●口腔腫瘍・口腔がんの手術療法／豊富な症例数と治療成績

原田 浩之（顎口腔腫瘍外科学分野教授）、道 泰之（顎口腔腫瘍外科学分野准教授）

●口腔粘膜疾患／多岐にわたる症状に専門的治療で対応します

津島 文彦（顎口腔腫瘍外科学分野講師）

●顎変形症／秀逸した手術成績を有する

高原 楠晃（顎顔面外科学分野講師）、友松 伸允（顎顔面外科学分野講師）

●顎関節症・顎関節疾患／滑膜軟骨腫症などの腫瘍性疾患の外科手術・人工顎関節全置換手術

依田 哲也（顎顔面外科学分野教授）、儀武 啓幸（顎顔面外科学分野准教授）、高原 楠晃（顎顔面外科学分野講師）

●咀嚼筋腱・腱膜過形成症

依田 哲也（顎顔面外科学分野教授）、儀武 啓幸（顎顔面外科学分野准教授）

●唇顎口蓋裂

原園 陽介（顎顔面外科学分野歯学部内講師）



特色・診療内容

- 口腔腫瘍・口腔がんの症例数は日本トップレベルであり、多くの手術療法・再建手術を行っています。疾患の治癒はもちろんのこと、機能や整容面に配慮した治療を重要視しています。
- 口腔粘膜疾患は、病変や症状に応じて血液検査、細菌検査、病理組織検査を併用して診断し治療を行います。また、全身疾患との関連が疑われた場合は、内科、皮膚科等と連携して治療を行います。
- 国内でも実施施設が限られている顎関節外科を専門的に行う数少ない施設です。また、人工顎関節全置換術においては、国内導入に携わっており、手術実績を積んでいます。



お願い

口腔外科の初診受付は予約制になっております。初診予約デスクにてご予約を承っております。緊急性がある場合には、直接外来へお電話にてご相談ください。

口腔外科：03-5803-5738または5742（平日9：00～17：00）

また、ご紹介に際しましては、診療情報提供書や各種資料（X線写真、血液検査資料、病理検査資料）をご用意下さいますようお願いいたします。紹介状の宛先は口腔外科としていただき、専門分野を指定いただく場合には、顎口腔腫瘍外科学分野／火・木、顎顔面外科学分野／月・水、専門分野の指定がない場合には、月～金にてご予約をお取りいたします。

口唇・口蓋裂や顎変形症などの顎口腔変形疾患に対して、各専門診療科によるチーム医療により、高度で統合的な診療を提供します。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
お問い合わせください					



得意とする疾患と担当歯科医師

●口唇・口蓋裂をはじめとする先天性疾患の治療

口唇裂口蓋裂／ゴールデンハー症候群（鰓弓異常症を含む）／鎖骨・頭蓋異形成／ベックウィズ・ヴィードマン症候群／外胚葉異形成症／基底細胞母斑症候群／カプキ症候群／スティックラー症候群／頭蓋骨癒合症（クルーゾン症候群、尖頭合指症など）／常染色体欠失症候群／6歯以上の非症候性部分性無歯症 など

●顎変形症の治療

骨格性上顎前突／骨格性下顎前突／骨格性上下顎偏位／骨格性開咬／骨格性上下顎前突／骨格性過蓋咬合／その他骨格的な問題に伴う咬合異常

●担当する診療科／下記の各専門診療科によるチーム医療を提供します。

口腔外科、矯正歯科、小児歯科、（専）顎顔面補綴外来、（専）言語治療外来、口腔インプラント科



特色・診療内容

口唇・口蓋裂をはじめとする様々な先天性疾患にともなう顎口腔領域の問題や顎変形症などの顎口腔変形疾患の咬合異常に対して、各専門診療科（矯正歯科、口腔外科、小児歯科、顎顔面補綴外来、言語治療外来、口腔インプラント科など）によるチーム医療により、子供から大人まで高度で統合的な診療を実践します。



お願い

口唇裂・口蓋裂などの小学生未満の患者さんをご紹介頂く場合は、口腔外科に直接ご連絡いただき、初診予約をお取りいただくよう患者さんにお伝えください。

口腔外科：03-5803-5738または5742（平日9：00～17：00）

口唇裂・口蓋裂などの小学生以上の患者さん、顎変形症の患者さんをご紹介頂く場合は、顎口腔変形疾患外来にご連絡いただき、初診予約をお取りいただくよう患者さんにお伝えください。

顎口腔変形疾患外来：03-5803-4362（平日9：00～12：00）

【外来】初診事前予約受付 初診予約デスクにてお電話でご予約を承ります。

TEL 03-5803-4300（平日12:00～16:00）

※詳細はP.10をご覧ください。

【外来】初診事前予約受付 診療科にてお電話でご予約を承ります。

TEL 03-5803-4362（平日9:00～12:00）

※詳細はP.10をご覧ください。

怖くない、ストレスの少ない歯科治療を提供します！



診療科
ホームページ
二次元コード

得意とする疾患と担当歯科医師

- 歯科治療恐怖症（治療が怖い）、異常絞扼反射（器具が口に入ると吐き気がする）
- インプラント手術時の静脈内鎮静法・静脈麻酔・全身麻酔
- 有病者歯科治療における全身管理
- 心身障害者歯科治療の全身麻酔
- 神経ブロック

担当歯科医師

全身管理：前田 茂（教授）、脇田 亮（准教授）、松村 朋香（講師）、馬場 有希子、伊藤 孝哉、河内 亜希（助教）

神経ブロック：伊藤 孝哉、河内 亜希

特色・診療内容

口腔外科、障害者歯科、小児歯科などの院内他科と連携し、通法では歯科治療が困難な方の全身管理を多数行っています。

外来麻酔管理では、歯科治療に対する恐怖心や嘔吐反射で通常の歯科治療が受けられない方、また知的障害のために歯科治療に協力することが困難な方に対して、麻酔管理を行っています。口腔インプラントに関連する治療に対する麻酔管理では、長時間の治療であってもストレスが少なく安全な治療が行える環境を目指しています。

お願い

歯科麻酔科は主科の担当医と連携して、鎮静法や全身麻酔などを行っています。そのため、まず主疾患に関して当院の歯科診療科または総合診療科宛てに紹介をお願いいたします。その際、鎮静法希望などの記載をお願いいたします。

通常の歯科治療では改善しない歯科領域の痛みや異常感覚を治療します。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後					

得意とする疾患と担当歯科医師

- 顎口腔顔面領域における術後の神経障害性疼痛、帯状疱疹後神経痛
- 三叉神経痛、舌咽神経痛
- 顔面神経麻痺、顔面痙攣
- 非歯原性歯痛、口腔灼熱痛症候群、舌痛症
- 味覚障害
- 一次性頭痛に関連した口腔顔面痛、持続性特発性顔面痛、筋・筋膜性口腔顔面痛

それぞれの疾患に対し、薬物療法、物理療法、東洋医学的療法、トリガーポイント注射、末梢神経ブロックなどを症状に合わせて使用します。

当科では特定の疾患・治療に関して専門の担当医を設けておりません。全ての歯科医師が全ての疾患を担当します。

特色・診療内容

詳細な問診に加え、血液検査、画像診断、触覚および痛覚検査、味覚検査など、各種検査の結果より、国際頭痛分類や非歯原性歯痛診断ガイドライン等に基づいて的確に診断します。医科領域の疾患が主たる原因と考えられる場合は適切な診療科へご紹介し、連携して症状のコントロールを行う場合もあります。

また、東洋医学的療法も取り入れており、鍼通電療法や漢方治療なども行っています。

お願い

ご紹介の際には、「歯科ペインクリニック」宛の紹介状をご用意ください。受診前に患者さんより下記にお電話いただき、歯科ペインクリニックの初診予約を取得後、受診をお願いいたします。

歯科ペインクリニック：03-5803-5762

一般的な歯科診療では原因特定や治療が難しい歯・口の難治性疼痛や不快な違和感などを専ら診療します。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	
午後					



得意とする疾患と担当歯科医師

●歯や口の痛み・しびれが治らない

- 舌痛症
- 非定型歯痛(非定型顔面痛)

●咬み合わせが合わない

- Phantom bite syndrome(咬合異常感)

●口の中の不快感(ネバネバ、ベタベタ、変な味・ニオイ、異物感など)

- 口腔異常感症(口腔セネストパシー)
- 口臭症

●その他：インプラント術後の不快感、矯正治療後の不具合・不調、など

担当歯科医師/上記共通：全ての歯科医師が全ての疾患を担当し、初診は原則として教授か講師が担当医とともに診察致します。
豊福 明、渡邊 素子、木村 康之、前田 智寿古、富永 梨沙



特色・診療内容

原因特定が難しい歯科心身症の診断・治療に特化しています。主訴の解決のために至適最小用量の処方を中心に、対話を重視した心身医学的治療を実践します。精神疾患の合併例は、主治医と密に連携し、精神疾患で説明可能な口腔症状なのか、歯科的問題の見落としはないのか、などを吟味した上で治療可能性を慎重に検討しています。歯科は保険診療の制約がかなり大きいため、ご希望に応じて保険適用の枠に捉われない自由診療も準備しています。



お願い

初診は完全予約制で、歯科医療機関からご紹介いただく際にも、ご持病の把握のために医系医療機関からの紹介状をご用意いただいております。より迅速で正確な診断や治療方針決定のために、ぜひご協力をお願いいたします。ご予約、お問い合わせは下記までご連絡ください。

歯科心身医療科：03-5803-5898(平日9:00~15:30)

口腔顎顔面領域の高精度な画像検査・診断と「口腔癌を切らずに治す」放射線治療を提案します。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	○	○



得意とする疾患と担当歯科医師

●口腔顎顔面領域の悪性腫瘍ならびに良性疾患/画像診断：80列マルチディテクタCTや3テスラMRI、小照射野歯科用CT検査などを用いた精密画像診断

渡邊 裕(歯科放射線診断・治療学分野准教授)、中村 伸(歯科放射線診断・治療学分野助教)、栗林 亜実(歯科放射線診断・治療学分野助教)、今泉 晶子(歯科放射線診断・治療学分野助教)

●口腔癌/小線源治療：口腔がんに対するイリジウム針、放射性金粒子を用いた小線源治療ならびに主に口腔がんのIMRTによる放射線療法

三浦 雅彦(歯科放射線診断・治療学分野教授)、戒田 篤志(歯科放射線診断・治療学分野講師)、野島 瞳(歯科放射線診断・治療学分野助教)、吉村 亮一(腫瘍放射線治療分野教授/医系診療部門)



特色・診療内容

一般歯科用X線撮影装置に加え、CT、MRI、PET、小照射野歯科用CT検査といった様々な画像診断装置による画像、熟練した歯科放射線指導医、専門医による画像診断を提供します。医系診療部門の放射線治療科、口腔外科、顎顔面補綴外来と連携しながら、「口腔癌を切らずに治す」をモットーに、短期間で負担の少ない放射線治療を提供します。



お願い

●画像検査予約：070-3985-9378(受付時間 平日9:00~16:00)

●放射線治療初診予約：03-5803-5683(受付時間 平日9:00~16:00)

※他医療機関より各種画像検査のご依頼を承っております。

画像検査の受診方法や費用、受渡方法等については、二次元コードより歯科放射線科のHPをご覧ください。

【歯科放射線外来HP(画像検査のお申し込みについて)】→

- ・医用CT検査(キャノンメディカルシステムズ社製ヘリカルCT)※完全予約制
- ・MRI検査(シーメンス社製3テスラMRI)※完全予約制
- ・小照射野歯科用CT検査(モリタ社製3D Accuitemo F17+)※完全予約制
- ・頭部X線規格撮影(セファログラフィー)等の一般X線撮影 ※予約不要



【外来】初診事前予約受付 診療科にてお電話でご予約を承ります。

TEL 03-5803-5898(平日8:30~12:00/13:00~15:30)

※詳細はP.10をご覧ください。

【外来】初診事前予約受付 診療科にてお電話でご予約を承ります。

画像検査 TEL 03-5803-5760(平日9:00~16:00)

放射線治療初診 TEL 03-5803-5683(平日9:00~16:00)

※患者さんからではなく、ご担当先生より直接お電話いただきますようご協力のほどよろしくお願いいたします。

人の心理、社会的な側面に配慮した全人的な診察を行います。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後					



得意とする疾患と担当歯科医師

●一般的な歯科疾患全般(う蝕、歯周病、冠、ブリッジ、義歯等)の予防・総合的な治療

新田 浩(教授/日本歯周病学会専門医)、
則武 加奈子(准教授/日本歯科保存学会認定医、日本歯科医療管理学会認定医、ジャパンオーラルヘルス学会 歯科ドック認定医 予防歯科認定医)、
城戸 大輔(助教/日本歯周病学会専門医、日本歯科保存学会専門医)、
三木 裕仁(特任助教)、
曹 日丹(特任助教)、
三間 裕子(医員/日本睡眠学会歯科専門医、日本睡眠歯科学会指導医)、
戒田 梢子(医員)、
関口 絢子(医員)、
原田 芽衣(医員)、
木内 佑実音(医員/日本歯周病学会認定医)、
濱田 悠也(医員/日本歯周病学会認定医)、
渡辺 静流(医員)

●歯科ドック

則武 加奈子、三間 裕子



特色・診療内容

当院歯系診療部門は20以上の診療科で構成されています。どの診療科に紹介したらよいか判断が難しい場合は歯科総合診療科にご紹介ください。初診患者さんとの医療面接、全身評価と歯科の検査から、初期診断し、各専門外来の予診担当医と連携し、スムーズに担当科を決定します。歯科ドックではPCR細菌検査や3Dスキャナを利用した先端的検診を実施しています。

また、当院は歯科医師の教育機関でもあり、歯科総合診療科は学生・研修医の臨床教育を総括しています。歯科医師を育成するための臨床教育にご協力いただける基礎疾患をお持ちでない患者さんがいらっしゃいましたら、是非当科にご紹介ください。当科より学生・研修医の所属する第1・第2総合診療室にご紹介いたします。

※詳細は第1・第2総合診療室 P.113～P.114をご覧ください。



お願い

初診予約制を導入しております。ご紹介いただく場合、下記初診予約デスクにお電話いただき予約をお取りいただくよう患者さんへご案内をお願いいたします。

初診予約デスク：03-5803-4300(平日12:00～16:00)

また、専門外来によっては、初診受診から治療開始まで数か月単位の待機期間が生じています。ご紹介時、その旨を患者さんにご説明いただき、待機期間中の応急処置につきましては、紹介元医療機関にてご対応いただけますようお願い申し上げます。

高度な口臭診断・治療技術を提供し
口臭で悩む人がいない社会を目指します。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○		○	
午後	○	○		○	



得意とする疾患と担当歯科医師

●疾患名：真性口臭症、仮性口臭症、口臭恐怖症 治療法：口臭セルフケア指導、カウンセリング

担当歯科医師/上記共通：全ての歯科医師が全ての疾患を担当します。
財津 崇(日本口腔衛生学会専門医)、有富 理左



特色・診療内容

当科では、口臭測定器による口臭値の測定、診断に必要な口腔に関する様々な検査を行い、診断します。口臭の原因物質である揮発性硫黄化合物を高精度に計測できる口臭ガスクロマトグラフィーを用いて口臭測定を行い、口臭の原因について、質問票、唾液、口腔内診査、細菌数などから評価し、口臭症を診断します。診断結果に応じて、適切な治療やセルフケアの指導を行います。また口臭恐怖症など重度に口臭の悩みがある患者さんへのカウンセリングも実施しています。



お願い

初診については事前予約制となっております。

予約方法については、お電話もしくは下記外来予約サイトにて承っております。どちらかの方法で初診予約を取得のうえご受診いただけますよう、患者さんへお伝えください。

下記二次元コードよりご利用いただけます。

治療内容や治療費用、治療にかかわる注意事項等については、外来紹介サイトをご覧ください。

【外来紹介サイト】



【息さわやか外来予約サイト】



【外来】初診事前予約受付 初診予約デスクにてお電話でご予約を承ります。

TEL 03-5803-4300 (平日12:00～16:00)

※詳細はP.10をご覧ください。

【外来】初診事前予約受付

上記QRコードよりWEB予約にてご予約を承ります。

※詳細はP.10をご覧ください。

高度に感染対策が施された環境下での歯科治療を提供します。



診療科
ホームページ
二次元コード

得意とする疾患と担当歯科医師

●感染症の既往がある患者さんの一般歯科診療、あるいは免疫抑制剤を使用するなど免疫機能の低下によって罹患しやすくなっている方の歯科治療を行う際に、より高度に感染対策が施された環境を提供します。

診療科長 道 泰之 専門分野 口腔外科一般、口腔癌
外来医長 伊藤 孝哉 専門分野 歯科麻酔

特色・診療内容

当外来では、陰圧あるいは陽圧個室を有しています。室内の気圧をコントロールすることで、感染症の拡大を防止しています。また針刺し事故を予防するため、注射針にリキャップを禁止しています。そのため浸潤麻酔用ホルダーはワンタッチ式を採用しており、感染対策の徹底等、安全面にも考慮しております。

各診療科の担当医が必要に応じて当外来にて治療を行います。

お願い

当外来は院内共有施設となっており、当外来宛の紹介は受付けておりません。

高度に感染対策が施された環境下での歯科治療を要する患者をご紹介いただく際には、感染症の既往歴や免疫抑制剤の使用有無等、必要事項をご記載いただいたうえで、当院歯系診療部門診療科宛にご紹介ください。

診療科を特定できない場合には、歯科総合診療科宛にご紹介ください。
(歯科総合診療科で診療科の決定を行います。)

【外来】当外来宛の紹介は受付けておりません。当院歯系診療部門診療科宛にご紹介ください。

※詳細はP.10をご覧ください。

歯学科学生が、指導歯科医の指導のもと、歯科診療を行います。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後					

得意とする疾患と担当歯科医師

●一般歯科 / 保存・補綴・口腔外科・歯科放射線

担当歯科医師 / 上記共通：本学歯学科 5 年生・6 年生

※歯学科 5 年生・6 年生が患者さんの担当となり、一口腔単位での診療計画を立て、保存・補綴・口腔外科からなる一般歯科診療を、指導歯科医の指導のもとに行います。

特色・診療内容

各専門科所属の指導歯科医の指導のもと、一口腔単位での包括的な歯科診療を提供しております。

歯科医師養成は大学病院の大切な役割の一つです。歯学科 5 年生・6 年生は所定の単位を取得した後に、全国の歯科大学・大学歯学部を対象に行われる共用試験 CBT・OSCE と言われる評価試験に合格し、臨床実習生(歯学)という称号を付与され、登院しています。東京科学大学病院は歯学科学生の包括臨床実習を行う場として、第1 総合診療室を設置しています。第1 総合診療室には毎日、保存・補綴・口腔外科・歯科放射線科の各専門科から合計 7 名の教員による指導のもと、診療を行っています。

お願い

臨床教育にご協力いただける患者さんへの優先予約制度および優先お会計レーンを設けております。臨床教育にご協力いただける患者さんがいらっしゃいましたら、ご予約の際に初診予約デスクまでお申し付けください。詳細についてご説明させていただきます。
歯学教育へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

【外来】当外来宛の紹介は受付けておりません。

当外来は臨床協力にご協力いただける方の診療室となっております。臨床教育にご協力いただける方への優先予約制度を設けておりますので、詳しくはご予約の際に初診予約デスク・各診療科でお尋ね下さい。

研修歯科医と後期研修歯科医が、指導歯科医の指導のもと、歯科診療を行います。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後					



得意とする疾患と担当歯科医師

●一般歯科 / 保存・補綴・口腔外科

担当歯科医師 / 上記共通：当院研修歯科医・歯科レジデント

※研修歯科医・後期研修歯科医が患者さんの担当医となり、一口腔単位での診療計画を立て、保存・補綴・口腔外科からなる一般歯科診療を、指導歯科医の指導のもとに行います。



特色・診療内容

各専門科所属の指導歯科医の指導のもと、研修歯科医、後期研修歯科医が一口腔単位での包括的な歯科診療を提供しております。

歯科医師養成は大学病院の大切な役割の一つです。歯科医師臨床研修は、歯科医師法に定められた義務であり、東京科学大学病院は歯科医師臨床研修のうち総合歯科診療研修を行う研鑽の場として、第2総合診療室を設置しています。また本院で歯科医師臨床研修を修了した歯科レジデント(後期研修歯科医)の研鑽の場でもあります。第2総合診療室では毎日、保存・補綴・口腔外科・歯科総合診療科の各専門科から合計6名の教員に加えて臨床経験豊富な臨床教授・非常勤講師の指導のもと、研修歯科医、後期研修歯科医が診療を行っています。



お願い

担当となる研修歯科医は、卒後一年目の歯科医師であり、一般的な歯科診療受診に比べ当科での診療時間は長めになることがあります。

臨床教育にご協力いただける患者さんへの優先予約制度および優先お会計レーンを設けております。臨床教育にご協力いただける患者さんがいらっしゃいましたら、ご予約の際に初診予約デスクまでお申し付けください。詳細についてご説明させていただきます。歯科医師臨床研修へのご理解、ご協力をよろしく願いたします。

歯科衛生士が主体となりお口の健康づくりをサポートします。



診療科
ホームページ
二次元コード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後					



得意とする疾患と担当歯科医師

●口腔保健指導および歯石除去 / 機械的歯面清掃

●歯系入院患者に対する周術期口腔健康管理

歯科衛生士が歯科医師の指導のもと、う蝕、歯周病をはじめとする口腔疾患の予防、および周術期の口腔健康管理を行い、患者さんの口腔機能の維持・増進のための指導・管理を行っています。



特色・診療内容

生涯を通じてお口の健康を保つために、一人ひとりの患者さんの生活習慣および口腔内の状態を確認し、歯科衛生士による歯科保健指導(プラークコントロール指導、食生活指導、生活指導など)や専門的な処置(歯石除去、機械的歯面清掃)を行っています。

また、全身麻酔下での口腔内の手術に関連して、術前から口腔健康管理を行い、口腔衛生環境を改善することで、術後の治癒促進や合併症、肺炎などの術後感染の発生を抑制することを目指しています。



お願い

当科は原則、当院歯系診療部門診療科からの紹介患者に対応しています。

【外来】当外来宛の紹介は受付けておりません。

当外来は臨床協力にご協力いただける方の診療室となっております。臨床教育にご協力いただける方への優先予約制度を設けておりますので、詳しくはご予約の際に初診予約デスク・各診療科でお尋ね下さい。

【外来】当外来宛の紹介は受付けておりません。

当院歯系診療部門診療科宛にご紹介ください。

オーラルヘルスセンター

医科入院患者の口腔健康管理を実施しています



診療科
ホームページ
二次元コード



Point

得意とする疾患と担当医

- 周術期口腔機能管理
- 医系病棟での口腔衛生管理
- 入院中の口腔トラブル対応

歯科医師：松尾 浩一郎、樺沢 勇司（教授）、則武 加奈子（准教授）、三上 理沙子（助教）
歯科衛生士：日高 玲奈、鈴木 瞳、伊藤 奏（助教）、他常勤スタッフ



Point

特色・診療内容

全身麻酔手術後の合併症予防のために、術前から口の衛生環境の維持改善に務め、術後も口腔内にトラブルが起こっていないか確認します。また、全身の内科的な治療によって口の中に出現する合併症を予防するために、治療前・治療早期から口腔問題の早期発見・早期介入に務めます。もし、入院中に口腔内にトラブルが発生したり、食べる機能が低下した場合には必要に応じて迅速に対応いたします。東京医科歯科大学病院の特性を活かした病院横断的に多くの診療科や看護部などと連携して口腔ケアの推進に取り組んでいきます。



Point

お願い

当科は、原則として当院医科からの紹介患者に対応しております。

【外来】当外来宛の紹介は受付けておりません。当院歯系診療部門診療科宛にご紹介ください。

※詳細はP.10をご覧ください。

Access 交通機関のご案内



- ① JR中央線・総武線 御茶ノ水駅 御茶ノ水橋口 (徒歩 5分)
- ② JR中央線・総武線 御茶ノ水駅 聖橋口 (徒歩 7分)
- ③ 東京メトロ丸の内線 御茶ノ水駅 JR御茶ノ水駅方面出口 (徒歩 3分)
- ④ 東京メトロ丸の内線 御茶ノ水駅 東京科学大学方面出口 (徒歩 3分)
- ⑤ 東京メトロ丸の内線 御茶ノ水駅 C棟地下2階連絡通路 (駅直結)
- ⑥ 東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅 B1出口 (徒歩 7分)



Institute of
**SCIENCE TOKYO
HOSPITAL**

東京科学大学病院

東京科学大学病院 〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45
医療連携支援センター 地域連携室 03-5803-4655 (平日 8:30 ~ 17:00)